

第4章

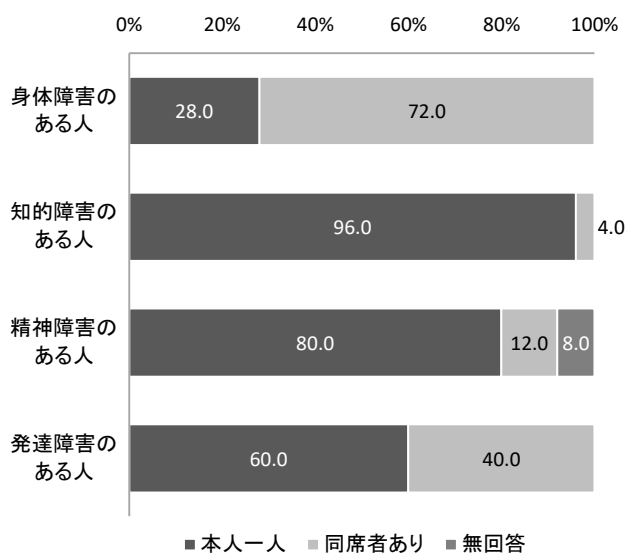
聞き取り調査の結果

調査対象者の属性

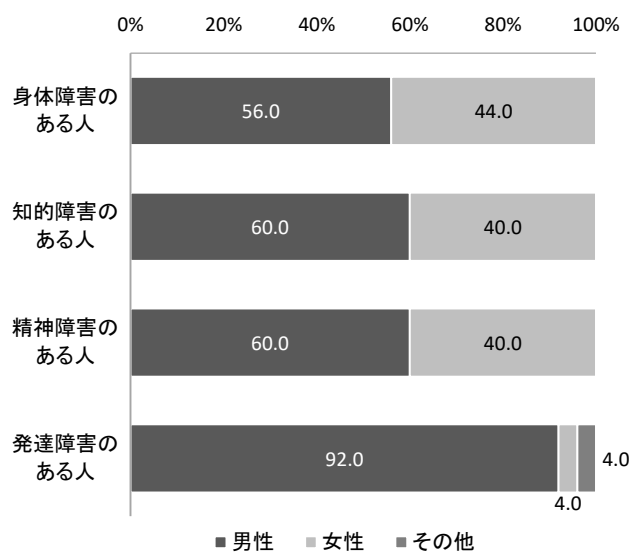
1 対象者の内訳

	身体障害のある人	知的障害のある人	精神障害のある人	発達障害のある人
生活介護	15	5	0	0
相談支援	10	0	25	25
就労継続支援A型	0	5	0	0
就労継続支援B型	0	5	0	0
就労移行	0	5	0	0
共同生活援助	0	5	0	0
合計	25	25	25	25

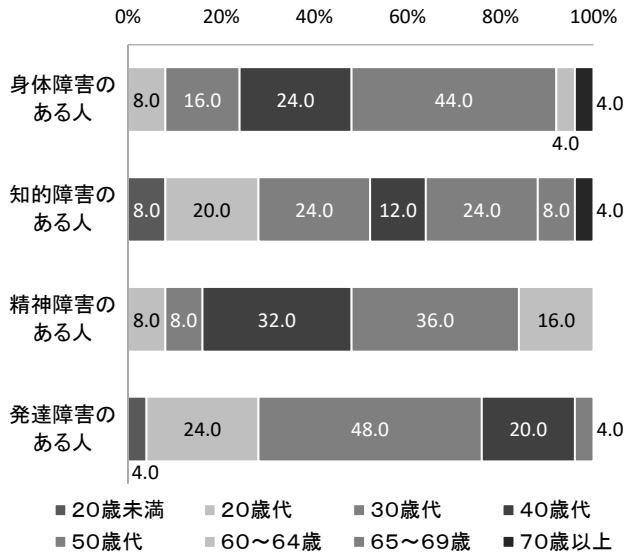
2 聞き取り状況



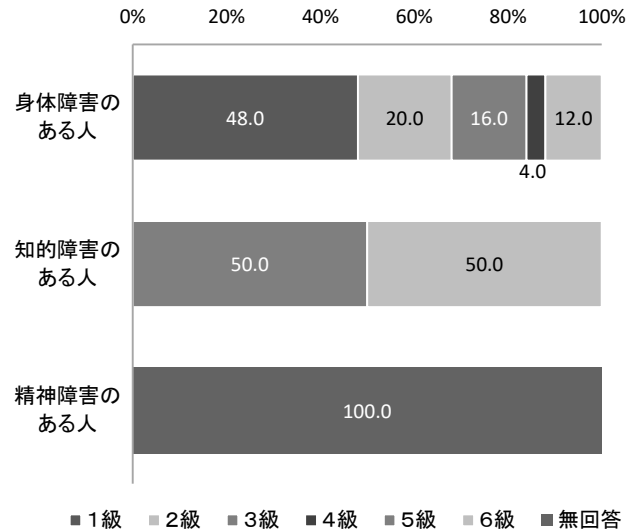
3 性別



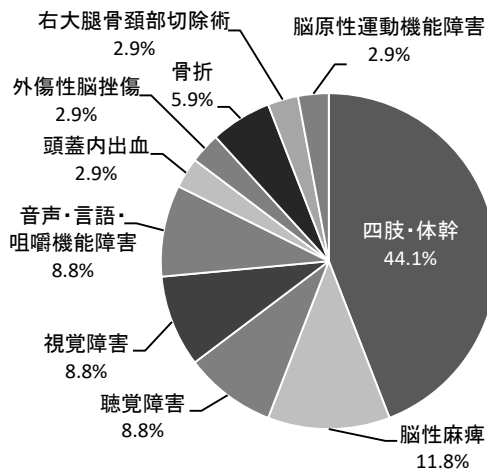
4 年齢



5 身体障害者手帳等級

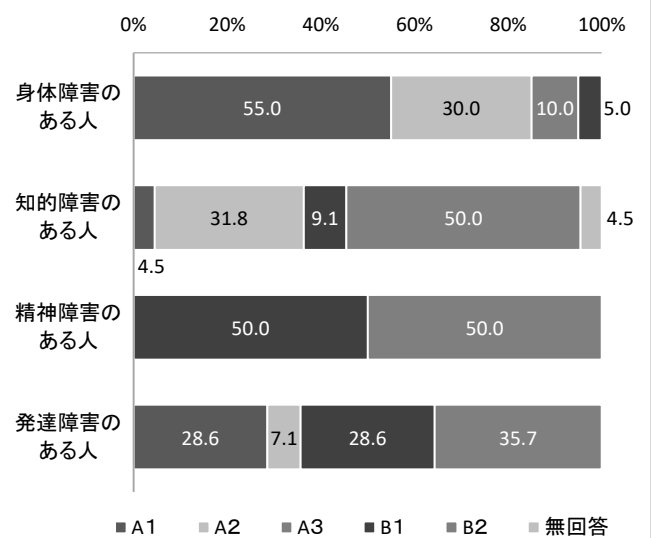


6 身体障害のある人の障害

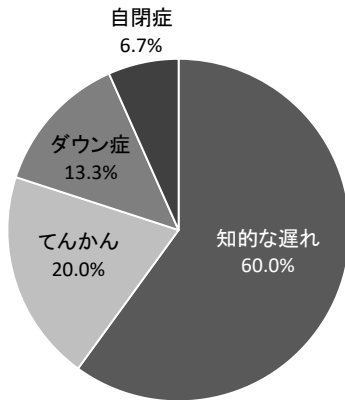


重複障害	障害	実数	%
	知的障害	4	44.4
	失語症	1	11.1
	構音障害	1	11.1
	ダウン症	1	11.1
	遷延性意識障害	1	11.1
	四肢体幹機能障害	1	11.1

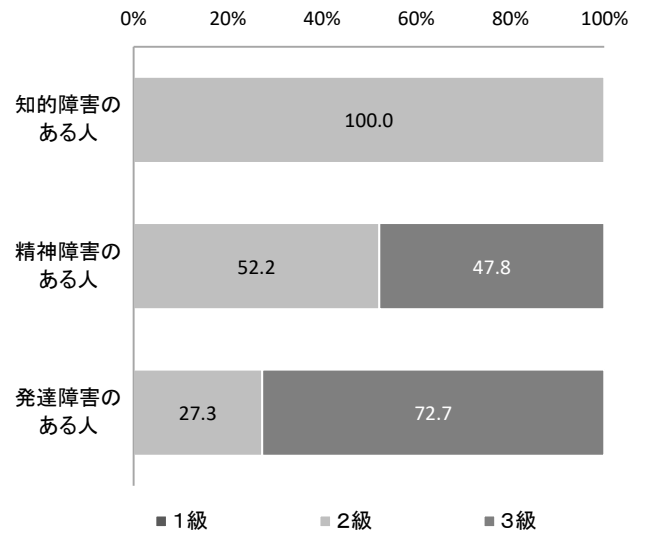
7 療育手帳等級



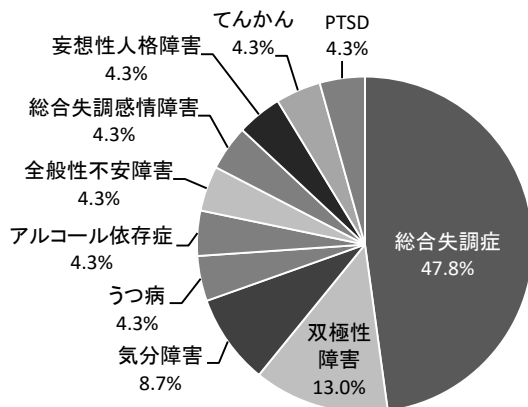
8 知的障害のある人の診断名



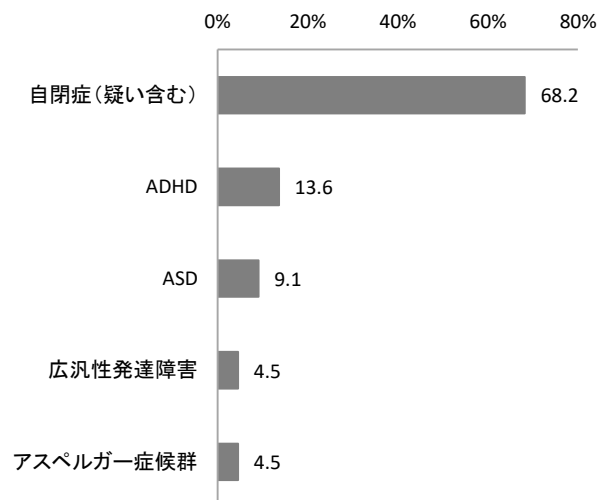
9 精神保健福祉手帳等級



10 精神障害のある人の診断名



11 発達障害のある人の診断名



障害福祉サービス等の利用について（身体障害がある人）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
S1	20歳代	女	2級 A1	生活介護	人との関りもてる。散歩や入浴、レクリエーションに参加できる。	なし	なし		特になし
				居宅介護	以前は送り出し等で利用できていた。	同居者がいても祖母であると難しい。ヘルパーが利用できるかと助かる。	相母が同居するようになり、ヘルパーが利用できなくなった。		
				短期入所	家族がリフレッシュできた。	なし	なし		
				相談支援事業	サービス調整をしてくれるところ。	なし			
S2	40歳代	女	1級 A1	生活介護	ウォーキングやレクリエーションに参加できる。	なし	2か所利用しているが、一か所は散歩活動がない。		今は外出を母親と一緒にしているが、難しくなった際にはヘルパーの利用も考える。
				短期入所	急な法事のとぎに利用できて助かった。	なし	なし		
				相談支援事業	必要なサービスを調整してくれる。	事業所の場所が遠いので、なかなか相談にいけない。	なし		
				生活介護	ウォーキングや軽作業に参加できること。	なし			
S3	50歳代	男	6級 B1	生活介護	将来のための練習(入所)として利用。家族もリフレッシュできている。	なし	苦手な利用者に会うことが不安。		特になし
				短期入所	よく話を聞いてくれる。	なし	なし		
				相談支援事業	外出活動は楽しい。	なし	なし		
				移動支援事業	いろいろな活動が経験できる。	なし			
S4	40歳代	女	1級 A1	生活介護	家族の用事があるときに利用できていること。	なし	なし		特になし
				短期入所	ヘルパー利用。朝の送り出しの時に助かっている。通院時も助かっている。	なし	なし		
				居宅介護	よく話をきいてくれる。先のことを考えてくれる。	なし	なし		
				相談支援事業	いろいろな人と知り合えて楽しい。入浴もできて助かる。	なし	なし		
S5	30歳代	女	1級 A3	生活介護	スタッフとの会話が楽しい。	なし	新しいスタッフだと話しにくい。		特になし
				共同生活援助	思っていることを話せる。	なし	もう少し、会える日が増えたらいい。		
				相談支援事業	入浴ができる。	なし	なし		
				生活介護	相談に乗ってもらって助かる。	なし	なし		
S6	60～64歳	女	6級 A2	生活介護	相談に乗ってもらって助かる。	なし	なし		福祉用具のシルバーカーを利用したい。
				計画相談		1か月に1回は連絡を取って欲しい。	なし		

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
S7	70歳以上	男	1級	生活介護	生活のはりあいになっている。				特になし
				家事援助	料理、掃除をもらい助かっている。				
				同行保護	外出ができて助かっている。				
				相談支援事業	調整してもらい助かっている。				
S8	50歳代	女	2級	生活介護	3か所利用し、それぞれ違いがあつて良い。	なし	なし		特になし
				相談支援事業	利用を調整してくれるから助かる。	なし	なし		
				介護保険 ヘルパー	助かっている。	なし	なし		
				生活介護	B型から移行してきて1か月だが、慣れてきた。	なし	なし		
S9	50歳代	女	3級 A2	共同生活援助 事業	安心して暮らせている。	なし	なし		特になし
				相談支援事業	なし	なし	話をするのが苦手。		
				生活介護	いろいろなことができる。	なし	なし		
				生活介護	楽しいことがたくさんある。	なし	送迎車がかかるまでの待ち時間が長い。		
S10	50歳代	女	6級 A2	居宅介護	何を食べたいか聞いてくれるから嬉しい。近いものを作ってくれる。外出時も一緒に安心。	時間がもう少しあつたら、掃除をしてほしい。	犬のふんどかきみられたくない。片つけた後に来てほしい。		特になし
				相談支援事業	いろいろなサービスを利用できるようになった。				
				訪問看護	目薬をいれてくれる。	日曜日は自分で目薬をしているけれど、うまくできない。利用日を増やしてほしい。	犬が嫌いな人だったらと、心配した。		
				生活介護	預け先があることで、パート勤務ができ、助かっている。(母)	なし	なし		
S11	20歳代	男	1級 A1	居宅介護	通所で入浴がない日に入浴の介助に入ってもいい。助かっている。	なし	なし		特になし
				相談支援事業	サービスが必要な際に相談できる。	なし	なし		
				生活介護	いろいろなことができる。	なし	なし		
				短期入所	親身に話をきいてくれる。	なし	なし	本人が行きたがらない。	
S12	50歳代	女	4級 A1	相談支援事業	現在は利用していない。姉が仕事を退職し、本人にかかわれるようになったため。	なし	なし		特になし
				移動支援事業	日々の過ごす場所が確保できている。	なし	なし		
				生活介護	現在利用していない。	なし	なし		
				居宅介護	家族の息抜きや不幸ごとの際、助かっている。	なし	なし		
S13	30歳代	男	1級 A1	短期入所	困ったときに相談できる。	なし	なし		施設入所。
				相談支援事業		なし	なし		
						なし	なし		
						なし	なし		

障害福祉サービス等の利用について（身体障害がある人）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
S14	50歳代	男	3級 A2	生活介護	自分にあった活動がある。	ドライブなどの外出を増やしてほしい。	なし		特になし
				共同生活援助	自分の部屋がありゆくりできる。	なし			
				移動支援事業	外出でリフレッシュできる。	もう少し時間を増やしてほしい。	なし		
S15	40歳代	男	1級 A3	生活介護	色々な活動があって楽しい。	みんなができるイベントを増やして欲しい。	なし		休みの日の外出活動(移動支援等)。
				短期入所	環境が変わってリフレッシュできる。	なし			
				相談支援事業	話をきいてくれる。	なし			
S16	50歳代	男	1級	生活介護	定期的なリハビリができる。 生活全般は支えられる。	コロナの収束。	家族との関係は希薄になる。		リハビリを病院でも受けたいい。以前使っていたリハビリを使いたい。家族がのぞんでいる。
				施設入所支援	生活を支えられる。	コロナ収束。移動支援など個人にかかわるサービスは利用させたい。	体重減少。機能維持をどう支えるかの仕組みがない。		
				計画相談	不明	不明	コロナによって互いが見えにくい。		
S17	40歳代	男	1級 A1	療養介護	医療のある施設は安心できる。 いるんな人の目で観察して、本人をみていた だけ。 個室じゃないことで人の目は怖くなる。それは大きい。	・中の状態が家族に判る努力してほしい。 ・本人に刺激がある日々 の提供。	コロナ禍で会えない。帰省できない。		
				同行援護		帰省時に利用するつもりだったが、コロナ禍で帰省できない。			
				居宅介護		帰省時に利用するつもりだったが、コロナ禍で帰省できない。			
				計画相談	入所させておわりではなく、話をする機会がなくて良い。本人のことを考える機会を作れる。	なし	なし		
				生活介護		コロナの影響で行事が減っている。	・コロナの影響で急な休みがある。 ・2カ所併用しているが、ある事業所を利用した日は夜寝ないことが多い。(活動を行わず、昼、寝ていないのかと思う。)	病院受診を家族が行う必要がある。入院時に付き添いが必要となる場合、仕事を休んで対応する必要がある。医療、福祉サービスで何とかならないものか。	
S18	30歳代	男	2級 A2	居宅介護	ヘルパーによって介助の仕方が違う。	ヘルパーによって介助の仕方が違う。	夜間、支援がほしい時間帯に利用できない。		重度訪問介護等の長時間支援を受けられるサービス。
				短期入所		1ヶ月前、2カ月前の予約いざという時に開いていないことが多い。			
				生活介護					

障害福祉サービス等の利用について(身体障害がある人)

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
S19	50歳代	女	2級	施設入所支援	衣食住について困ることがない。薬の管理もしっかりしてくれている。	もっと気軽に外出できるようにしてほしい。	色々な特性をもった人が多くなる中で生活しているのでイライラするし、飛び出したいい気持ちになることがある。	日常的なケアは受けていない。疼痛管理の為にブロック注射をしているけど効かない。	一緒にブラッと出掛けられるようなサービス。進行性の病気の為、終のすみか探しをしないといけないのかなかも…。
				生活介護	なし	パソコンが使えるように教えてほしい。	以前はカラオケの活動なども参加していたが、歌える人も少ないしつまらないので参加していない。		
				計画相談	ものすごく助かっている。友人のように困りごとを相談することができている。	淋しいのもっと頻繁に会いに来てほしい。	会いたいなあと思うけど、忙しいと思うとガマンしてしまう。		
S20	50歳代	男	1級 A2	療養介護	自宅近くの支援施設に入れてよかった。本人の体調を考えると対応できるところがあった。	日々の細かな様子が知りたい。	面会できなくなつたので支援が見えづらくなつた。		本当は帰省させたいが1人では受け入れられない。手伝いが必要。
				計画相談	施設に入るときにお世話になった。	こまめに連絡をとるようになれば、頼れるようになるかもれない。	どういったことを相談したらいいのか。どこまで頼っていいかわからない。身近に感じてこなかった。		
				生活介護	本当によくしてもらっている。	なし	なし		
				居宅介護	本当によくしてもらっている。	なし	なし		
S21	50歳代	女	2級 A1	短期入所	夜間寝ない本人を受け入れてくれてありがたい。	なし	なし		栄養指導・ダイエツト指導 コロナが終わったら、お出かけさせたい。
				計画相談	本当によくしてもらっている。	なし	なし		
				居宅介護	長く同じ支援者に支援をしていただいている。	支援時間が少ない。母：平日夕方～夜間、ゆつくり食事を摂る時間が少ない。	朝の準備(更衣、車椅子等への移乗など)がヘルパーだけでは難しく、両親が手伝っている。(男性ヘルパーが少ない)腰痛、ひざ痛で支援が難しい場合、近所の方に手伝ってもらう事が母がある。	今はないが…。現在、在宅医療、定期入院(レスパイト)という意味もある)の体制ができていくが、ずっと継続することができると不安がある。	
				生活介護		職員体制の関係で入浴できない日がある。			
S22	40歳代	男	1級	居宅介護		なし			
				施設入所支援	良くしてもらっている。 良くしてもらっている。	なし	なし		現在利用しているサービスを継続していく。
S23	40歳代	男	3級 A1			なし			

障害福祉サービス等の利用について (身体障害がある人)

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
S24	30歳代	男	1級 A1	生活介護	本人が通所することを楽しみにしている。	コロナで様々な行事が減っている。	10/3で入所したが、本人が自宅に戻ることを強く主張したため、10/31で退所することになった。	今は困っていないが、いつまで親が同行できるのか心配がある。	今回、入所したがうまくいかなかった。同じ事業所を利用して、慣れいきながら、いずれは施設入所を利用したい。
				施設入所支援					
				短期入所	いざという時に利用できる。	時々空いていないときがある。			
				居宅介護	送迎の迎えからお願しているので、フルタイムで仕事ができる。				
S25	50歳代	男	3級 A1	共同生活援助	個別の対応してくれたことで、本人の情緒面や生活が安定した。	なし	入院をきっかけに他の施設に移らなくては行けなくなった。頼りにしていたからこそ変わることへの不安がある。	特になし	
				居宅介護	生活の安定のため、入浴などを手伝ってくれた。				
				計画相談	施設を探してくれたりと相談に応じてくれて助かっている。				
				移動支援	買い物など一緒に行ってってくれて本人が楽しむことができた。				

障害福祉サービス等の利用について（身体障害がある人）

障害福祉サービス等の利用について（知的障害がある人）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
C1	50歳代	女	A1	生活介護事業	本人のことを理解し、よく見てもらっている。	信頼しているのですが、特にない。	家庭と環境が違い、自分のペースで過ごせず、我慢してストレスになっている部分があるかもしれない。	<ul style="list-style-type: none"> ・お腹の調子が悪いのでリハビリパンツを履くことがあるが皮フが弱く、かぶれてしまう。 ・運動量が減り、体重も落ちたことから体重が増えている。 	
				居宅介護（身体介護）	本人の身の回りのことをしてもらい、助かっている。	年々、能力の後退が見られ、支援量が増え、支給されている時間が足りない。その都度、柔軟に支給時間の見直しを行ってほしい。	年々、支援を必要とするが増えている。		
				共同生活援助 計画相談支援 移動支援	親亡き後も、安心して生活ができる場がある。困った時に相談ができる。単独では外出が難しかったため、サービスを利用して活動の幅が広がった。		コロナ禍で外出の機会が減った。		
C2	30歳代	男	A2	居宅介護	安心して過ごせる。				
				生活介護	落ち着いて過ごせる。				
				移動支援事業 相談支援事業	気分転換になる。				
C3	65～69歳	男	A2	共同生活援助	安心して過ごせる。				
				居宅介護	安心して過ごせる。				
				生活介護	様々な活動に参加している。				
C4	50歳代	女	3級 A2	移動支援事業 相談支援事業	気分転換になる				
				共同生活援助	安心して過ごせる。				
				生活介護	お友達といっしょに過ごせて楽しい。	なし			
C4	50歳代	女	3級 A2	共同生活援助 （グループホーム）	お友達の人が、生活を手助けしてくれる。お友達といっしょで楽しい。	なし			
				居宅介護（身体介護）	自宅で出来ないことを手伝ってくれる。	なし			
				移動支援事業 計画相談支援	図書館や買物などに行けて嬉しい。みなさんが色々考えてくれる。	なし			

特になし

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
C5	50歳代	男	A2	生活介護	色々な行事や活動があるので楽しい。		慣れた職員でないとい自分 の気持ち伝えることが できない。 新しい職員と関係を作る のに時間がかかる。	発作がいつあるか 分からないので不 安。	
				居宅介護	自分だけでできない部分を手伝ってくれるので助かる。				
				共同生活援助	自分の部屋があってうれしい。				
				移動支援	行きたい場所へ一緒に行ってくれるので助かる。				
C6	30歳代	男	A2	相談支援事業			慣れた人でないと、なか なか言葉にして自分の気 持ちを伝えることができ ない。		特になし
				就労継続支援 B型事業	作業して楽しい。工賃がもらえる。	なし	作業が難しい時もある。		
C7	20歳代	男	6級 B1	共同生活援助	平日朝・夕の食事を準備してもらえる。	なし	なし		グループホーム(共同生活 援助)
				就労継続支援 B型	働くことができる。工賃がもらえる。	もっと工賃がほしい。	なし		
C8	65～69歳	女	A2	宿泊型自立訓練事業	お金の使い方をどうすれば良いか相談できる。自分の部屋がある。	なし	なし		特になし
				就労継続支援 B型	仕事が好きで、作業ができるのでよかった。職員と関わることが楽しい。	やりたい仕事に絶対できるとは限らないこと。	なし		
C9	70歳以上	女	A2	共同生活援助	受診の相談などできる。	なし	なし		特になし
				就労継続支援 B型	作業してお金(工賃)がもらえる。	なし	なし		
C10	50歳代	女	B2	共同生活援助	外出活動につれていってからもらえて楽しい。食事の準備をしてくれる。病院につれていってくれる。	なし	なし		特になし
				行動支援	外出の予定(芝居を見にいけた)を作ってくれて楽しい。	遠い所へも行きたい	なし		
C11	20歳未満	男	なし	就労継続支援 B型	作業して工賃をもらえること	なし	なし		特になし
				就労移行支援 事業所	生活リズムが整った。	Excel、Wordのアプリケー ションを使用した訓練も 行いたい。	飲料を置ける場所(冷蔵 庫など)があれば助か る。		
				自立訓練施設	生活リズムが整って生活の質も向上した。(お金の使い方など)	備品の更新をして頂きた い。(掃除機、洗濯機(台 数)など)	洗濯後の衣類がなくな る。物がなくなることがあ る。		

障害福祉サービス等の利用について (知的障害がある人)

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
C12	20歳未満	女	2級	就労移行支援事業	実習に行つて、実技を身につけることができる。仕事に向けて、いろいろな作業の訓練ができる。仕事をすすめる上での、報告・連絡・相談等の仕事を学ぶことができる。就職活動に向けて、ハローワークへの同行、応募書類の作成等の支援を受けることができる。				特になし
C13	20歳代	男	2級	就労移行支援事業所 自立訓練施設	・生活リズムが整うようになった。(特に朝) ・コミュニケーション力が以前に比べて向上している。 ・用事に合わせて自分で時間の計画を立てられるようになった。 ・生活のルールを自分で守れるようになってきた。(他人の迷惑を考えて)	・休憩の時間(昼休み以外)があれば良いと思う。(明確な休憩時間) ・グループワークを増やして欲しい。(外出等で気分転換が図れる) ・食事をおいしくして頂きたい。(カレーなどメニューの改善含)	人の出入が多い時は集中出来なかった。 自室の前が人の出入が多くて集中出来ない。		特になし
C14	20歳代	男	B2	就労移行	訓練を行いながら面談もあり、メンタルケアや心の支えとなっている。	他の利用者との関係が悪くなるのが心配。	他の利用者さんの行動や態度で気になることがある。		短期入所を考え中。
C15	20歳代	男	B2	就労移行	就職の訓練、練習が出来て良かった。	なし	なし		特になし
C16	30歳代	男		就労継続支援B型 共同生活援助	働けることがたのしい。 ゆっくり寝れる。	工賃をもっとたくさんほしい。 トイレをきれいに使ってほしい。	なし わからない。		
C17	30歳代	女	B2	就労継続支援B型 共同生活援助	働きたいしごと内容で働いている。 いっぱいありすぎてわからない。	わかりません。	考えがうまくまとまらない。 夜中に起きて音楽聞いたり、動画みたりして朝、おきれず、仕事に遅刻してしまう。		考え中です。
C18	40歳代	男	B2	共同生活援助	お金の使いすぎをしないようにグループホームで管理してもらえ。仲間ができた。	世話人が不在の日の食事提供もしてほしい。	ホームの他入居者との口ゲンカや恋人関係とのトラブル。小遣いが足りなくなる。 仕事内容がわからない時がある。		成年後見制度(金銭の管理)
C19	50歳代	男	B1	就労継続支援B型 共同生活援助	袋入れがいちばんたのしい。弁当がおいしい。 自分の部屋のそうじが楽しい。	汚い所をきれいにしてほしい。	なし		ヘルパーを利用したい。

障害福祉サービス等の利用について(知的障害がある人)

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
C20	30歳代	男	B2	共同生活援助	自由な時間がたくさんある	なし	なし		特になし
C21	50歳代	男	B2	就労継続支援A型	給料が高い。ボーナスがある。	階段の上り下りがきついで、エレベーターを付けてほしい。	雨がひどい時や台風の際は、帰ることが大変なので、駅まで送迎してほしい。		
				共同生活援助	世話人がご飯を作ってくれる。	職員がホームの巡回をしてほしい。	隣の人が早く寝てほしい。他の入居者の行動が気になる。		
				計画相談支援	なし	もっと話ができる機会があったらいい。	なし		
C22	20歳代	男	B2	就労継続支援A型	これから長い期間、働けそう。	7.5時間の勤務は中途半端、8時間がよい。頑張っている人にはもっと給料アップしてほしい。皆勤賞が欲しい、残業や土曜出勤がしたい。	怪我をしよう、暑い、汗がすごい。防塵マスクをしていてゴム手袋もしているの、鼻や顔がかゆい時にかけない。		今のところ考えていない
				計画相談支援	なし	なし	なし		
C23	30歳代	女	B2	就労継続支援A型	仕事しやすい。	なし	なし		今後、一人暮らしをして料理をヘルパーに手伝ってもらいたいと思っている。(居宅介護：家事援助)
				共同生活援助	一人部屋でよかった。	なし	人間関係がうまくいかない。		
C24	40歳代	女	B2	計画相談支援	なし	なし	なし		
				就労継続支援A型	働ける、色々な資格が取れた。	風呂場は小さくて良いので更衣室を広くしてほしい。(風呂はシャワーで良い) 職場の前の道路に横断歩道をつけてほしい。	作業場の階段の段差が狭いため、気を付けても頭を打ってしまう。スポーツクローラーがきかない場所がある。		今のところ考えていない。
				計画相談支援	話を聞いてくれる。	なし	なし		
C25	40歳代	女	B2	就労継続支援A型	人の役に立っていると、誇りを持つ仕事。給料とは別に、年2回ボーナスがある。	階段が多いので、上り下りがきつい。	年々、体の負担が大きくなっていく。階段の上り下りで、腰に負担がかかっている。		
				計画相談支援	正しいお金の使い方のアドバイスがもらえる。家事や掃除のアドバイスがもらえる。	なし	なし	部屋の掃除で、高いところが届かない。その掃除をお願いしたいかわからない。	

障害福祉サービス等の利用について（知的障害がある人）

障害福祉サービス等の利用について（精神障害がある人/入所）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス		
SN1	60～64歳	男	3級	生活介護	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリやって足の悪さを維持できている。 ・ごはんおいしい。 ・おフロも広くて良い。 自分で食事の準備をしなくてよいこと。	なし	なし		特になし		
				共同生活援助						おなじおかずが多いので改善してほしい。	あいさつしても返事をしない人がいる。(利用者：男性)
				計画相談						なし	なし

障害福祉サービス等の利用について（精神障害がある人/通所）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
ST1	40歳代	男	B1 2級	就労継続支援 B型事業	お金がかせげる事、友達と会える。	職員数が足りていない。 職員の声かけを改善して 欲しい(上から言わない で欲しい)	人間関係、意見の食い違 いがあるのも上手に対処 できない。		・対人関係の相談や支援を してくれるサービス。 ・仕事のアドバイスを専属 でしてくれるサービス。
				相談支援	相談できる。必要なサービスを提案してくれ た。	もうよつとゆつくり話をき いて欲しい。アドバイスが 欲しい。	どんな時にどんな事を相 談していいかわからな い。		老後の不安があるので、老 人ホームに入りたい。
ST2	50歳代	女	3級	就労継続支援 B型	友達と話せる。仕事ができる。				
				計画相談	相談員がアドバイスをくれる。	相談支援の方から連絡を してきて欲しい。			
ST3	20歳代	女	B2 3級	就労移行	同級生がいて安心した。作業スピードが向上し た。		自分が集中できていない と感じる事がある。原因 は良く分からない。		グループホームを利用して 一人立ちしたい。
				宿泊型自立訓 練	洗たく、料理などできる事が増えて欲しい。	Wi-Fiつけて欲しい。朝の 当番がつかない。			
ST4	50歳代	女	不明 3級	相談支援	計画で自分の目標を再認識できた。				
				就労継続支援 B型	自分にあっただ作業がある。	なし	なし		共同生活援助
ST5	50歳代	男	2級	就労継続支援 B型		職場の雰囲気が悪い。話 をすような雰囲気では ない。もっと明るくしてほ しい。			今の所(就労継続支援B型 事業所)は、後2年で10年 になる。10年までは続け て、その後は別の事業所を 考えたい。
				計画相談	コロナになった時は食事のことで助けても らった。	配布物は毎回持って来て ほしい。	担当者が代わることが多 い。		
ST6	60～64歳	男	2級	居宅介護	料理などは助かっている。栄養のあるものが 食べることが出来る。				
				生活介護		前の事業所は事務所に 自由に入りができた い。	掃除の仕事がちよつとき ついで時がある。利用者の トラブルがある。事業所 によってやり方が違つと 戸惑う。		
ST6	60～64歳	男	2級	計画相談	相談ができる。				
				居宅介護	今は同じ人が来るので良い。	前は3人ぐらいの人が交 代で来ていた。	夏場は食欲がない。おか ずの量が多い時がある。 好きな物を食べたい時が ある。		

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
ST7	60～64歳	男		生活介護			工賃が少ない。2,000円は欲しい。		
				共同生活援助	病院に迎えに来てくれた。	買い物に行きたいけど、あまり行けない。			
				計画相談					
ST8	60～64歳	女	B1 2級	就労継続支援A型	<ul style="list-style-type: none"> ・働ける事。 ・通勤途中に他利用者と話をしたり、一緒に行ける事。 	小さい字が見えにくい。配布物を大きく印刷して欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の事で、教えてくれる人、教えてくれない人 ・パラハラで困る。 ・年が離れている若い人と話が合わない。出来ない。 		就労継続支援B型(退職したら)
				居宅介護	毎日ヘルパーさんが来てくれるから安心。	糖尿病に合ったメニューを考えて欲しい。	早く来る時もあるから、時間通りに来て欲しい。		
				訪問看護	色々話を聞いてくれる。	なし	なし	事務所にいない事が多いから、電話をいつしたらいいか悩む。	
				相談支援	なし	なし			

障害福祉サービス等の利用について（精神障害がある人/通所）

障害福祉サービス等の利用について（精神障害がある人/その他）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
SS1	30歳代	女	3級	北九州障害者 しごとサポート センター	話を聞いてくれる。会社との間に入ってくれる。 会社に伝えづらい事を伝えてくれる。	面談の日程をあげてほしい。 強いて言えば、コロナ対策のアクリル板で面談の 声が聞こえにくいことがある。	戸畑まで遠い。土日開いていない。	病院が土日開いていない。平日は17時まで。	どんなサービスがあるかわからない。
SS2	20歳代	男	3級	北九州障害者 しごとサポート センター	親身に話を聴いてくれて、必要なことはメモして提供してくれる。とても助かる。		なし		特になし
SS3	40歳代	男	2級	事業所H 高倉苑岡垣町 障害者支援セ ンター	レクが多い。スポーツ等イベントに参加できたのが良かった。 制度や法律についても詳しく説明してくれた。 訪問して面談もしてくれた。	送迎バスがあればよかった。 なし	なし		特になし
SS4	30歳代	男	2級	訓練等給付 サービス	生活リズムの立て直し。	なし	なし		特になし
SS5	40歳代	男	B2 2級	北九州障害者 しごとサポート センター	しつかり話を聴いてくれて、手厚く支援をしてくれる。 ・一人だと悩み考え込んでしまい、どうしたらよいか分からないところ、定期的な面談で話を聞いてもらうことで安心することができている。 ・企業とのやり取りが必要な際、間に入って一緒に考えながら調整などをしてもらえらるので心強い。	もっと会社と密にやりとりをしてほしい。求人情報の提供量を増やして欲しい。	プログラム内容が合わなかった。(工作等、必要なかった) 相談してからもっと早く対処・対応してほしい。	服薬が効いているのか、実感がない。(1錠/日)	特になし
SS6	50歳代	男	3級	北九州障害者 しごとサポート センター					
SS7	50歳代	男	3級	なし	職場に来てくれる。以前は来所していた。	メールで連絡してほしい。	来所が大変だった。		福祉サービスを積極的に利用しようとは思っていない。 今で充分。 ・家族が介護になった場合のサービス。 ・親がいなくなったり、病気の時の後見人のようなサービス。 ・1人暮らしのサポート。
SS8	50歳代	女	2級	ジョブコーチ支援	相談ののってもらえたこと				

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
SS9	40歳代	女	3級	北九州障害者 しごとサポート センター	定期的に訪問、会社との間に入ってくれる。	担当者は同じ人にしてほしい。	仕事を探している時に、担当がなかなか決まらなくて不安だった。担当者が変わりすぎる。来所するのがつからかった。今は訪問してもらえらるので楽になった。		どんなサービスがあるのか知らない。しおりだけではわからない。食事面のサポートを利用したい。(将来的に)
SS10	40歳代	男	2級	北九州障害者 しごとサポート センター	仕事や暮らしについて相談に乗ってもらえる。就職や就職後の支援もあり心強い。	なし			特になし
SS11	50歳代	女	2級	居宅介護	・食事を考えてくれるし、必要なことをしてくれ る。 ・パニックのときも対応してくれて、助かった。 ・きょうだいみたいに感じている。	なし。母であり、姉のように思っている。	なし		特になし
				計画相談	話をきいてくれることがうれしくて、スッキリする。	なし	・合う人と合わない人がいる。 ・人みしりするから困る。		
SS12	40歳代	女	2級	居宅介護	一緒にしてくれると料理をおほえられる。助かっている。	調味料はたくさん使わな いで欲しい。	調味料をいっぱい使う人がいて、人によって味がちがう。		コロナにかかったりしたくないので、他サービスは利用したくない。
				計画相談	あった方がいい。相談できるから助かる。 話を聞いてもらって助かっている。	なし	なし	公共交通機関で病院に行くことが大変。	
SS13	50歳代	男	3級	居宅介護 訪問看護	居宅介護と同様、いろいろ話を聞いてもらい非常に助かっている。				就労継続支援B型 コロナ が心配なと症状の事を考 え、もう少し様子を見てから 考えたい。
				宿泊型自立訓 練 就労継続支援 B型	1人部屋なので、1人でゆっくり出来ること。 ・仕事があるから良い。 ・管理者からのアドバイス通りすると上手い く。 問題があったら、すぐ相談にのってくれる。	もうちょっと風呂を大きく て欲しい。	他利用者とコミュニケーションがとれない。		グループホーム
SS14	50歳代	男	B2 3級	相談支援		なし	なし		
				宿泊型自立訓 練	職場が近くなったこと。	ごはんのメニューを考え て欲しい。にんじんが苦 手。	・冷蔵庫がこわれたま ま。早く買いかえて欲し い。 ・冷水機が3Fにない。2F までいかないといけな い。		
SS15	40歳代	男	2級	計画相談	今の所に移れたので良かった。	なし	なし		特になし

障害福祉サービス等の利用について（精神障害がある人/その他）

障害福祉サービス等の利用について（発達障害がある人）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
H1	30歳代	男	2級	北九州障害者 しごとサポート センター	障害者向けの求人の探し方、障害について教えてもらえる。企業との調整してくれる。	SSSTの回数増加。より実践的な体験や知識の提供を受けたい。	なし		
				発達障害者支援センター	相談でしっかり話を聞いてもらえる。月1回のコミュニケーション訓練が役立っている。	コミュニケーション訓練の回数増加を希望。	なし		
H2	30歳代	男	3級	子ども・若者応援センター	様々な活動・プログラムを体験できた。その種類と数も多かった。その人の段階に合わせたプログラム提供がなされていると感じた。	なし	なし		特になし
				就労移行支援事業所	生活リズムが整い、他の人との交流ができた。社会性の回復につながった。	1年過ぎると早く就職先を見つめるように、とプレッシャーを感じた。	アットホームな空気が強く、自分には少し困る気持ちもあった。		
H3	40歳代	男	3級	北九州障害者 しごとサポート センター	親身に話を聴いてくれる。話すことでストレス発散になる。助言も貰える。	1人にかかる時間をもっと長くしてもらえると嬉しい。企業への助言・指導ももっとやってほしい。	なし		特になし
				北九州障害者 しごとサポート センター	職場への障害の開示のことで悩んでいたところ、解決のためにアドバイスをもらえて実際に解決できたこと。 話を聞いてもらえて精神的にも楽になったこと。	・困りごとがあった時に担当者不在のことがあり、直ぐに相談がしにくいこと。			
H4	30歳代	男	3級	北九州障害者 しごとサポート センター	仕事の選択について一人で考え抱え込んでいたが、センターへの相談を通じて次第に先の見通しが持てるようになり、解決のきっかけとなったこと。	なし	なし		
				北九州障害者 しごとサポート センター	自分の障害について相談できた。	なし	なし		
H5	20歳代	男	3級	就労移行支援事業所	仕事の復帰に向けて知識を学んだり、スキルを身に付けたりできる。	なし	なし		
				相談支援事業所	なし	なし	初回の訪問時、事業所の場所がわかりにくかった。 正式契約に至らなかったが、相手の声が高く大きな声で耳と頭が痛くて困った。	特になし	
H6	30歳代	男	3級	北九州障害者 しごとサポート センター	適宜、情報を提供していただけること。	求人情報の提供を増やしてほしい。	なし		特になし

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
H7	30歳代	男	3級	北九州障害者しごとサポートセンター	仕事や生活で困っていることを相談できている。	なし	なし		居住サポートセンター
				共同生活援助	家から出て生活ができる。暮らし始めは良かったが、徐々に生活しづらくなった。	管理者と世話人の質。真剣に話しているのに笑うことや、障害者扱いはやめて欲しい。	対応が速いこと。		
				相談支援事業所	なし	発達障害だからと決めつけられたのは心外だった。	話が伝わらない、理解されなかった。		
H8	30歳代	男	3級	北九州障害者しごとサポートセンター	上司と自分、支援者で相談ができること。	なし	なし		特になし
				北九州障害者しごとサポートセンター	職場で困ったことや転職の相談ができる。	なし	なし		
H9	40歳代	男	2級	就労移行支援事業	自分のできることや苦手なことを知ることができた。就職できた。				特になし
				北九州障害者しごとサポートセンター	就職後も定期的に職場の様子を見に来てもらったり、相談に乗ってもらえる。	なし	なし		
H10	30歳代	男	3級	就労継続支援B型事業	就職する前に利用していたが、自分に合う働き方に気づくことができた。	なし	なし		特になし
				居宅介護	困ることを助けてもらっている。	時間数を増やすと人が変わる。本人にとってストレスになることになる。	緊急時に使えない。 ・本人理解が誰でもできない。		
H11	20歳代	男	A1	生活介護	本人たちの居場所になっている。	併用しているが、面談が3年ない事業所がある。	・夕方(2~3h)が困る。 ・大人の放デイの様なサービスが欲しい。		・ショートステイ先の複数利用 ・入所施設に入所させたい
				短期入所	自宅以外の生活に慣れることができている。	入浴ができていない日がある。	予約が取れない。		
				計画相談	相談したり、確認できる。	なし	相談したことが、予定通りにすすみにくい。(コロナ禍)		

障害福祉サービス等の利用について（発達障害がある人）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
H12	20歳代	男	A1	居宅介護	助かる。抱え込まなくてよい。	利用時間が増えると人が変わる。ストレスになる。	すぐに使えない。 ・本人理解が誰でもできない。		・シヨートステイ先をみつけない。 ・入所施設に入所させたい
				生活介護	いろんなサービスを使えるために、当該月日数8日／月は、いろんなことを考えるきっかけになる。	終わりの時間が(2h)短い。	夕方(2～3h)が困る。毎日じやなくともいいので、大人の放デイのようなサービスが。		
				短期入所	・突然何かあった時はお願いできる施設がある。 ・安心なところ、使い勝手、それぞれの施設がある。	入浴ができない。	予約が取れない。		
				計画相談	意見を反映してくれる。	相談内容とおりにすまないこともある。(コロナ禍)	言ったことが叶わない。(コロナ禍)		
H13	20歳未満	男	A1	生活介護	父子家庭なので送迎にかかる時間も含めてここを選んでいい。入所施設もあり、先々のことを考えると利用できて安心。	本人の着衣の状態をちゃんと見てほしい。	コロナや台風などですぐ閉まるので、仕事に行けなくなる。働くな、というところかと思ってしまう。		自分が60才になるまでには本人をどこかの施設に預けたい。
				生活介護	土曜・祝日も預けられる。	もっと利用料が下がると気軽に利用できる。	水道代なども利用負担があり、高い。		
				短期入所	将来に向けて準備できる。	なし	子どもが不安があるので1泊しが使えない。		
				居宅介護		本人の特性もあるが、栄養バランスを考えてほしい。	月末に事業所のミーティングのため必ず支援に穴があくので、どうにかしてほしい。		
H14	40歳代	男	A2	計画相談	問題なく利用できている。	電話で説明されても分からないので1つずつ話してほしい。	祝日に受け入れてくれるところを探してほしい。		家族以外と外出とかができてほしいのかな...
				就労継続支援B型	毎日通い、生活リズムを整えられている。		去年度から職員の退職者が多く心配。		
H15	30歳代	男	B1	計画相談	やるべきことはやってもらっている。	もっと工賃が高いと良い。	たまにしか話さないし、次には担当者が変わっていい。		どんなサービスがあるかわからない。
				就労継続支援B型	よくしてくれている。面倒みてくれて助かる。	もっと工賃が高いと良い。	工賃が低くバス代もまかなえない。		
				計画相談	いつも助けてもらっている。	なし	なし		

障害福祉サービス等の利用について（発達障害がある人）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
H16	30歳代	男	B1	就労継続支援B型	音や他者の言動が気になるので、個室対応があり、静かな環境で活動ができるので良かった。				以前は、宿泊型自立訓練を利用したが対人関係の問題があり続けていくことが難しくかった。今は私(兄)と一緒に暮らすことができるが、グループホームなども考えなければいけない。
				計画相談	サービスのことについては聞くことができています。				
H17	30歳代	男	B2	就労定着支援	企業に言いにくいことがあった時はお願いしている。				短期入所の利用を考えていたが、本人が一般就労をしていることや家のことは自分でできるだろうとの理由で、支給されなかった。
				計画相談		担当が度々代わることがあるが、それはしょうがないことと思っている。作業の種類が増えて欲しい。			
H18	40歳代	男	B1	生活介護事業	本人は楽しく通うことができています。				特になし
H19	50歳代	男	B2	計画相談	給料がもらえる。				
				就労継続支援A型		なし			
H20	40歳代	男	2級	相談支援	なし				
				就労移行支援	日中の活動場所として通える。				
H21	20歳代	その他	B2	宿泊型自立訓練	金銭管理など、自立した生活について考えることができる。				実家に帰りたいが、付近に事業所がない。送迎してくれるサービスが欲しい。
				計画相談	相談できる場所が多いにこしたことはない。				
H22	30歳代	女	B2	短期入所	これまでやってこなかった身の回りの事ができる。				
				計画相談	障害者として、見られなかった事がうれしかった。				
H23	30歳代	男	B2	就労継続支援B型	1日中家にいなくて済む				ショートステイ
				相談支援	相談しているうちに自分の考えがまとめられる。	担当がコロナ変わる	担当が変わるたびに話が振り出しに戻る。		
H23	30歳代	男	B2	就労継続支援A型	・選別作業に専念できること。 ・作業配置の配慮があること。	なし			
				共同生活援助	なし	なし			
H23	30歳代	男	B2	相談支援	なし	なし			
				訪問看護	色々と相談出来るようになった。	なし			

障害福祉サービス等の利用について（発達障害がある人）

No.	年代	性	手帳	利用サービス	サービスの良い点	希望する改善点	利用時に困った点	医療ケア面で困ったこと	利用したいサービス
H24	20歳代	男	B1	生活介護	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のペースに合っている。(ゆったりとして) ・通うことが生活の一部になって、本人のモチベーションになっていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳にもう少し日中の様子を書いて欲しい。 ・施設内の設備の利用方法が分からない。もう少し詳しい説明があると分かりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が異動する際、ひきつぎをしつかりして欲しい。1から説明しないといけない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム ・入所施設
				短期入所	本人が泊まらないので分かりません。	本人が泊まらないので分かりません。			
				行動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内に体を動かすことが出来る。 ・公共交通機関のルールを教えてもらえる。 	なし			
				計画相談	言えば調整してくれる。	なし			
				生活介護	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で予防接種(コロナワクチン、インフルエンザワクチン)をしてもらえる事。 	なし			
				短期入所	月1回、定期的に利用しており、本人も楽しみにしているみたいで良かった。	なし			
H25	20歳代	男	A1	相談支援	なし	なし	なし		通院や外出でヘルパーを使いたい。

障害福祉サービス等の利用について（発達障害がある人）

日常生活の状況について（身体障害がある人）

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
S1	20歳代	女	2級 A1	【通所】 情報収集/コミュニケーション	人に対して、大きな声を出すことがあり、トラブルにならないか心配。	家族が判断をしている。 (本人は会話ができない。)
S2	40歳代	女	1級 A1	【通所】 仕事	工賃を受け取ることができたのが嬉しい。今後作業を続けていけるか心配。	本人は十分に会話ができません。そのため、表情から家族が判断をしている。
S3	50歳代	男	6級 B1	【通所】 日中活動/外出	父が病気になるので、万が一の時の本人の対応が心配。すぐにショートステイを利用できるか心配。	母や弟(他県在住)に相談している。
S4	40歳代	女	1級 A1	【通所】 生活	余暇活動/社会参加	現在はいいが、将来が心配。(入所等)
S5	30歳代	女	1級 A3	【通所】 仕事	本人は身体が動かない。何かできることがあったらいいと思う。	家族が本人の困っていることを判断している。(見立て)
S6	60~64歳	女	6級 A2	【通所】 日中活動/外出	通所サービス(2か所利用)は楽しんでいる。外出のときは排泄時の場所が心配。	ケアホームのスタッフ、母親に相談している。
S7	50歳代	女	3級 A2	【通所】 暮らし	楽しく暮らしているが、スタッフが新しくなると不安になる。	長男及び長男の嫁
S8	50歳代	女	6級 A2	【通所】 日中活動/外出	外出活動が減ったので、もっと外出したい。	家族(姉)に相談している。
				【通所】 暮らし	新しい人と接することが不安。	
				【通所】 暮らし	近所の物音が気になる。	
				【通所】 生活	タクシー料金が上がる。	
				【通所】 医療機関	食費がかかると。年金や保護費だけの生活は大変。	
				【通所】 人権	通院が大変。	
				【通所】 暮らし	地域の人と話し合いをしたい。	
				【通所】 リハビリ	さきとりが難しかった。	
				【通所】 スポーツ	リハビリには行っていない。	
				【通所】 暮らし	障害者スポーツも参加しておらず、希望もない。	
				【通所】 収入・生活費	夜がこわい。一人なので、ひきつけをするのではと怖くなる。	
				【通所】 仕事	介助者が金銭管理をしている。活動費○百円とかも相談支援を通してもらっている。他の人みたいに少し手元にほしい。	
				【通所】 日中活動/外出	仕事はしていない。	計画相談の担当者に相談している。
				【通所】 医療機関	ヘルパー(外出)を利用しているので、困っていない。	サービスでかかわっている支援者に相談することはできている。
				【通所】 スポーツ	通所に合わせて受診しているから困っていない。	甥の内縁の妻には相談できない。
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	年齢的に考えていない。	
				【通所】 災害時	地域の集まりなど参加してみたいが、どこでしているかわからない。	
				【通所】 人権	犬がいるから避難の時に逃げられない。置いて逃げよう訪看の人から言われているが、それはできない。避難用の犬のかごが欲しい。	
					小さい頃は笑われて嫌な気持ちだった。最近はない。	

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
S9	20歳代	男	1級 A1	【通所】 暮らし	今後、施設入所を考えている。 入所先が決まり安心している。	計画相談に母親が相談 している。
S10	50歳代	女	4級 A1	【通所】 仕事 【通所】 リハビリ 【通所】 医療機関	機能がおちて、袋詰めなど、得意な仕事が難しくなってきた。 外部との交流をもちたい。早くコロナ以前の状況に戻って欲しい。 てんかん発作が認められたが、いつ発作が起きるか心配。 身体状況から入所先がなかなかみつからない。(てんかんのため) 対応してくれる施設がない。	家族(姉)
S11	30歳代	男	1級 A1	【通所】 暮らし	外出活動を増やしてほしい。	計画相談に母親が相談 している。
S12	50歳代	男	3級 A2	【通所】 日中活動/外出	外出活動を増やしてほしい。	家族(姉)
S13	40歳代	男	1級 A3	【通所】 収入・生活費 【通所】 日中活動/外出	インフルエンザのワクチン接種を無料にしてほしい。 外出活動を増やしてほしい。個別に行うストレッチの時間を増やして欲しい。 ・外出が自由にできない。 ・遊びの願いが叶わない。 ・限られた人しか関われない。	母親、支援員
S14	50歳代	男	1級	【入所】 暮らし 【入所】 リハビリ 【入所】 スポーツ 【入所】 その他	外部リハビリを利用できたらいいと思っている。 ・風船バレーなどできるので、各種イベントが身近であって欲しい。 ・各種イベントが施設に来て欲しい。 ・入浴は人手と経験、スキルも必要。ロボットも使っているが加算が欲しい。 ・入浴は勝手に手厚くして欲しい。	施設職員
S15	40歳代	男	1級 A1	【入所】 リハビリ 【入所】 スポーツ 【入所】 人権	リハビリはきちんとしてくれている。1回/3カ月、書類確認できている。希望は叶っている。 本人にとってもできないのに運動会等を参加した。ある意味きたえられたとは思えけれど、本人の気持ちには分らない。 障書のことを理解していない学校の先生、進学校で心の病になった先生が特別支援学校に周されている。そういう先生は事情もあると思うが、障書のある人たちの理解が難しいと思う。 本人が眠れない時、夜間の排便が時々あり、手でこねて衣類や布団を汚す事があり、仕事で疲れているときなどは大変。日時が一定ではないので、ヘルパーに支援してもらう事も難しい。 将来、入所できるところがあるのか不安である。	利用している事業所へ伝えて いる。直接言うように 心掛けている。
S16	30歳代	男	2級 A2	【通所】 暮らし 【通所】 生活 【通所】 医療機関	将来、入所できるところがあるのか不安である。 本人が眠れない時、夜間の排便が時々あり、手でこねて衣類や布団を汚す事があり、仕事で疲れているときなどは大変。日時が一定ではないので、ヘルパーに支援してもらう事も難しい。 将来、入所できるところがあるのか不安である。 病院受診を家族が行う必要がある。入院時に付き添いが必要となる場合、仕事を休んで対応する必要がある。医療、福祉サービスで何とかならないものか。 中々出掛けられない。話し相手がいらない。職員と話しても、どこからどう伝わるか分からず心配で話せない。	区役所、利用している事 業所、地域の人
S17	50歳代	女	2級	【入所】 暮らし 【入所】 リハビリ 【入所】 スポーツ 【入所】 人権 【入所】 その他	施設の中で1回/週、体のマッサージのみ。本日は一緒に歩いて歩いてほしい。 施設の中でふっせんバレー、ポッチャに参加したことがある。一度大きな大会に連れていかれただけで分らない。 子どもと街に出掛けていると視線が気になる。JRIに乗っけても、席をゆずってくれる人もいれば、そうしない人もいた。 指先が上手く動かないのでレジで時間がかかるから、出来ていた頃を思い出すと辛い。	計画相談の相談員

日常生活の状況について (身体障害がある人)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
S18	50歳代	男	1級 A2	【入所】暮らし	面会ができない。様子がわからない。 リハビリへの拒否感を本人が示していた。嫌がっているのかも。 経験がない。	本人は言語での訴えは難しいため、母親・支援者が汲みとっている。
				【入所】リハビリ		
				【入所】スポーツ		
				【入所】人権		
				【通所】暮らし		
S19	50歳代	女	2級 A1	【通所】収入・生活費	いっぱい今までであったが、過去の話。今は特に困っていない。 住んでいるマンションが、リアフリーではないので、ちょっとした段差が大変。 引越すにも先立つものやタイミングが難しい。 一人2000万円等と言われると、そんなにたくさんたくわえてはない。 本人の能力的に生活介護で少しする程度。私たちに関わりがない質問です。 生活介護に通所できている。 コロナが気になり移動支援は使えずにいる。 通所中の事業所にまかせている。 通所中の事業所にまかせている。 永くかかっていて先生が亡くなり、次を紹介されたが、信頼関係がなくなってしまう。 本人が小さな頃は色々参加していたが、年を重ねるとともに減っていった。 どんなサービス、制度があるかわからない。 自分なりの介助の方法で長年やってきたのでプロの意見を聞きたいとは思っていない。 本人を連れての避難のイメージがわからず、何も備えられていない。 小さな頃から本人を連れて回り、見せてきた経緯があり、差別など感じたことない。 療養介護の要件の中に「遷延性意識障害」が入ったが、まだまだ一般に認知されていない。今後、必要なサービスが利用できるのか、心配している。 これから先も自動車事故対策機構(NASVA)の支援を受けているが、ずっと支援を受けられるのか心配している。	本人は言語での表出が難しいため、家族(母)、支援者が汲みとっている。
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】余暇活動/社会参加		
				【通所】リハビリ		
S20	40歳代	男	1級	【通所】暮らし	父、母とも70歳を超えており、在宅での支援がきつくなっていく。本人の障害特性上、自宅以外の適切な生活の場を見つける事が困難であると思われる。 最終的に医療機関となる可能性が高いと思われるが、本人らしい生活の場を見つけていきたい。 これから先も自動車事故対策機構(NASVA)の支援を受けているが、ずっと支援を受けられるのか心配している。 これから先も自動車事故対策機構(NASVA)の支援を受けているが、ずっと支援を受けられるのか心配している。 父、母とも70歳を超えており、在宅での支援がきつくなっていく。本人の障害特性上、自宅以外の適切な生活の場を見つける事が困難であると思われる。 最終的に医療機関となる可能性が高いと思われるが、本人らしい生活の場を見つけていきたい。	障害者団体、家族会、支援者
				【通所】収入・生活費		
				【通所】生活		
				【通所】医療機関		
				【入所】暮らし		
S21	40歳代	男	3級 A1	【入所】医療機関	近所の友人(家族が福祉サービスを利用して居る)、利用している事業所の職員	近所の友人(家族が福祉サービスを利用して居る)、利用している事業所の職員

日常生活の状況について (身体障害がある人)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手	
S22	30歳代	男	1級 A1	【通所】 暮らし	市営住宅の4階に住んでおり、1階への転居を希望しているが、兄が同居しており所得があるため転居できない状態が続いている。(行政に相談しているが、世帯として所得があるため難しいとの話をされている。)本人の発作等で救急車を呼ぶ事があるが、段差を担架で運ぶのに時間がかかる。また、本人が転落したことが1回ある。制度上どうしようもないのかもしれないが、本人の状況を見て判断してほしい。数ヶ月前に兄が別居したため、転居の手続きが進めようと思っている。	利用している事業所の支援者、区役所の窓口	
				【通所】 生活			市営住宅の4階に住んでおり、1階への転居を希望しているが、兄が同居しており所得があるため転居できない状態が続いている。(行政に相談しているが、世帯として所得があるため難しいとの話をされている。)本人の発作等で救急車を呼ぶ事があるが、段差を担架で運ぶのに時間がかかる。また、本人が転落したことが1回ある。制度上どうしようもないのかもしれないが、本人の状況を見て判断してほしい。数ヶ月前に兄が別居したため、転居の手続きが進めようと思っている。
				【その他】 暮らし			
S23	50歳代	男	3級 A1	【その他】 リハビリ	多動や知的に重度の障害があっても必要なリハビリは受けられるようにして欲しい。外来通院の時はこれまでグループホームの職員が同行をしてくれていた。全とお任せするわけではないが、通院の同行は今後も手伝って欲しい。私(妹)ひとりで行くのは不安があるし、仕事もある中で何度も休むことができない。	グループホーム職員、相談支援員。	
				【その他】 人権			人権や差別問題ということについては、最近は特に感じたことはない。ただ、本人の障害特性上仕方がないことではあるが、行動を抑制しなければならぬことは残念に思う。

日常生活の状況について（身体障害がある人）

日常生活の状況について（知的障害がある人）

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
C1	50歳代	女	A1	【通所】 日中活動／外出	コロナ禍で外出の機会が減ってしまった。 もっと楽しく過ごしたい。	家族、家族会、利用している事業所
				【通所】 余暇活動／社会参加	コロナ禍で外出を抑制せざるを得なくなり、外出する楽しみが減った。	
				【通所】 暮らし	他の利用者の方との動きに合わせて、決められたスケジュールで過ごすことにストレスを感じているかも しれない。	
				【通所】 収入・生活費	自宅のように自由に自由に過ごしたい。	
				【通所】 情報収集／コミュニケーション	親亡き後、年金だけで満足のいく生活を続けることができるのか不安。	
				【通所】 災害時	わかりやすく予定のことなど説明してほしい。	
				【通所】 人権	ひとりではどう対応してよいかわからない。 こわいことは嫌。	
C2	30歳代	男	A2	【通所】 日中活動／外出	電車やバスに乗りたい。	
				【通所】 余暇活動／社会参加	レストランでの屋食を含む外出に行きたい。	
C3	65～69歳	男	A2	【通所】 余暇活動／社会参加	コロナ禍で外出の機会が減ったり制限がある。 もっとレストランでの屋食をしたり行きたいところに行きたい。	
				【通所】 暮らし	生活の場が穴があいている。整備や補修してほしい。	
C4	50歳代	女	3級 A2	【通所】 生活	排泄が、トイレに間に合わない事が増えている。 季節に合わせて衣服調整するのが苦手。	自分から困ったことを伝えることは難しい。グループホームや生活介護や家に帰った時は親などまわりの人が困ったときは気付けてくれる。
				【通所】 日中活動／外出	マスク着用が苦手であるが、コロナ状況で外出時や交通公共機関でマスクを付けるように言われることが多い。日中活動や送迎時も付けたくない。	
				【通所】 災害時	グループホームが土砂災害の避難区域であるため、急きよ備蓄が必要となることが有る。スケジュールに入っていない事は、急に言われでも困ることがある。	
				【通所】 余暇活動／社会参加	コロナの緊急事態宣言などで、いつも行っている図書館が長い期間閉まっていた時は困った。	
				【通所】 暮らし	手指消毒が嫌いで困る。	
				【通所】 その他	視力が落ちてきている。以前より見えづらい。	
				【通所】 暮らし	自分の着たい服と季節が一致してないため、着たい服が着れない。 コロナ禍ということもあり自宅に帰省したいが、なかなか帰省することができない。 グループホームのかべに穴があいているため、修理をしてほしい。	
C5	50歳代	男	A2	【通所】 余暇活動／社会参加	コロナ禍で外出活動等制限があり、楽しみが減った。	・家族 ・利用している事業所の職員
				【通所】 余暇活動／社会参加	コロナの影響で楽しみにしていたお祭り（戸畑祇園）の参加がなく、さみしい。楽しみがない。	
				【通所】 災害時	グループホームに住んでいるので、何かあった時、職員から指示があると思うが、それを待つ間が不安。	
C6	30歳代	男	A2	【通所】 仕事	現在、入寮している所の期限がくるまでに就労したいと思うが、決まると不安である。	職員、家族（姉）
				【通所】 収入・生活費	年金と工賃で生活している。決められた予算内で生活している。工賃がもう少し上がればいいなと思っている。	
C7	20歳代	男	6級 B1	収入・生活費		職員や家族

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手	
C8	65~69歳	女	A2	【通所】 暮らし	今の暮らしに不便はないが、年を重ね、姉妹と遠く離れて生活しているの何十年も会えていない。寂しい。 足が悪いため、何かあった時にすぐに避難できるのか不安。グループホーム入居だが、どうすればいいのかわからないことが不安。	職員	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション			制度やサービスのことが理解できない。(説明されても難しい)
				【通所】 暮らし			暮らしに不便はない。 高齢になってきており、今は月に1回自宅へ帰省しているが、いつまでできるかと不安。
C9	70歳以上	女	A2	【通所】 仕事	目が見えにくくから、やりにくいこともある。	職員	
				【通所】 仕事	施設外と施設内と両方頑張りたい。 特に困ってはいないが、もともと覚えているようにならない。		
C10	50歳代	女	B2	【通所】 日中活動/外出	プライベートであまり外に出ることはない。インクルの行事で出かける分は楽しい。現状で満足。	職員、(家族)	
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	制度やサービスのことは良く分からない。		
				【通所】 その他	健康で体が動くうちは、作業をがんばりたいと思うが、いつまでやれるのかなと感じ、やらなくなつた後の生活をどうするかイメージがわからない。		
C11	20歳未満	男	なし	【通所】 暮らし	物がなくなる。(洗濯物など) 食事がおいしくないので、施設の朝夕食は食べずに自分で買って食べている。	*基本的には職員へ相談している *相談が苦手なため相談して良い事の判断に迷う *心の内を相談出来る相手は今はいない	
				【通所】 収入・生活費	掃除機・洗濯機など備品が古く壊れかけている。台数も少ない。 最低限の生活はできるが、もう少し余裕のある生活がしたい。		
				【通所】 情報収集/コミュニケーション	人とのコミュニケーションは元々得意ではない。集団生活なので気疲れすることが多い。 心から相談出来る人はいない。相談した相手ではと思うのではと話を出来ない。		
C12	20歳未満	女	2級	【通所】 暮らし	食事がおいしくない。 早朝に通路から聞こえる話し声がうるさい。 部屋のカーテンがうまく閉まらない。 外出時間の制約が多いので、もう少し1時間でも長くしてほしい。	*高校時代の友人 *クラスとばた、入所施設等、障害福祉サービス関係の職員	
				【通所】 収入・生活費	貯蓄を増やしたいが、ギリギリの生活なのでなかなかできない。		
				【通所】 仕事	一般就労を目指しているが、障害者の仕事が少ないので、増やしてほしい。 コロナによる影響もあるが、入所施設内でのイベントや行事がなくなった。 障害者が気軽に参加できる文化教室やレクリエーション講座を増やしてほしい。		
C13	20歳代	男	2級	【通所】 余暇活動/社会参加	診断書がない病名を、担当医が言うので、はっきりとした病名に関しては不明のままである。 精神科以外の病院に通院する際、受付や看護師が障害に関して配慮してくれない。	自立支援施設の職員→ 家族(高親)	
				【通所】 医療機関	人の出入が多く集中出来ない。 食事をおいしくして頂きたい。 備品が古く壊れかけている。		
				【通所】 暮らし	入浴時のマナーを守って欲しい。(窓の開放や入浴の仕方) 歯科医療費が高額であった。 病院までの交通手段が乏しい。(近くに止まらない)		
【通所】 生活	JRの利用運賃が高く、利用しづらい。						
【通所】 医療機関							
【通所】 日中活動/外出							

日常生活の状況について (知的障害がある人)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
C14	20歳代	男	B2	【通所】 日中活動/外出	予想外の買い物をしてしまう時がある。計画的にお金を使いたい。	仕事のことは職員に聞いている。生活で困ったことは親に相談している。
C15	20歳代	男	B2	【通所】 生活	自分の好きなこと、イベントに出かけて動かし回って、疲れて事業所に行く日に影響が出る。	困ったことは、親に相談している。
C16	30歳代	男	【その他】 余暇活動/社会参加	余暇活動/社会参加	買物に行く、自分で服や下着を買うことがむずかしい。(サイズや選び方がわからない。)	事業所の支援員
C17	30歳代	女	B2	【その他】 医療機関	病院で血液検査の回数が減ったので、大丈夫かと不安。	グループホームの支援員
C18	40歳代	男	B2	【その他】 暮らし	自分の生活リズムがみだれていて、しごとに行けてない。しごとがしたいけど、どうしていいかわからない。	グループホームの支援員
C19	50歳代	男	B1	【その他】 暮らし	てんかん発作のくすりの調整をしたい。	グループの上司
C20	30歳代	男	B2	【その他】 暮らし	自分の気持ちが人に伝えられない。	グループホームの支援員
C21	50歳代	男	B2	【その他】 暮らし	職場の人やグループホームの職員とゆっくり話ができない。	グループホームの支援員
C22				【その他】 暮らし	グループホーム内での特定の人の人間関係が良くないこと。	グループホームの支援員
C23				【その他】 暮らし	小遣いが時々足りなくなる。	グループの上司
C24				【その他】 暮らし	職場まで行く電車が本数が減ったこと。	グループの上司
C25				【その他】 暮らし	コロナが流行しはじめ、遊びに行く場所や時間が減ったこと。	グループの上司
C26				【その他】 暮らし	彼女からの相談が多くて、自分が聞くことがストレスになる。	グループの上司
C27				【その他】 暮らし	仕事が多すぎて、スポーツができない。	グループの上司
C28				【その他】 暮らし	作業の量が少ない。もつとごとがしたい。	グループの上司
C29				【その他】 暮らし	おふろで自分で体をきれいに洗うことができない。	グループの上司
C30				【その他】 暮らし	1人でしか外出できず、仲間と出かけたり、外でごはんをたべられないこと。	グループの上司
C31				【その他】 暮らし	てんかん発作があるので1人で入浴できない。	グループの上司
C32				【その他】 暮らし	職場がなくなるとうわさを聞いて困っている。	グループの上司
C33				【その他】 暮らし	コロナで外出することがへったこと。	グループの上司
C34				【その他】 暮らし	グループホームで暮らしている。	グループの上司
C35				【その他】 暮らし	コロナ感染拡大の影響で、人との交流、社会参加の機会が減った。	グループの上司
C36				【その他】 暮らし	収入面は年金と給与10万程度。	グループの上司
C37				【その他】 暮らし	医療費は月に17,000円程度。	グループの上司
C38				【その他】 暮らし	仕事に困っている。	グループの上司
C39				【その他】 暮らし	働く環境に必要なことは、03. 交通手段、04. 通院などの保障、06. 賃金が妥当、07. 障害にあった仕事、10. 周囲が自分の事を理解してくれる、11. 就労移行、就労継続、小規模作業所などの場の確保、と	グループの上司
C40				【その他】 暮らし	思う。	グループの上司
C41				【その他】 暮らし	外出は、徒歩か交通機関。	グループの上司
C42				【その他】 暮らし	困ったことは、01. 歩道や建物に階段や段差が多いなど配慮が進んでいない、03. 公共交通機関の料金割引サービスが無いものがあり経費が掛かる事。	グループの上司

日常生活の状況について (知的障害がある人)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
C21 前 員 続	50歳代	男	B2	【通所】 余暇活動／社会参加	旅行やカラオケなど、行きたいけどいけない。(コロナによる自粛) スポーツやボランティア等は興味があるけど、コロナでまち美化などのボランティアも出来ない。02. イベントなどの情報、04. 誘ってくれる仲間、05. 経済的な余裕、06. 活動に関する相談窓口は必要と思う。	
				【通所】 生活	悩みは、友人や職場の上司や同僚に相談している。	
				【通所】 情報収集／コミュニケーション	情報は、テレビ、新聞、雑誌、友人や職員から聞いたり知りたりしている。福祉サービスの情報についても同様。持っているのはガラケーなので、あまりインターネットが使えないが、電話としては使っている。難しい言葉は分からないので、病院や災害時、各種手続きの際は、分かりやすく説明してほしい。	
				【通所】 災害時	避難場所は知っている。避難訓練もしている。	
				【通所】 人権	災害時は、避難時の介助や避難所での対応、指定避難所以外での支援などが必要と思う。学校や外出先で嫌なことをされたことがあった。じろじろ見られたり、サービスの利用を断られたり、理解してもらえなかったり。その時に相談はしなかった。	
				【通所】 暮らし	差別を減らすためには、01. 北九州市からの啓発、02. 学校での福祉の学習、03. 地域交流、04. 障害者団体からの啓発、05. 市の相談窓口を増やすことが必要と思う。	
				【通所】 収入・生活費	今後、彼女と同棲したいと思っており、家事が出来ないといけないなど思っている。コロナ感染拡大で、プロレスが中止になって、楽しみが減った。	
				【通所】 仕事	チャェックにより、毎月通院が必要。自立支援医療の対象ではないと言われた。医療費は毎月、4,000～6,000円程で、年に1回検査があり、その時はもっと費用がかかる。	
				【通所】 日中活動／外出	もっと働いて給料が欲しい。副業して、お金が欲しい。	
				【通所】 余暇活動／社会参加	以前一般就労しており、その時は自分のことを理解してもらえなかった。仕事をするために必要なことは、通勤手段の確保、賃金が妥当、障害に合った仕事、周囲が自分の障害を理解してくれること。週末や休みの日は、出かけている。家族などの車が遠出はJR。交通機関を利用する際、チケットが出てしまし、周囲の反応が気になって乗れない時がある。	
【通所】 生活	余暇については、映画や旅行等をしている。今後スポーツはしてみたいと思う。					
【通所】 スポーツ	イベントなどの情報や誘ってくれる仲間、経済的な余裕は必要だと思う。					
【通所】 情報収集／コミュニケーション	相談は、彼女か職場(A型事業所の職員)にしている。特に困っていない。					
【通所】 災害時	野球をしてみたいが、どうでもいいかわからない。少年野球ならいっぱいあるのに。スポーツ教室は充実させてほしい。					
【通所】 人権	テレビ、本や新聞、インターネットなどから情報を得ている。					
【通所】 生活	主な通信手段は、携帯電話。					
【通所】 仕事	職場や役所などの手続きの際は、分かりやすい言葉で説明してほしい。					
【通所】 収入・生活費	電子請求などは、直接役所などに行かなくていいのであれば、やってみたいと思う。					
【通所】 人権	避難場所は知らない。家族でも話していない。教えてもらえば、一人で避難は出来ると思う。情報は、ラジオや家族、インターネットなどから思う。					
【通所】 災害時	災害時、声掛けや誘導、分かりやすい表示板や放送、避難所での障害や医療に対する配慮、指定避難所以外での支援は必要だと思う。					
【通所】 暮らし	学校や外出先で嫌な思いをしたことがある。じろじろ見られたり、見た目でわかりにくいため理解されなかった。周囲に相談したかったができなかった。相談をして、解決のための具体的な取り組みをしてほしい。					

日常生活の状況について (知的障害がある人)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
C23	30歳代	女	B2	【通所】暮らし	グループホームで暮らしている。困っていることはない。 収入面は年金と給与、困っていない。 病院には行っているが、困るほどではない。 外出は、徒歩か交通機関。自分で移動することが出来る。 スポーツジムに行きたいと思うが、苦手が、あまり出来ていない。 相談すること自体が、苦手で、あまり出来ていない。 情報は、インターネットやテレビからとっている。 今は、グループホームの職員にお願いして、自分で行政手続きをしていないけど、電子申請ができるのであればしてみたいと思う。 避難場所は知っているが、外出している時や通勤途中に災害が起きたら困ってしまう。そこにいる誰かに状況を教えてもらいたい。 小・中学校の時は、普通学校に通っていて、いじめられていた。相談する人がいなかったの、自分で抱え込んでいた。	相談することが苦手だけど、困ったときには、職場(A型)の職員やグループホームの職員に相談している。
				【通所】暮らし		
				【通所】収入・生活費		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】余暇活動/社会参加		
				【通所】生活		
				【通所】情報収集/コミュニケーション		
				【通所】災害時		
				【通所】人権		
				【通所】暮らし		
C24	40歳代	女	B2	【通所】暮らし	収入面は年金と給与、困っていない。 医療費も、さほどかかっていない。 自分も職業訓練(職業能力開発校)に通った。職業訓練はした方が良かった。 外出は、徒歩か交通機関。 通勤に使うバス(西鉄バス)が、朝の出勤ラッシュにも関わらず、小さなバスに変わった。夕方は混んでいないのに大きなバスが来ている。なんで小さくなったのか分からない。 余暇活動が出来る場所が戸畑周辺に集中して通いにくい。黒崎などにも広げてほしい。 相談は、事業所の女性職員や家族にしている。男性には少し相談しにくい。 以前水泳をしていたが、今はしていない。困ってはいない。 テレビ、ラジオ、市政だより等の広報紙、インターネットなどから情報を得ている。市政だよりやインターネットは細かく書いてくれるので分かりやすい。テレビやラジオは、言葉だけだから分かりにくい。 避難場所は知っているが、外出している時や通勤途中に災害が起きたら困ってしまう。電波が届くのであれば、家族に連絡することが出来ると思う。移動手段があれば自宅に帰れるが、止まったら家まで歩いて帰るしかない。 自分が障害を自覚したことが遅く、学生時代も嫌な思いをしたことが無かった。振り返ると、今までは周りに迷惑をかけてきたと思う。自分が小さかった頃は、学校に特別支援学級などもなく、自分に障害があることに気づく機会がなかったと思う。	困ったときには、家族や職場(A型)の女性職員に相談している。
				【通所】収入・生活費		
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】余暇活動/社会参加		
				【通所】生活		
				【通所】スポーツ		
				【通所】情報収集/コミュニケーション		
				【通所】災害時		
				【通所】人権		

日常生活の状況について (知的障害がある人)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
C25	40歳代	女	B2	【通所】暮らし	<p>一人で暮らしている。今後は、結婚してパートナーと暮らしたい。一人暮らしを続けるためには、在宅サービスの確保、障害者に適した住居の確保、経済的な負担の軽減、困ったときの相談体制や必要な支援があると思う。</p> <p>コロナ感染拡大により、外出できず精神的に負担があった。</p> <p>支出の中で、医療費は1万円/月。たまに出してもらう喘息用の吸入器が高いと思う。</p> <p>以前、一般就労をしていた。仕事のミスが多く、辞めさせられた。</p> <p>働くためには、通勤手段の確保、通院などの保障、賃金が妥当、職業訓練等で技術を身につける、周囲が自分の障害を理解してくれることが必要だと思う。</p> <p>週末や休みの日は、出かけている。移動はもっぱら徒歩。</p> <p>坂道が多いと思う(困る)。</p> <p>市営バスの本数が少ない。</p> <p>外出していて、喘息がでないか心配になる。</p> <p>余暇活動については、特に何もしていないが、映画や旅行、カラオケなどはやっていきたい。</p> <p>余暇活動を行うために必要なことは、活動の選択肢の幅、誘ってくれる仲間、経済的な余裕、活動に関する相談窓口、と思う。</p> <p>相談は、相談支援事業所か職場(A型事業所の職員)にしている。</p> <p>問題を解決するまで相談に乗ってくれる体制や気軽に相談できる窓口が必要と思う。自分は、気を使いすぎて相談が来ていない。</p> <p>テレビ、ラジオ、インターネットなどから情報を得ている。</p> <p>主な通信手段は、携帯電話。</p> <p>職場や病院、災害時、役所などの手続きの際は、分かりやすい言葉で説明してほしい。</p> <p>電子請求などは、やってみたいと思う。</p> <p>避難場所は知らない。</p> <p>情報は、テレビ、ラジオ、インターネットなどからとると思う。</p> <p>災害時、声掛けや誘導、分かりやすい表示板や放送、避難所での障害や医療に対する配慮、指定避難所以外での支援は必要だと思う。</p> <p>災害対策はしていない。</p> <p>学校で嫌な思いをしたことがある。友達から仲間外れにされた。見た目でわかりにくいため理解されなかった。</p> <p>周囲に相談をして、話を聞いてくれたり、理解を深めるための啓発活動を行ってほしい。もし、啓発をしていていたら、自分の学生時代はもっと変わっていたのかもしれない。</p>	<p>困ったときには、相談支援事業所や職場(A型)の職員に相談している。</p>
				【通所】収入・生活費		
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】余暇活動/社会参加		
				【通所】生活		
				【通所】情報収集/コミュニケーション		
				【通所】災害時		
				【通所】人権		

日常生活の状況について (知的障害がある人)

日常生活の状況について（精神障害がある人/入所）

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
SN1	60～64歳	男	3級	【入所】 収入・生活費 【入所】 日中活動/外出 【入所】 余暇活動/社会参加 【入所】 医療機関 【入所】 スポーツ 【入所】 情報収集/コミュニケーション 【入所】 災害時 【入所】 人権 【入所】 その他	年金などでやりくり、私的年金(会社、全労済)もかけていたので、心配してない。 電車に乗りに行っている。好き。困ってない。 ローカル線の風景が好き。困ってない。 通院は自主。困ってない。 サッカー中継を見るのが好き。困ってない。 テレビ、ダゾーンで海外の試合を見ている。困ってない。 年に2回くらい災害訓練しているから大丈夫。困ってない。 色んな人がいて、叫ぶとかいるのは困るけどあきらめてる。 困ったりしたら職員に言っている。	グループホーム職員、通所先職員

日常生活の状況について（精神障害がある人/通所）

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手	
ST1	40歳代	男	B1 2級	【通所】 暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・家族と生活していく上で、両親がお金の心配をしている。 ・自分のおこづかいも少ない。 将来的には妻と二人で暮らしたいが、両親に反対されている。金銭管理など課題もあるが、夫婦で暮らしていきたい。	事業所の職員や病院の先生に相談している。両親には内容によるが話しにくい事がある。(夫婦で暮らしたいなどの相談)	
				【通所】 収入・生活費			月の医療費は6000～7000円ぐらいかかっている。今は両親が出してくれているが、自分だけになったら払えるか不安。
				【通所】 仕事			一般就労をしたけれど、以前勤めていた会社からいじめを受けたので、その時の不安が強い。
				【通所】 日中活動/外出			市営バスの本数が少ないので不便。タクシーを使うとお金がかかり過ぎる。
				【通所】 余暇活動/社会参加			買い物をした時、消費税が別になっていて計算ができない。
				【通所】 情報収集/コミュニケーション			インターネットの使い方が分からない。とっさに困った時に調べようがない。
				【通所】 災害時			そうなってみないと分からないが、たぶんその場から動けなくなると思う。
				【通所】 人権			いじめやいやがらせを受けた。差別されていると感じた事もある。自分と人の意見が違うと思う事があつた。
				【通所】 暮らし			宗教関連の問題がある。警察には相談している。
				【通所】 収入・生活費			保護なので、費用はかかっている。B型が合っている。
ST2	50歳代	女	3級	【通所】 仕事	現状の働き方以上の労働は求めていない。B型が合っている。 バスの本数が少ない。移動が困るので自転車を使うが、体力的につい。 最近、体調をくずしやすいが、原因が良く分からない。 将来の事を考えて入所する際、かっているネコの事が心配。 特になし。分からない事は妹にきいている。	精神科の先生に相談する様になっている。	
				【通所】 日中活動/外出			
				【通所】 生活			
				【通所】 情報収集/コミュニケーション			
				【通所】 災害時			
				【通所】 暮らし			具体的にはなってみないと分からないが、妹に助けてもらえらと思う。
				【通所】 収入・生活費			グループホーム使って自立したいが金銭の管理と通院が不安。
				【通所】 仕事			家族がいつまで元気にすこしてくれるか不安になる。
				【通所】 日中活動/外出			年金と工賃で暮らしているが計画的に使っていきけるか不安。
				【通所】 余暇活動/社会参加			収入10万(年金含む)のうち、1割以上医療費にかかる。
ST3	20歳代	女	B2 3級	【通所】 暮らし	A型事業所はなんとなく行きたくない。 一般就労を目指したいが、きちんと働けるか不安。 お店に行った時に迷子になりかける。どこに自分があるのか分からなくなる事がある。 バドミントンやハレーをしてみたいが、それをすすまでの段取り(場所、人、時間、物など)ができない。 小学校の時にイジメにあった。胸ぐらをつかまれたりした。 ①仕事の事で困っても男性職員には言いづらい事がある。 ②生活の事は母さんに相談できる。父兄には相談しにくい。 ③プライベートの事も母に相談できる。		
				【通所】 収入・生活費			
				【通所】 仕事			
				【通所】 日中活動/外出			
				【通所】 余暇活動/社会参加			
				【通所】 人権			
				【通所】 生活			

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
ST3 前頁続	20歳代	女	B2 3級	【通所】 医療機関	男性医者に言いつらい事がある。最近はなれた。女性医師には相談しやすい。 あまり考えたくない。怖い。 スマホでしか調べ物ができないが、電波が入らない時や充電がない時は何もできない。 引っ越しをする必要があり、グループホームを検討してきたが、なかなか自分の条件に合う事業所がないため、民間の賃貸物件に引っ越しをした。 子(20歳代女性)との同居を続けてきたが、今回、別居することになった。親子の関係を維持していく事の難しさを感じている。別々に暮らしても、バラバラにならないように関係を作っていきたい。(それぞれに相談支援専門員がついているので、相談しながら進める。)	主治医、知人・友人、行政、利用している事業所の職員
				【通所】 災害時		
				【通所】 情報収集/コミュニケーション		
ST4	50歳代	女	不明 3級	【通所】 生活	冷蔵庫を大きなものが置けない。 コロナで事業所が閉まってしまふ。相談することなどははないが、話をすると雰囲気ではない。 特に相談する人はいないが、区分認定の時などは相談支援に相談している。 生活保護課のケースワーカーから連絡がない。収入申告ができていないが相談ができていない。 先生の気分によって、言い方が変わる。熱が出た時にすぐに受診できる病院がなかった。 コロナになった時は、保健所からの通知が来たが内容がよくわからなかった。	コロナの時や障害支援区分の認定のときなどは、相談支援に相談している。
				【通所】 暮らし		
ST5	50歳代	男	2級	【通所】 暮らし	今のマンションは変な人がいる。タバコの吸い殻が捨ててあったり、夜中にうるさかったりする。新しいマンションに引っ越しをしたいが保証人がいない。 生活保護なので、家賃として貰える額が決まっている。足りない分は生活費からださないといいけない。 腰が痛いので、体調に合わせて仕事をしたい。	
				【通所】 仕事		
ST6	60～64歳	男	2級	【通所】 収入・生活費	今までは姉が保証人になってくれていたが、癌になり体調が悪いので心配をかけたくない。 通院をしているが、腰や足の痛みが治らない。検査をして欲しかったができなかった。 前は案内がきてフライングディスクに参加していたが、最近案内が来ない。 台風の際に避難のお知らせが来た。それ程危険ではなかったのに、直接家に来ることもあった。 保護課のワーカーに書類を書き間違えた時に「ちゃんと言わなくて怒られることがあった。 保護課のワーカーが人によって言うことや対応が違う。 (本人)事業所を変わりたい。職員から嫌なことを言われる。工賃が少ない。 (支援員)身体機能が低下している。足のむくみもひどいので、日中は座りっぱなしではなく歩行や運動など取り組みとして実施して欲しい。 (本人)買い物に行きたいけど、行けていない。 (支援者)職員体制が厳しく、買い物は月に1回程度しか行けていない。移動支援を利用したいが支給されない。 (支援者)リハビリが必要だが、必要な日数の通院ができていない。通院に行く手段が整わない。 (支援者)避難場所が遠い。	姉に相談していたが、今は体調が悪いのでできない。通所の職員が相談支援員に相談します。
				【通所】 仕事		
				【通所】 生活		
				【通所】 医療機関		
				【通所】 スポーツ		
				【通所】 災害時		
				【通所】 人権		
				【通所】 その他		
				【通所】 日中活動/外出		
				【通所】 余暇活動/社会参加		
ST7	60～64歳	男		【通所】 医療機関	グループホームの職員。	
				【通所】 災害時		

日常生活の状況について (精神障害がある人/通所)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
ST8	60～64歳	女	B1 2級	【通所】 収入・生活費 【通所】 仕事 【通所】 日中活動/外出 【通所】 余暇活動/社会参加 【通所】 リハビリ 【通所】 生活 【通所】 医療機関 【通所】 スポーツ 【通所】 情報収集/コミュニケーション 【通所】 ケーソン 【通所】 災害時	病院代が高い。 バス停から遠い。 ひざが悪いので、エレベーターとかない所は困る。 目も悪いけ、あんまり外出もせん。買い物は行くけど。 足のリハビリに行きたい。介護保険にならないと続けてはしてもらえない。 ペラダにある倉庫が台風の時、飛んでいきそうで大変。 ・病院が遠い。近くの病院はダメって言われた。 ・先生の言っている事が、なかなか分からない時がある。 フライングディスクとしたいけど、ひざが悪いから出来ない。 ・役所からの手紙の内容が難しすぎて分かりにくい。 ・役所の手続きが1人では出来ない。 ・ケータイに避難しなさい、みたいなのが来るけど、字が小さいので分からない。 ・自分の家の近くの避難所は分からない。	友人とか家族。相談員、日中事業所の職員。

日常生活の状況について（精神障害がある人/通所）

日常生活の状況について（精神障害がある人/その他）

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
SS1	30歳代	女	3級	【その他】生活	もっと自立したいけど、環境的にしづらい。 病院が土日開いていない。平日は17時まで。仕事を早退しなければならぬ。 避難所自体が危ないと近所で有名 ヘルプマークがもっと普及してほしい。 コミュニケーションが苦手なので友人が少ない。 今は家族と同居しているから大丈夫だが、一人暮らしをするには今の収入では足りないと思う。 しごとサポートセンターでSSITに参加している。もっとこうしたコミュニケーション訓練に参加して上達したいと思っている。	病气だったら、先生や上司。 家族、しごとサポートセンターにも、悩みによって相談している。 家族、病院の先生、職場の上司、北九州障害者しごとサポートセンターの職員
				【その他】医療機関		
				【その他】災害時		
				【その他】その他		
SS2	20歳代	男	3級	【その他】暮らし	障害のある人が集まってコミュニケーションスキルを上達する練習の場がもっと欲しい。 外で運動する機会が少ない。 同居の両親が高齢になり、心配している。 20年通院していた、かかりつけ医が来年閉院になる。新しい病院を紹介してもらったが、馴染むことができないか心配している。 身近に参加できるサークルやチームがない 異性との出会いが少なく、交際相手がいない。 民間アパートに住んでいるが、経済的負担増である。(彼女と同居) 収入は5万円～10万円未満、医療費は6千円程度、住居費を払うと食べていくのがやっとの状態。 現在、無職(求職中)。勤務時間の配慮、就業場所、賞金等で条件が一致する求人がなかなかない。就職はできたが、障害や病気で身体的に短期で働くことが困難になること。 月の半分以上は外出しているが、外出の手段が限られている。特に、公共機関の路線が少ない。 い。又、料金割引サービスがないものもあり、経費がかかる。 映画は好きだが、経済的余裕がなく、がまんしている。 以前は、コミュニケーション訓練を受けたが、今は受けたいと思わない。受ける必要がない。 生活に関する悩み、不安等は、両親やしごとサポートセンターにしている。しごとサポートは、気軽に相談できる窓口なので10年くらい利用している。 現在の医療機関で満足している。しかし、福岡市東区なので交通費がかかりすぎる。近くの医療機関は考えただけでなく、情報もない。 ソフトバレーに以前参加していた。 一人でも気軽に参加できる配慮があるといい。 基本的には、テレビ、スマホ(インターネット)で情報収集。特に困っていない。 必要な情報はテレビ、スマホで今のところ十分。 一人で避難もできるので、困らない。 スマホに防災メールを登録し、情報をチェックしている。 差別を受けたり、いやな思いをしたことはない。 何でも相談できる窓口があるので困ったことはない。	
				【その他】収入・生活費		
				【その他】リハビリ		
				【その他】その他		
SS3	40歳代	男	2級	【その他】日中活動/外出	収入・生活費	
				【その他】生活		
				【その他】医療機関		
				【その他】スポーツ		
SS4	30歳代	男	2級	【その他】暮らし	収入・生活費	家族(父、母) 北九州障害者しごとサポートセンター
				【その他】収入・生活費		
				【その他】仕事		
				【その他】日中活動/外出		
SS4	30歳代	男	2級	【その他】余暇活動/社会参加	収入・生活費	家族(父、母) 北九州障害者しごとサポートセンター
				【その他】リハビリ		
				【その他】生活		
				【その他】医療機関		
SS4	30歳代	男	2級	【その他】スポーツ	収入・生活費	家族(父、母) 北九州障害者しごとサポートセンター
				【その他】情報収集/コミュニケーション		
				【その他】災害時		
				【その他】人権		

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
SS12 前 頁 続	40歳代	女	2級	【その他】 日中活動/外出	コロナにかかりたくない。 ・ゲーム(無課金)をしている。 ・テレビみたり(テレQ)している。困ってはない。 障害や病気があると伝えてはいるのに市営住宅の役が回ってきそう。役にならざらうしようかと思う。 TELで処方せん出してもらって病院に行かなくなって薬になった。調子悪い時は病院に行こうかなどは思 う。2回/週、訪問看護は困ってない。 しない。 近くの小学校に地震が来たら行くのかなと(たぶん)思っている。 ・つかかかってくる人がいる。 ・自分に荷りたい人がいる。	訪問看護、居宅介護、医 師 家族、行政、相談支援
				【その他】 医療機関		
				【その他】 スポーツ		
				【その他】 災害時		
				【その他】 人権		
				【その他】 医療機関		
				【その他】 日中活動/外出		
SS13	50歳代	男	3級	【その他】 暮らし	夏、受診する際にきついなことがある。バスと徒歩で受診をするが、暑さのために倒れそうになる。(バス停 から病院まで歩くのが大変。)行きだけでもタクシーを使いたいが、経済的に厳しいので使えない。 見学をしているが、行きたい事業所が見つからない。いじめられそうで怖い気持ちになる。 父が高齢になっており、将来の生活の事がいろいろ心配。 楽しいことがあまりない。 2Fには水くむ所があるけど、3Fにはないからわざわざ2Fまで下りて行かないといけない。 生活費は年金と工賃でギリギリ。通院月と定期を買う月がかぶると支出が多くなる。 仕事は続けていきたい。 でかけて、お金が足りなかったことがある。 1人では行けない。一緒に連れて行ってくれる人がいたら行ける。 リハビリはない。 職員誰にでも相談できる。たまに言えなくて、自分のカラにどじこももある。 先生と話す時間が10分しかない。もう少し話したいことがあっても10分。全部を言えなくて、帰ることもあ る。 スタッフがついて来てくれれば良かったけど、1人じゃ難しい。 テレビで色々情報が入ってくる。 自分が若い頃は、目の人は大事にしていた。この若い人(宿泊型利用者)は色々言ってくる。 エレベーターがあるけど使えない。使わせて欲しい。 病院代はかかるけど、しかたないかなと思う。 65才まで働けるかどうか。年金をもらいながら生活ができないなら、働くしかない。 コロナのせいで市外に出られない。福岡の美術館に行きたいけど、うつったら困る。 サークルとかあれば、サッカーとかしてみたい。 リハビリはしてない。 どんなのがあるのか情報が入ってこない。分かれれば行きたい。 だいたいテレビ。特に困らない。	姉、職員
				【その他】 収入・生活費		
				【その他】 仕事		
				【その他】 日中活動/外出		
				【その他】 余暇活動/社会参加		
				【その他】 リハビリ		
				【その他】 生活		
SS14	40歳代	女	B1	【その他】 収入・生活費	コロナにかかりたくない。 ・ゲーム(無課金)をしている。 ・テレビみたり(テレQ)している。困ってはない。 障害や病気があると伝えてはいるのに市営住宅の役が回ってきそう。役にならざらうしようかと思う。 TELで処方せん出してもらって病院に行かなくなって薬になった。調子悪い時は病院に行こうかなどは思 う。2回/週、訪問看護は困ってない。 しない。 近くの小学校に地震が来たら行くのかなと(たぶん)思っている。 ・つかかかってくる人がいる。 ・自分に荷りたい人がいる。	訪問看護、居宅介護、医 師 家族、行政、相談支援
				【その他】 仕事		
				【その他】 日中活動/外出		
				【その他】 暮らし		
				【その他】 収入・生活費		
				【その他】 仕事		
				【その他】 日中活動/外出		
SS15	50歳代	男	B2 3級	【その他】 暮らし	コロナにかかりたくない。 ・ゲーム(無課金)をしている。 ・テレビみたり(テレQ)している。困ってはない。 障害や病気があると伝えてはいるのに市営住宅の役が回ってきそう。役にならざらうしようかと思う。 TELで処方せん出してもらって病院に行かなくなって薬になった。調子悪い時は病院に行こうかなどは思 う。2回/週、訪問看護は困ってない。 しない。 近くの小学校に地震が来たら行くのかなと(たぶん)思っている。 ・つかかかってくる人がいる。 ・自分に荷りたい人がいる。	訪問看護、居宅介護、医 師 家族、行政、相談支援
				【その他】 収入・生活費		
				【その他】 仕事		
				【その他】 日中活動/外出		
				【その他】 余暇活動/社会参加		
				【その他】 リハビリ		
				【その他】 生活		
SS16	40歳代	男	2級	【その他】 収入・生活費	コロナにかかりたくない。 ・ゲーム(無課金)をしている。 ・テレビみたり(テレQ)している。困ってはない。 障害や病気があると伝えてはいるのに市営住宅の役が回ってきそう。役にならざらうしようかと思う。 TELで処方せん出してもらって病院に行かなくなって薬になった。調子悪い時は病院に行こうかなどは思 う。2回/週、訪問看護は困ってない。 しない。 近くの小学校に地震が来たら行くのかなと(たぶん)思っている。 ・つかかかってくる人がいる。 ・自分に荷りたい人がいる。	訪問看護、居宅介護、医 師 家族、行政、相談支援
				【その他】 仕事		
				【その他】 日中活動/外出		
				【その他】 余暇活動/社会参加		
				【その他】 リハビリ		
				【その他】 スポーツ		
				【その他】 情報収集/コミュニ ケーション		

日常生活の状況について(精神障害がある人/その他)

日常生活の状況について（発達障害がある人）

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H1	30歳代	男	2級	【その他】収入・生活費	今は困っていないが、親亡き後の金銭管理や収入に漠然とした不安を抱えている。 障害者向けの求人数が少ない。 今は何もしていないが、何か活動してみたいと思う。もっと情報提供があり、お金の余裕があれば参加しやすいと思う。しかし、その場にどんな人がいるのか心配な気持ちもある。 収入がもっと増えるといいな、と思う。 ADHDの理解が出来ていない。「あの人も○○だし、あなたも大丈夫」と当事者の気持ちを考えていない発言を受けることがある。 若松区にも西鉄バスの路線を拡大してほしい。割引サービス対象ももっと拡大してほしい。 正しい知識を持っていない人がADHDについてSNSで情報を発信しており憤りを感じた。当事者が頑張っても難しいことを理解せず、サボる人と同等に扱えられているように感じた。正しい知識を啓発してほしい。 情報提供や案内が増えてほしい。自分で調べると大変。 情報提供や案内が増えてほしい。自分で調べると大変。	家族、病院のカウンセラー、北九州障害者しごとサポートセンターの職員、発達障害者支援センターの職員
				【その他】仕事		
				【その他】余暇活動／社会参加		
				【その他】収入・生活費		
				【その他】仕事		
H2	30歳代	男	3級	【その他】余暇活動／社会参加	通帳やクレジットカードなどの管理、家賃・公共料金などの支払い管理の一部を親に任せているので、親がいなくなったら後に自分で管理していくことができず不安がある。 一般企業で障害者雇用として動いているけど、収入が7万円位しかなく、アパートで一人暮らしするため生活費が不足している。（不足分は親に補填してもらっている。障害年金を申請予定であり、認定が受けられれば収入面の不安は解消する） 今の会社に働き出してから障害のことが分かったので、周りの従業員の中には障害のことを知らない人がいたり、知っていても理解されていないこともあって苦手な作業を任せられることがある。 メンタル面、自律神経の調子に波があるため、生活の維持に必要な調理、洗濯、掃除などの家事を安定的に継続することが難しい。 日常生活の維持に必要な費用は就労収入と障害年金の活用で賄えているが、ストレスが蓄積する状況が続いた際、発散が上手くできず物の浪費につながることがある。 自身の障害特性に合った仕事の選択肢が限られているため、条件面を優先すると、職場環境に自分を合わせることが時に求められる。 元来友人を作ることが苦手であるため、交友関係を拡げるきっかけになる場所・機会がもっと増えるとういと思う。 職場において、障害の種類・程度が適切に把握されておらず、子供に接するような取り扱いを受けたことがあり負担に感じた。 子供のころから服薬していたが自立支援医療の対象となったことを知らず、3割負担で払っていた時期があった。もっと早めに知れたらよかったと思う。現在は特に問題なし。 就活場面では、コミュニケーションを重視されることが多く、自身の特性上苦勞することが多かった。 発達障害のある人に対するネットでのハッキングを耳がける。障害がある人が世間に許されないような言動をしていることもあると理解している。健常者と障害者が理解しあうことは難しいと思っている。	家族、友人、病院の先生、北九州障害者しごとサポートセンターの職員
				【その他】人権		
				【その他】スポーツ		
				【その他】情報収集／コミュニケーション		
				【その他】暮らし		
H3	40歳代	男	3級	【その他】収入・生活費	生活面のことは「家族」、就労面のことは「北九州障害者しごとサポートセンター」に相談している。	
				【その他】仕事		
				【その他】暮らし		
				【その他】収入・生活費		
				【その他】仕事		
H4	30歳代	男	3級	【その他】余暇活動／社会参加	生活面／医療面のことは「訪問看護」、就労面のことは「北九州障害者しごとサポートセンター」に相談している。	
				【その他】人権		
				【その他】収入・生活費		
				【その他】仕事		
				【その他】余暇活動／社会参加		
H5	30歳代	男	3級	【その他】収入・生活費	家族、病院の先生、北九州障害者しごとサポートセンターの職員	
				【その他】仕事		
				【その他】人権		
				【その他】収入・生活費		
				【その他】仕事		

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H6	30歳代	男	3級	【その他】暮らし	家から出て、一人暮らしをしたいと思うが、経済的に厳しくグループホームを選んだ。入居者や世話人と合わず苦しい思いをしている。	主治医の先生、職場の上司、友人、北九州障害者ごとサポートセンターの職員
				【その他】収入・生活費	家賃が安く、安心して暮らせる場所が欲しい。	
				【その他】仕事	給料と障害年金で生活はできているが、自分の好きなことにお金を使うと、生活費が厳しくなる。もう少し余裕が欲しい。	
				【その他】余暇活動/社会参加	今の会社は9年目になる。事務の仕事が合わず、清掃をすることになったが、自分としては、事務に戻りたい。	
				【その他】生活	友達との付き合いを大事にしているが、合わない人もいて苦労している。	
				【その他】医療機関	悩んだ時は、いろいろなおところに相談しているが、探すことも苦労している。どこに相談すれば良いか、わかりやすくなってほしいら便利と思う。	
H7	30歳代	男	3級	【その他】仕事	主治医が定年退職する。長年診療してもらっていたので、これからは不安。	家族、病院の先生、職場の上司、北九州障害者ごとサポートセンターの職員
				【その他】暮らし	仕事のスピードやミスなど、自分が周囲と違う行動をして目立っているのではないか心配になる。上司しか障害のことを知らないで自分のうわさをされたりするのも、と氣にすることがある。	
H8	40歳代	男	2級	【その他】暮らし	家族の障害に対する理解がなく、家を出たいが収入が少ないため自立できない。	主治医の先生、職場の同僚、北九州障害者ごとサポートセンターの職員
				【その他】収入・生活費	今の職場の勤務時間が、6時間以上延びないため、収入的には厳しい。	
				【その他】仕事	今の仕事は、内容も人間関係も良いが、もともと事務職を希望しているのと、収入面から考えて転職したいと思っている。	
				【その他】暮らし	親と時々言い合いになることがあるが、家を出ようとは思わない。	
H9	30歳代	男	3級	【その他】仕事	今の職場は、周りの人がやさしく働きやすい。暑い中も仕事をしないといけないので、疲れて行きたくないと思う時がある。	職場の上司、北九州障害者ごとサポートセンターの職員
				【その他】生活	パチンコでお金を使わずに、時々ライラすることがある。	
				【その他】情報収集/コミュニケーション	しごとサポートセンターのように支援するところがあることを、もっと早く知ってほしい思いをすることはなかった。	
				【その他】人権	学校や前の職場でいじめられた。いよいよに使用されたり、怒鳴られたりすることばかりで辛くやくしかった。	
				【通所】暮らし	工夫して生活している。	
				【通所】収入・生活費	障害基礎年金を親があてにしている家がある。子どもに使えるよう、当人に使えるようにするべきだと感じている。	
				【通所】仕事	障害を持つ子がいると、できる仕事に限られる。(時間、何かで呼ばれるなど)	
				【通所】日中活動/外出	コロナ禍での制限が本人たちにとって辛そう。	
				【通所】生活	急なことに対応できるサービスが少ない。ない。	
				【通所】医療機関	移動手段の公のサービスの少ない。	
H10	20歳代	男	A1	【通所】スポーツ	社会資源(活動グループなど)が続いていて欲しい。	友人、知人 施設職員
				【通所】情報収集/コミュニケーション	面談ややりとりがなかったり、短時間で伝える内容ではなくTELで早く知りたい情報(コロナ関係)がある。	
				【通所】災害時	自分たちは考えているので困ってない。	
				【通所】人権	北九州は人権・差別は感じない。北関東にいる時はあからさま。地元でもあるが、北九州は良いと思う。	

日常生活の状況について (発達障害がある人)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H11	20歳代	男	A1	【通所】 収入・生活費	<p>・親が年金、手当てを搾取している家庭は困るのでは。</p> <p>・手当を親があてにしている。子どもに反映すべき。</p> <p>・預けているけど、時間が短く、仕事に限られる。</p> <p>・ずっと考えないといけない。</p> <p>コロナ禍で制限されている。</p> <p>ルームランナーなど、できることをしてもらいたい。</p> <p>急なことに対応できるサービスがない。</p> <p>ララン第1日曜日している。10:00~1.5h。社会資源が増え、続いていてほしい。</p> <p>色んな人と情報交換している。</p> <p>自分たちは考えているので困ってない。</p> <p>北九州市は感じない。住む場所ではひどいことがあった。</p> <p>本人はストレスがたまると家で泣くことがある。フラッシュバックのような感じ。ストレスをためないようにならなければならない。</p> <p>自分が働かないと苦しい。子どもが通所できないと自分が働けない。</p> <p>本人が稼ぐことはむずかしい。</p> <p>事業所にかよっているのそれだけ。</p> <p>本人が自分がいけないと不安がる。</p> <p>障理解のある病院がない。今のところは火曜日のみなので仕事に行けない。土曜日に見てくれるところがあるといい。</p> <p>経験がない。</p> <p>本人は特定の人としかコミュニケーションが成立しない。</p> <p>本人1人では対応できない。とびはねあがるので一般の人と一緒に過ごすのは気が引ける。</p> <p>いろいろあった。</p> <p>家族に収入があり、特にない。医療費も免除していただいている。</p> <p>事業所で働いているので、特にない。</p> <p>1人で出歩く機会はない。本当はそういうことも必要とは思っている。</p> <p>家族で対応しているため困っていない。</p> <p>本当は水泳など通わせたいとは思っている。週末は山登り、公園の健康器具でトレーニングしている。</p> <p>ゲームなどの情報取得は得意。コミュニケーションは慣れた人でないと難しいと思う。</p> <p>家族と一緒にあれば問題ない。1人の際はハンックにはならず周りの様子を見て対応できそうではあるが、経験がないので分からない。</p> <p>母親自身は特にないが、1人できるときに何かあっているかもしれない。</p>	<p>・友人、知人</p> <p>・施設職員</p>
				【通所】 仕事		
				【通所】 日中活動/外出		
				【通所】 リハビリ		
				【通所】 生活		
				【通所】 スポーツ		
				【通所】 情報収集/コミュニケーション		
				【通所】 災害時		
				【通所】 人権		
				【通所】 暮らし		
H12	20歳未満	男	A1	【通所】 収入・生活費	<p>本人が自分でいらないと不安がる。</p> <p>障理解のある病院がない。今のところは火曜日のみなので仕事に行けない。土曜日に見てくれるところがあるといい。</p> <p>経験がない。</p> <p>本人は特定の人としかコミュニケーションが成立しない。</p> <p>本人1人では対応できない。とびはねあがるので一般の人と一緒に過ごすのは気が引ける。</p> <p>いろいろあった。</p> <p>家族に収入があり、特にない。医療費も免除していただいている。</p> <p>事業所で働いているので、特にない。</p> <p>1人で出歩く機会はない。本当はそういうことも必要とは思っている。</p> <p>家族で対応しているため困っていない。</p> <p>本当は水泳など通わせたいとは思っている。週末は山登り、公園の健康器具でトレーニングしている。</p> <p>ゲームなどの情報取得は得意。コミュニケーションは慣れた人でないと難しいと思う。</p> <p>家族と一緒にあれば問題ない。1人の際はハンックにはならず周りの様子を見て対応できそうではあるが、経験がないので分からない。</p> <p>母親自身は特にないが、1人できるときに何かあっているかもしれない。</p>	<p>本人なりの訴えを父親・支援者が汲みとる。</p>
				【通所】 仕事		
				【通所】 日中活動/外出		
				【通所】 生活		
				【通所】 医療機関		
				【通所】 スポーツ		
				【通所】 情報収集/コミュニケーション		
				【通所】 災害時		
				【通所】 人権		
				【通所】 収入・生活費		
H13	40歳代	男	A2	【通所】 収入・生活費	<p>本人が自分でいらないと不安がる。</p> <p>障理解のある病院がない。今のところは火曜日のみなので仕事に行けない。土曜日に見てくれるところがあるといい。</p> <p>経験がない。</p> <p>本人は特定の人としかコミュニケーションが成立しない。</p> <p>本人1人では対応できない。とびはねあがるので一般の人と一緒に過ごすのは気が引ける。</p> <p>いろいろあった。</p> <p>家族に収入があり、特にない。医療費も免除していただいている。</p> <p>事業所で働いているので、特にない。</p> <p>1人で出歩く機会はない。本当はそういうことも必要とは思っている。</p> <p>家族で対応しているため困っていない。</p> <p>本当は水泳など通わせたいとは思っている。週末は山登り、公園の健康器具でトレーニングしている。</p> <p>ゲームなどの情報取得は得意。コミュニケーションは慣れた人でないと難しいと思う。</p> <p>家族と一緒にあれば問題ない。1人の際はハンックにはならず周りの様子を見て対応できそうではあるが、経験がないので分からない。</p> <p>母親自身は特にないが、1人できるときに何かあっているかもしれない。</p>	<p>家族、支援者が汲みとって対応。</p>
				【通所】 仕事		
				【通所】 日中活動/外出		
				【通所】 余暇活動/社会参加		
				【通所】 スポーツ		
				【通所】 情報収集/コミュニケーション		
				【通所】 災害時		
				【通所】 人権		
				【通所】 収入・生活費		
				【通所】 仕事		

日常生活の状況について（発達障害がある人）

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H14	30歳代	男	B1	【通所】暮らし	本人の振るまいから、地域のトラブルの犯人に疑われてしまうことがあった。生活は苦しいが、もうどうしようもない。仕方ない。	本人は困ったことを発信できないので、家族(父、弟)や支援者(就労、計画相談)が汲みとって対応している。
				【通所】収入・生活費		
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】医療機関		
				【通所】スポーツ		
				【通所】情報収集/コミュニケーション		
				【通所】災害時		
				【通所】人権		
				【通所】暮らし		
H15	30歳代	男	B1	【通所】収入・生活費	特にお金を使うこともなく、バス代ぐらゐがあれば大丈夫なので、本人としてはお金には困っていない。自分の気持ちを伝えることや集団が苦手であるため、他者と一緒に働くことが難しい。ちよとしたことで嫌になり、事業所に通うことができなくなる。今も通所ができていない。以前、酒場で暴れることがあり警察に連れて行かれたことがあった。いつも外出は一人ですることが多いので、またトラブルを起ささないか心配ではある。	本人が家庭で落ち着かない、事業所に通うことができていない状況があり、本人の対応をどうしていいかわからなかった。本人との関り、対応についてアドバイスが欲しい、発達障害者支援センターに相談している。福祉のサービスについては、相談支援にお願いをしている。
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】生活		
				【通所】人権		
				【通所】収入・生活費		
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】医療機関		
				【通所】暮らし		
H16	30歳代	男	B2	【通所】収入・生活費	特に差別を受けたことなどは無いが、本人は見ただけでは障害がわからないと思うので、知らない人に理解をしてもらうのは難しい。私(兄)も本人に対して、一般常識としての振る舞いをもとめてしまう。障害基礎年金を貰っており、貯金をしている。年金も今後どうなるかわからないし、将来のために残しておかないといけない。先のことを考えると十分な金銭ではないので運用なども考えている。	家族、支援者
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】医療機関		
				【通所】暮らし		
				【通所】収入・生活費		
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】医療機関		
				【通所】スポーツ		
【通所】災害時						
H17	40歳代	男	B1	【通所】暮らし	本人にとって良い環境の所があれば、グループホームなどを考えていきたい。そのためには今から費用を準備していかなければならないが、障害基礎年金2級のみしか収入がないため、経済的に厳しい。歯医者や精神科に通院している。歯医者は3割、精神科は1割と医療費がかかるので負担が大きい。本人はできることがたくさんあると思うので、作業内容を増やして欲しい。車がないので出かける時はバスを使っている。バスの本数が少ないので、増やして欲しい。病院は嫌いではないので、通院できている。困ったことはない。以前はスポーツ大会などに参加することもあったが、今はそのような機会はない。今の所避難をするようなことはない。どのような避難場所があるかわからない。	事業所の職員に相談する。
				【通所】収入・生活費		
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】医療機関		
				【通所】スポーツ		
				【通所】災害時		

日常生活の状況について (発達障害がある人)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H18	50歳代	男	B2	【通所】 暮らし	親が亡くなったら、どこで暮らすか分からない。 行事に不参加の時もある。 ・パソコン教室に行ってる。 ・他に楽しいことがない。	・家族 ・職員
				【通所】 日中活動/外出		
				【通所】 余暇活動/社会参加		
				【通所】 リハビリ		
				【通所】 医療機関		
				【通所】 スポーツ		
				【通所】 災害時		
				【通所】 暮らし		
				【通所】 収入・生活費		
				【通所】 仕事		
H19	40歳代	男	2級	【通所】 余暇活動/社会参加	コロナでなかなか外出できない。 全くない。満足している。 ゴルフをしてみたいが、時間もお金もない。 インターネットや図書館TVから情報している。困り事はない。 一人で乗り越える自信はない。確かに指示や誘導をしてくれれば大丈夫。 ピンとこない。 トイレが困る。(多目的トイレが少ない) バスの座席が少ない。優先席には座りにくい。障害者と思われたくない。 一人暮らしをしたいけど、お金がない。 今はパートで働いているが、もらえるお金が少ない。 パートに入れる日数が少ない。もっと仕事をしたいが、副店長とかの関わりが冷たい気がする。 ・旅行に行きたい。(新潟) ・お金も時間もない。 ・準備が一人でできない。 自分で運転してドライブに行きたい。 免許を取るお金がない。 ボクシングとか格闘技をならってみたい。 ネットを使う時に個人情報心配になる。 そうやってみないと分からない。でも、多分一人だと何もできないと思う。 実父が障害者は底辺だと言っている環境で育った。しばらくは自分が障害者だと認められなかった。 仕事で何か問題があった時には、私がやっただと思われる。	事業所の支援員や病院の先生になら、きがねなく話せる。
				【通所】 収入・生活費		
				【通所】 仕事		
				【通所】 情報収集/コミュニケーション		
				【通所】 災害時		
				【通所】 人権		
				【その他】 余暇活動/社会参加		
				【その他】 日中活動/外出		
				【その他】 暮らし		
				【その他】 収入・生活費		
【その他】 仕事						
H20	20歳代	その他	B2	【その他】 余暇活動/社会参加	①仕事の相談は社員さんにする。 ②生活の事は実母に話せる。 ③恋愛とかのプライベートは友人に話す。	
				【その他】 スポーツ		
				【その他】 情報収集/コミュニケーション		
				【その他】 災害時		
				【その他】 人権		

日常生活の状況について (発達障害がある人)

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H21	30歳代	女	B2	【通所】暮らし	両親がいなくなった後の金銭管理が不安。収入の面で不安もある。 1ヶ月4000～5000円の医療費がかかっている。自分一人での生活を考えると高く感じる。 今のままの働き方がいい。A型や一般就労は不安。 買い物の時に小銭の種別が分かりにくい。 対人関係を築くのが苦手。 主治医の話が早くて理解しにくい。医者の説明が分かりにくい。 水泳に興味がある。コロナで行けなくなった。昔していた。 図書館とかインターネットで調べる。インターネットではこまらないうが、図書館では本がどこにあるのか上手に探せない。 多分一人ではなにもできなと思う。 安全に避難できて、助けてもらえる場所が一目で分かれば何とかできると思う。 給料、年金があるので大丈夫。 自分でヒーリングとかヨガとか出来る。 リハビリはない。 グループホームにいますので大丈夫。 前はスポーツ大会に出てたけど、今は別にいいです。 スマホで見たり、教えてもらったりする。 避難が必要な時どうしたら良いか分からない。困るかも。 2～3ヶ月に1度の受診だと、毎回初診料がとられるのがちょっと困る。 仕事はしていない。 1人では外出できないので、親が車で連れて行って行っている。誰かがついていないと無理。 利用なし。 アレアスのプールが好きだけど、家族が送迎しないと行けない。ので、行く日が限られる。 ほぼ家族がしている。 受診料がかかる。医療証とかあれば・・・。 本人スポーツに興味がない。 本人がパソコン、テレビ、ラジオ、スマホとか見てる。 他の方と一緒に避難所は無理。パニックになる。ギリギリまで家にいるしかない。 今はない。子どもの頃は、本人が走りまわったりするのを見て「親ならちゃんと行って。」等言われていた。見た目は普通の子どもに見えるので。言っ分かれれば言っている、と・・・。	事業所の職員
				【通所】収入・生活費		
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】生活		
				【通所】医療機関		
				【通所】スポーツ		
				【通所】情報収集/コミュニケーション		
				【通所】災害時		
				【入所】収入・生活費		
H22	30歳代	男	B2	【入所】余暇活動/社会参加	友人、母、GH職員、訪問、病院の先生	
				【入所】リハビリ		
				【入所】生活		
				【入所】スポーツ		
				【入所】情報収集/コミュニケーション		
				【入所】災害時		
				【通所】収入・生活費		
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】余暇活動/社会参加		
H23	20歳代	男	B1	【通所】リハビリ	家族 ・通所している事業所 ・区役所	
				【通所】生活		
				【通所】医療機関		
				【通所】スポーツ		
				【通所】情報収集/コミュニケーション		
				【通所】災害時		
				【通所】人権		

日常生活の状況について（発達障害がある人）

No.	年代	性	手帳	聞き取りの視点	困っている点	困った時の相談相手
H24	20歳代	男	A1	【通所】収入・生活費	重度医療証なので、特に病院代で困ることはない。 働いていない。 日中は事業所に通っている。送迎もあるので大丈夫。 私1人では連れて行けない。1人でも行けない。本人大きいし、動きが早いので。 リハビリは受けてない。 待ち時間に本人が急に動いて割れる物へ向かって行くことがあるので、いつも不安。病院の待合室は花びんとかあるから。 行き帰りや会場に必ずつきそってくれる人がいなければ、自分(母)だけでは連れて行くことは出来ない。 スポーツ大会は事業所が連れて行ってってくれるので、参加した。 普通の避難所には連れて行けないので、自宅にいるしかない。(知らない人、物が多く、本人に刺激が強すぎる。) 小学校(普通学級)の頃は、いじめというか、色々と言ってくる子はいいた。特別支援学級にうつってから は、特にない。	本人は言葉がないけど、私(母)には何か訴えることはある。 何かあれば、母としては家族や事業所に相談している。
				【通所】仕事		
				【通所】日中活動/外出		
				【通所】余暇活動/社会参加		
				【通所】リハビリ		
				【通所】医療機関		
				【通所】スポーツ		
				【通所】災害時		
【通所】人権						

日常生活の状況について (発達障害がある人)

行政への意見、要望（身体障害がある人）

行政への意見、要望について				
No.	年代	性	手帳	
S1	60～64歳	女	6級 A2	障害者の意見を聞いてほしい。
S2	50歳代	女	6級 A2	生活保護をもらっているからうれしい。
S3	40歳代	男	1級 A3	インフルエンザワクチン接種の無償化。
S4	50歳代	男	1級	障害基礎年金ベースで利用者負担を考えている。収益が難しい。限度を越すと人が辞める。補助金等で整えて欲しい。
S5	40歳代	男	1級 A1	・障害基礎年金以内で生活が成り立つ事業にし続けて欲しい。 ・施設入所して、帰ってきた日は居宅介護が利用できない。状況によってはサービスの同日利用ができるようになって欲しい。
S6	50歳代	女	2級	手すりがないところが多い。 点字ブロックは増えてきたので、次はてすりが増えてほしい。
S7	50歳代	女	2級 A1	そんなこといわれども分からない。北九州市はわりかし障害者に対して優しかったと思う。
S8	40歳代	男	1級	・遷延性意識障害の事をもっと知り、広めてほしい。 ・本人(遷延性意識障害)が在宅での生活が難しくなった際に、本人らしい生活をする環境はあるのか不安である。医療しかないのか。 ・現在、自動車事故対策機構(NASVA)の支援を受けているが、将来も継続して支援を受け続けてほしいと思っっている。行政側も制度を把握してもっと連携してほしい。

行政への意見、要望（知的障害がある人）

No.	年代	性	手帳	行政への意見、要望について
C1	50歳代	女	A1	親亡き後も本人たちが安心して地域で暮らして続けることができるようにサービスを充実させてほしい。
C2	20歳代	男	6級 B1	(一般)就職を目指している為、障害を持つ人でも働くことができる所をもっと作ってほしい。
C3	65～69歳	女	A2	なし バスを利用しているが、乗りこむ時の段差が自分には高すぎる。 杖を使用しているので危ないので改良してほしい。
C4	50歳代	女	B2	なし 制度やサービスが障害を持つ当事者にも、もっと分かりやすい説明であってほしい。
C5	20歳未満	男	なし	・生活保護支給額を上げることが出来ないでしょうか？ ・働く場所や働きだしてからの企業サポート(企業の理解)などの充実化。
C6	20歳未満	女	2級	障害者を含め、誰もが参加できる行事を増やしてほしい。スポーツ、レクリエーション行事等を希望する。
C7	20歳代	男	2級	・JRの利用運賃を半額等にして頂けないでしょうか？ ・働く場所や働きだしてからの企業サポート・理解などの充実化。 ・障害者への虐待防止。 ・医療費負担の軽減。 ・年金や交通費の割引制度。 ・日中すぎる場所の充実。
C8	40歳代	男	B2	・これから力を入れてほしいこと。 01. 交流や障害のある方への理解を深めるような啓発・広報活動。 07. 医療費負担の軽減。
C9	50歳代	男	B2	11. ボランティア活動に対する支援。 12. 障害のある人に配慮した住宅やグループホーム、福祉ホームなどの確保。 ・会社の近くにバス停を作ってほしい。(バス停から会社まで徒歩15分位かかる) ・会社の近くの横断歩道が消えかかっていて、車の通りも多く危ないので、線をひきなおしてほしい。 ・これから力を入れてほしいこと。
C10	30歳代	女	B2	01. 交流や障害のある方への理解を深めるような啓発・広報活動。 03. 働く場を広げるための企業への働きかけや設備の改善、職業訓練などの充実。 06. 適切な学校教育や放課後の見守り。 12. 障害のある人に配慮した住宅やグループホーム、福祉ホームなどの確保。
C11	40歳代	女	B2	・マイナンバーカードと保険証を一緒にすると言う話を聞く。そもそもマイナンバーカードを作るメリットが分からず、保険証と一緒にするとすべてが知られてしまうのではないかと不安になる。義務化される前に、自分達にも分かるように説明してほしい。 ・北九州市内に、自転車専用通路があるが、もっと増やしてほしい。今ある専用通路も狭くて通りにくいところもあるので広くしてほしい。歩行者が安全に歩ける道路を作ってほしい。 ・これから力を入れてほしいこととして、学校の見守り(事故の防止)や交通機関のバリアフリー化をお願いしたい。
C12	40歳代	女	B2	・これから力を入れてほしいこと。 01. 交流や障害のある方への理解を深めるような啓発・広報活動。 02. 障害のある人の虐待防止への取り組み。 07. 医療費負担の軽減。 13. 道路や歩道の整備と、建物や交通機関のバリアフリー化。

行政への意見、要望（精神障害がある人/入所）

No.	年代	性	手帳	行政への意見、要望について
SN1	60～64歳	男	3級	幸せに暮らせています。

行政への意見、要望（精神障害がある人/通所）

No.	年代	性	手帳	行政への意見、要望について
ST1	40歳代	男	B1 2級	<ul style="list-style-type: none"> ・市営バスの本数を増やして欲しい。 ・タクシー無料にして欲しい。 ・公共交通機関を無料にして欲しい。 ・公衆トイレを増やして欲しい。(駅、街中、公園) ・無料で遊べる施設が欲しい。 ・歩道をもう少し広くして欲しい。 ・横断歩道に信号をつけて欲しい。(付いていない所) ・施設の職員をもっと増やして欲しい。
ST2	50歳代	女	3級	<ul style="list-style-type: none"> ・殺人事件が起こらない様にして欲しい。保護する法律やしゅくみを作って欲しい。子どもの面倒を見るように親に教育して欲しい。 ・孤独死問題について、対応して欲しい。 ・バスの本数は増やして欲しい。
ST3	20歳代	女	B2 3級	①いじめをなくして欲しい。 ②ケイタイ代を無料にして欲しい。
ST4	50歳代	女	不明 3級	特にありません。ケースワーカーさんには大変お世話になってます。
ST5	60～64歳	男	2級	物価が高くなっているので生活が苦しい。生活保護の金額を少しでも上げて欲しい。
ST6	60～64歳	男		移動支援については、療育手帳Aの判定を受けた者だけではなく、本人の障害特性、生活環境、身体機能等を考慮して、柔軟に支給ができる仕組みにして欲しい。
ST7	60～64歳	女	B1 2級	祝日のバスの台数を増やして欲しい。祝日は事業所に行くバスが1本しかない。みんな乗るから座れんやっつからぶつかってこけんか心配。

行政への意見、要望（精神障害がある人/その他）

No.	年代	性	手帳	行政への意見、要望について
SS1	30歳代	女	3級	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者手帳のカード化。 ・JR障害者の割引を精神と発達にも広げてほしい。 ・障害者が利用できる割引サービスWeb化。 ・現在の障害者手帳のビニール部分がくっつきついたり、使いづらいため、ビニールの質を上げてほしい。 ・どんなサービスがあるかわからない。それを自分が使えるのか知りたい。
SS2	30歳代	男	2級	<ol style="list-style-type: none"> 1. 働く場を広げるための企業への働きかけを強く望みます。(ハローワーク求人に一般と障害を分けているのは何故?) 2. 年金や交通費の割引制度などの充実。経済的負担の充実。 3. 道路や歩道の整備と建物や交通機関のバリアフリー化。
SS3	40歳代	男	B2 2級	<ul style="list-style-type: none"> ・企業理解の促進に向けて何か取り組みをしてほしい。 ・精神や発達といった、バツと見てわかってもらえない障害者への配慮をもっと増えることを希望。
SS4	50歳代	男	3級	<ul style="list-style-type: none"> ・JRを利用する時に精神障害者にとっては割引適用がないため、活動の範囲を気軽に広げることが難しいのとありがたい。
SS5	50歳代	男	3級	<ul style="list-style-type: none"> ・障害年金の審査(医師から治らないと言われている)の免除を希望。診断書代がかかる。 ・マイナンバーと一緒に障害者手帳もカード化してほしい。 ・毎年出さなければいけない書類の免除。
SS6	50歳代	女	2級	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすくサービスを教えてください。 ・どこに聞いていいのかわからない。 ・1人で住みやすい環境作り。 ・どんなサポートがあるのかわからない。 ・冊子をもっと説明がほしい。 ・障害者サービスの窓口が一本化してほしい。 ・障害者を受け入れる企業が増えるといい。
SS7	40歳代	女	3級	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス制度がよくわからない。全体的なサービスを教えてください。自分で調べなければいけない。 ・働く場所をふやしてほしい。 ・障害者手帳をカード化してほしい。持ち運びが不便、もう少し小さいサイズにほしい。
SS8	50歳代	女	2級	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の人とは話せている。聞いてくれるので、自分でできるように強くなつたと感じている。自分が強くなつたと感じている。
SS9	40歳代	女	2級	<ul style="list-style-type: none"> ・物価が高くなって、買物が困っています。
SS10	50歳代	男	B2 3級	<ul style="list-style-type: none"> ・巨過市場とか枝光商店街とか火事が多い。北九州は火災に気をつけて欲しい。

行政への意見、要望（発達障害がある人）

No.	年代	性	手帳	行政への意見、要望について
H1	30歳代	男	3級	ADHDの当事者でやり取りできる集いの場や機会の提供があると嬉しい。
H2	40歳代	男	3級	障害のある人は仕事や生活のことで色々な悩みを抱えていて、一般の人が普通に出来ることでも障害のある人には難しいこともあることを多くの人に知ってもらえるように、障害のことをもっと広めてもらいたい。
H3	20歳代	男	3級	特になし。
H4	30歳代	男	3級	強いて言えば、通期ラッシュの時間帯のバスは使いにくく、便が増えたらいいのかな？と考えたことがある。
H5	20歳代	男	A1	障害者を支援する場所があることを紹介して欲しい。
H6	20歳代	男	A1	移動のサービスが欲しい。親も車の運転ができなくなってきたときにどうなるかと心配している。 ・「移動サービス」が欲しい。 ・ちょっとした時間、手伝いを誰に預けるか。 ・生活保護などの通所サービスで、2～3日/月でいいので2～3hあずかってももらえれば、ショートステイに頼らなくてもよいことがある。本当に必要な人がショートステイを使えるようにしてほしい。
H7	20歳未満	男	A1	・1人親なので、仕事か本人といるかの時間しかない。1人の時間がとれない。 ・施設がすぐ閉まると動きに行けない。 ・制度をもっと使いやすくしてほしい。
H8	30歳代	男	B1	マスクはいつまでしないといけませんか？
H9	30歳代	男	B2	短期入所の利用を考え、役所に相談したが断られた。 本人が一般就労していることや家でも手がかからないとの理由。私(母)が入院した時は、父と子ども二人で家のことができずに大変であった。兄に手伝いに来てもらわなければならなかった。 今すぐに必要というわけではないが、また私(母)がいつ入院するかもわからない。いつも利用するわけではないが、家族が必要とするサービスは支給して欲しい。
H10	20歳代	その他	B2	・バスの座席を増やして欲しい。 ・多目的トイレを増やして欲しい。 ・無人レジを増やして欲しい。 ・電車の手ケットの買い方を分かりやすくしてほしい。 ・消費税が高い。お金がない。
H11	20歳代	男	B1	・使いたいサービスが、使いたい時に使えない。色々条件とかあって、後から知って使えませんが、もう少し分かりやすくしてほしい。 ・手帳の判定の検査内容。文字や数字は得意でも苦手なこともある。そのことも判定に反映して欲しい。BとAでは大きく違う。使えるサービスも変わってくる。判定方法が古いのでは？
H12	20歳代	男	A1	・3年に1回の区分更新で、医師の意見書の提出は必要なのか？と思ってます。病院に連れて行き、待ち時間の間、急に動いて割れる物(花びんや置物)へむかって行く。実際に花びんを割ったこともあります。子どもの状態は変わらないのに、意見書は必要なのでしょうか。通院(意見書のためだけに)しなくて良くなると、とても助かります。 ・ヘルパーさんと外出や通院が出来たら良いけど、もし本人が割れる物を目指して動き出したら、男性2～3人がかりでないと止められない。となると、難しいのかなとおもいますが…。男性のヘルパーさんが増えたり、すぐに利用出来る体制が整ったら良いなと思います。

第5章

市政モニターアンケート

令和4年度
第7回市政モニターアンケート

障害福祉施策について

北九州市広報室広聴課

目 次

I 調査の概要	216
II 市政モニターの構成	216
III 調査結果.....	217
1. 障害のある人への理解や関心について	217
2. 北九州市の障害福祉施策の取り組み状況について	230
3. 共生社会を実現するための取り組みについて.....	233
IV 全体考察	238

I 調査の概要

調査対象者 市政モニター149人
 回答者数 142人(回収率95.3%)
 調査実施日 令和4年10月17日～令和4年10月31日
 実施方法 調査票による郵送及びインターネット調査
 調査実施課 北九州市広報室広聴課 Tel582-2527
 調査依頼課 北九州市保健福祉局障害福祉企画課 Tel582-2453

II 市政モニターの構成

R4.10.17

区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	149 (100.0%)	64 (43.0%)	85 (57.0%)	区 別			
10歳代	2 (1.3%)	0 (0.0%)	2 (1.3%)	門司区	19 (12.8%)	10 (6.7%)	9 (6.0%)
20歳代	19 (12.8%)	9 (6.0%)	10 (6.7%)	小倉北区	28 (18.8%)	13 (8.7%)	15 (10.1%)
30歳代	22 (14.8%)	4 (2.7%)	18 (12.1%)	小倉南区	31 (20.8%)	12 (8.1%)	19 (12.8%)
40歳代	25 (16.8%)	11 (7.4%)	14 (9.4%)	若松区	11 (7.4%)	4 (2.7%)	7 (4.7%)
50歳代	23 (15.4%)	11 (7.4%)	12 (8.1%)	八幡東区	11 (7.4%)	4 (2.7%)	7 (4.7%)
60歳代	25 (16.8%)	13 (8.7%)	12 (8.1%)	八幡西区	37 (24.8%)	14 (9.4%)	23 (15.4%)
70歳以上	33 (22.1%)	16 (10.7%)	17 (11.4%)	戸畑区	12 (8.1%)	7 (4.7%)	5 (3.4%)

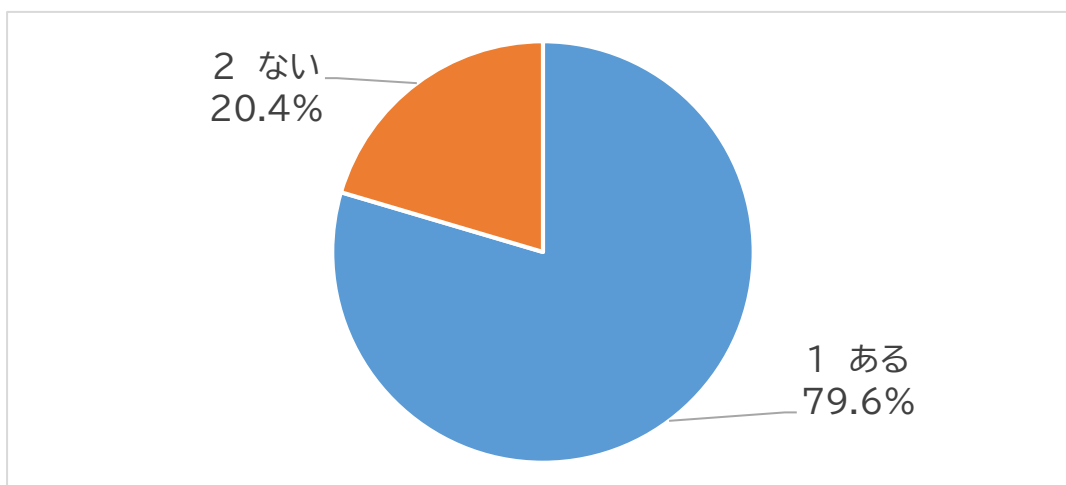
※モニター総数149名のうち郵送モニター24名、ネットモニター125名

※数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は、一致しない場合があります。

Ⅲ 調査結果

1. 障害のある人への理解や関心について

問1 あなたは、今までに障害のある人に接したり、交流したりした経験がありますか。

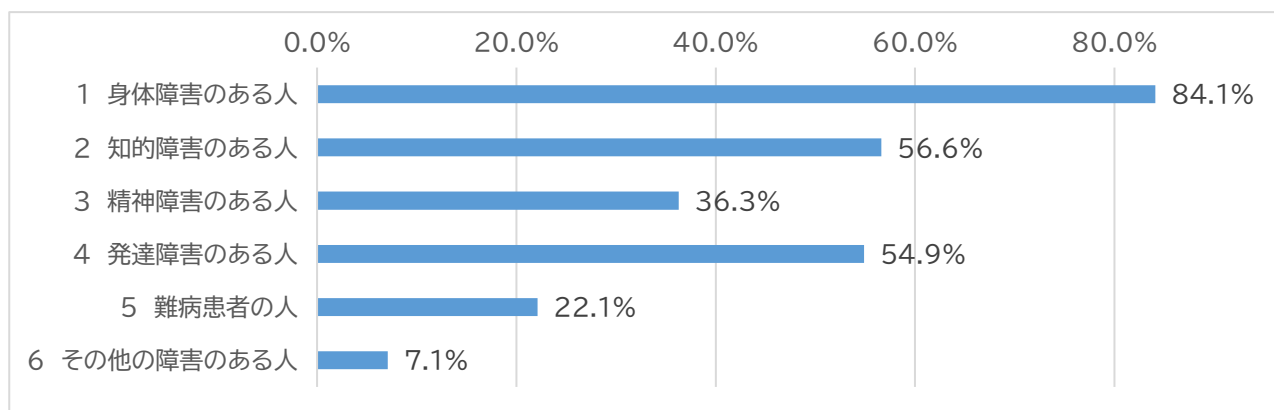


		回答者数	1 ある	2 ない
全体		142人	79.6%	20.4%
性別	男性	59人	74.6%	25.4%
	女性	83人	83.1%	16.9%
年齢別	20歳代以下	15人	93.3%	6.7%
	30歳代	22人	72.7%	27.3%
	40歳代	25人	84.0%	16.0%
	50歳代	23人	82.6%	17.4%
	60歳代	24人	75.0%	25.0%
	70歳以上	33人	75.8%	24.2%
区別	門司区	18人	83.3%	16.7%
	小倉北区	26人	84.6%	15.4%
	小倉南区	28人	85.7%	14.3%
	若松区	11人	90.9%	9.1%
	八幡東区	11人	54.5%	45.5%
	八幡西区	37人	73.0%	27.0%
	戸畑区	11人	81.8%	18.2%

障害のある人に接したり、交流したりした経験が「ある」は、79.6%で、年齢別では、20歳代以下が93.3%と最も高くなっています。

問2 <問1で「1 ある」と答えた方におたずねします>

それはどのような障害のある人に接したり、交流したりしたのですか(○はいくつでも)

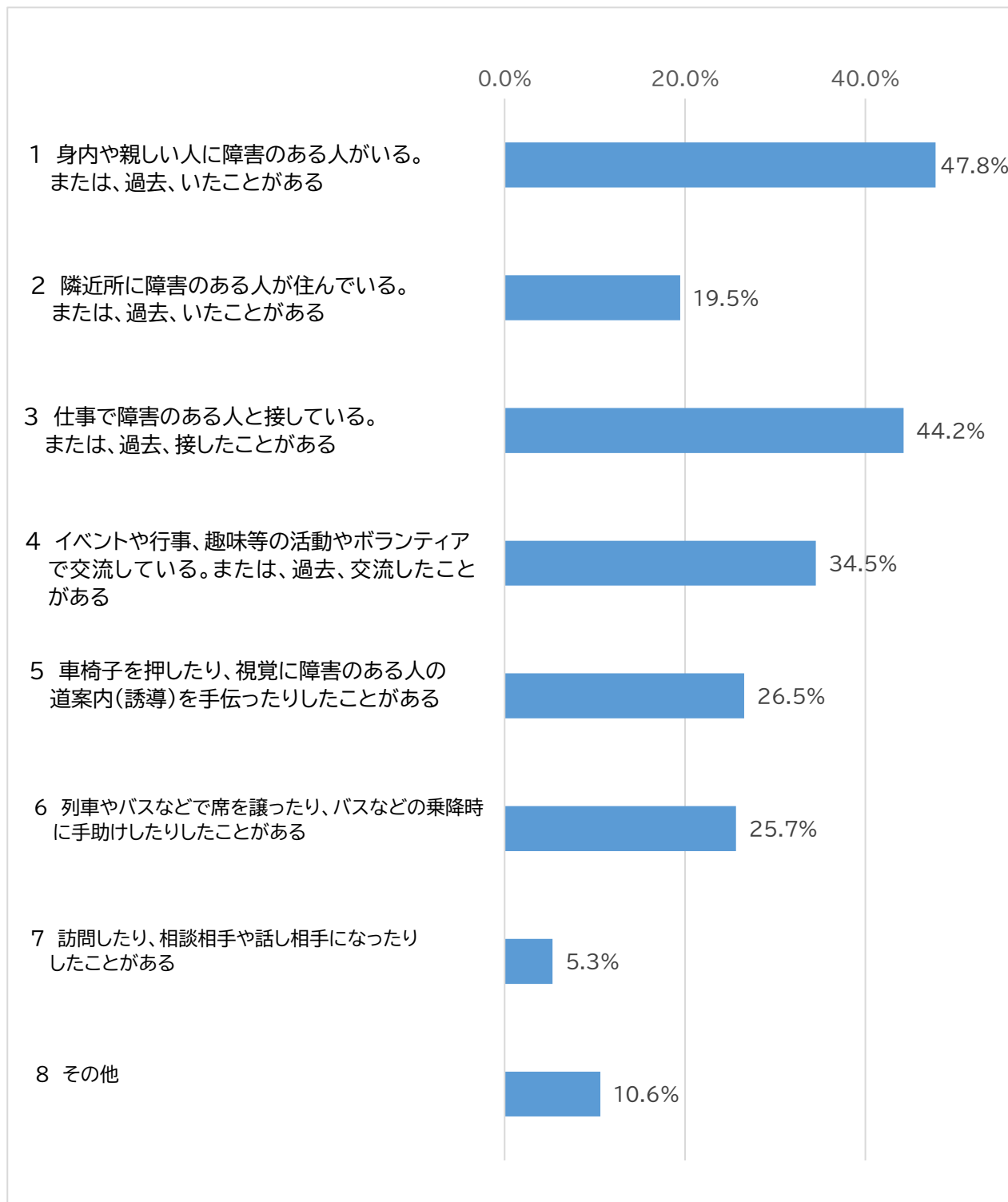


		回答者数	1 身体障害のある人	2 知的障害のある人	3 精神障害のある人	4 発達障害のある人	5 難病患者の人	6 その他の障害のある人
全体		113人	84.1%	56.6%	36.3%	54.9%	22.1%	7.1%
性別	男性	44人	75.0%	47.7%	27.3%	43.2%	20.5%	6.8%
	女性	69人	89.9%	62.3%	42.0%	62.3%	23.2%	7.2%
年齢別	20歳代以下	14人	71.4%	71.4%	42.9%	42.9%	21.4%	7.1%
	30歳代	16人	75.0%	62.5%	50.0%	68.8%	25.0%	0.0%
	40歳代	21人	90.5%	81.0%	61.9%	71.4%	42.9%	23.8%
	50歳代	19人	84.2%	42.1%	36.8%	73.7%	10.5%	5.3%
	60歳代	18人	94.4%	38.9%	27.8%	38.9%	16.7%	5.6%
	70歳以上	25人	84.0%	48.0%	8.0%	36.0%	16.0%	0.0%
区別	門司区	15人	86.7%	60.0%	26.7%	46.7%	6.7%	6.7%
	小倉北区	22人	68.2%	45.5%	36.4%	45.5%	13.6%	4.5%
	小倉南区	24人	91.7%	54.2%	41.7%	54.2%	33.3%	16.7%
	若松区	10人	100.0%	50.0%	50.0%	70.0%	20.0%	0.0%
	八幡東区	6人	66.7%	66.7%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%
	八幡西区	27人	81.5%	63.0%	37.0%	55.6%	25.9%	0.0%
	戸畑区	9人	100.0%	66.7%	33.3%	66.7%	44.4%	22.2%

障害のある人に接したり、交流したりした経験では、「1 身体障害のある人」との交流等が84.1%と最も高くなっています。

年齢別では、20歳代以下が93.3%と最も高くなっています。

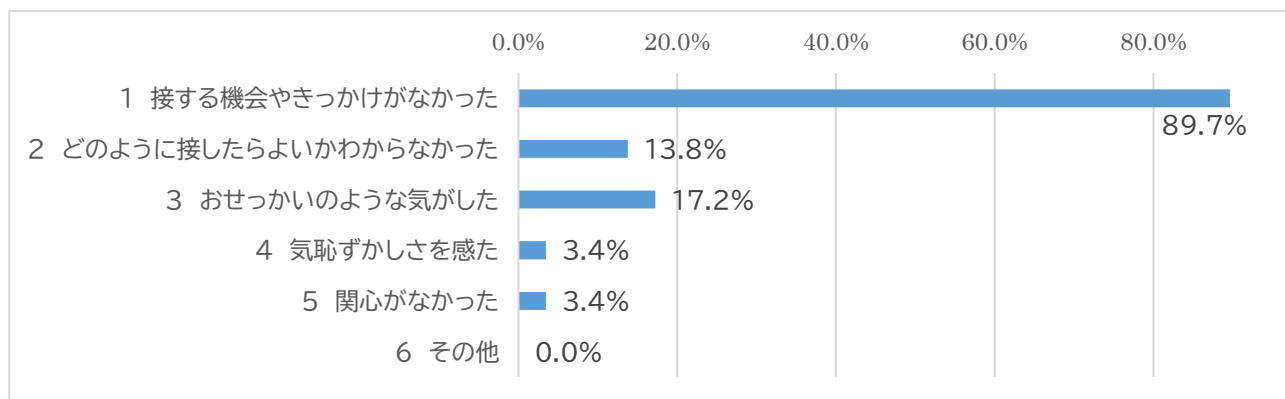
問3 <問1で「1 ある」と答えた方におたずねします>
それは具体的にどのようなことですか(〇はいくつでも)



		回答者数	1 身内や親しい人に障害のある人がいる。または、過去、いたことがある	2 隣近所に障害のある人が住んでいる。または、過去、いたことがある	3 仕事で障害のある人と接している。または、過去、接したことがある	4 イベントや行事、趣味等の活動やボランティアで交流している。または、過去、交流したことがある	5 車椅子を押したり、視覚に障害のある人の道案内(誘導)を手伝ったりしたことがある	6 列車やバスなどで席を譲ったり、バスなどの乗降時に手助けしたりしたことがある	7 訪問したり、相談相手や話し相手になったりしたことがある	8 その他
全体		113人	47.8%	19.5%	44.2%	34.5%	26.5%	25.7%	5.3%	10.6%
性別	男性	44人	47.7%	15.9%	38.6%	38.6%	20.5%	22.7%	2.3%	15.9%
	女性	69人	47.8%	21.7%	47.8%	31.9%	30.4%	27.5%	7.2%	7.2%
年齢別	20歳代以下	14人	28.6%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%
	30歳代	16人	43.8%	6.3%	56.3%	31.3%	31.3%	6.3%	12.5%	12.5%
	40歳代	21人	57.1%	33.3%	61.9%	38.1%	38.1%	42.9%	19.0%	14.3%
	50歳代	19人	57.9%	21.1%	57.9%	21.1%	10.5%	15.8%	0.0%	5.3%
	60歳代	18人	50.0%	11.1%	38.9%	44.4%	27.8%	38.9%	0.0%	5.6%
	70歳以上	25人	44.0%	16.0%	24.0%	40.0%	32.0%	36.0%	0.0%	8.0%
区別	門司区	15人	46.7%	26.7%	46.7%	33.3%	40.0%	33.3%	0.0%	13.3%
	小倉北区	22人	36.4%	22.7%	31.8%	36.4%	13.6%	27.3%	0.0%	9.1%
	小倉南区	24人	37.5%	25.0%	54.2%	41.7%	29.2%	25.0%	12.5%	12.5%
	若松区	10人	60.0%	10.0%	40.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%
	八幡東区	6人	66.7%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	八幡西区	27人	55.6%	14.8%	48.1%	33.3%	29.6%	25.9%	7.4%	14.8%
	戸畑区	9人	55.6%	22.2%	44.4%	44.4%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%

障害のある人に接したり、交流したりし経験の具体的な内容は、「1 身内や親しい人に障害のある人がいる。または、過去、いたことがある」(47.8%)が最も高く、次いで「3 仕事で障害のある人と接している。または、過去、接したことがある」(44.2%)の順となっています。

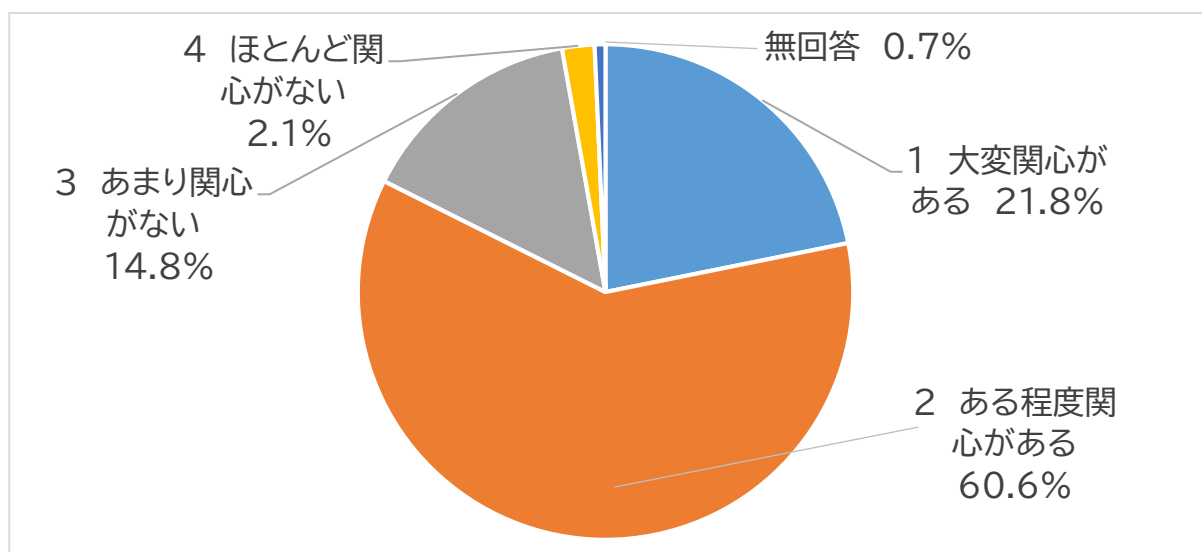
問4 <問1で「2 ない」と答えた方におたずねします>
 接した経験がない理由は何ですか(○はいくつでも)



		回答者数	1 接する機会やきっかけがなかった	2 どのように接したらよいかわからなかった	3 おせっかいのような気がした	4 気恥ずかしさを感じた	5 関心がなかった	6 その他
全体		29人	89.7%	13.8%	17.2%	3.4%	3.4%	0.0%
性別	男性	15人	93.3%	13.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	14人	85.7%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%
年齢別	20歳代以下	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	6人	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	4人	75.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	50歳代	4人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	6人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	8人	87.5%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
区別	門司区	3人	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	4人	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	小倉南区	4人	100.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	若松区	1人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	5人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	10人	80.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	戸畑区	2人	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

障害のある人に接したり、交流したりしたことがない理由等として、多くの方が「1 接する機会やきっかけがなかった」(89.7%)と回答しています。なお、「5 関心がなかった」と回答した方は 3.4%でした。

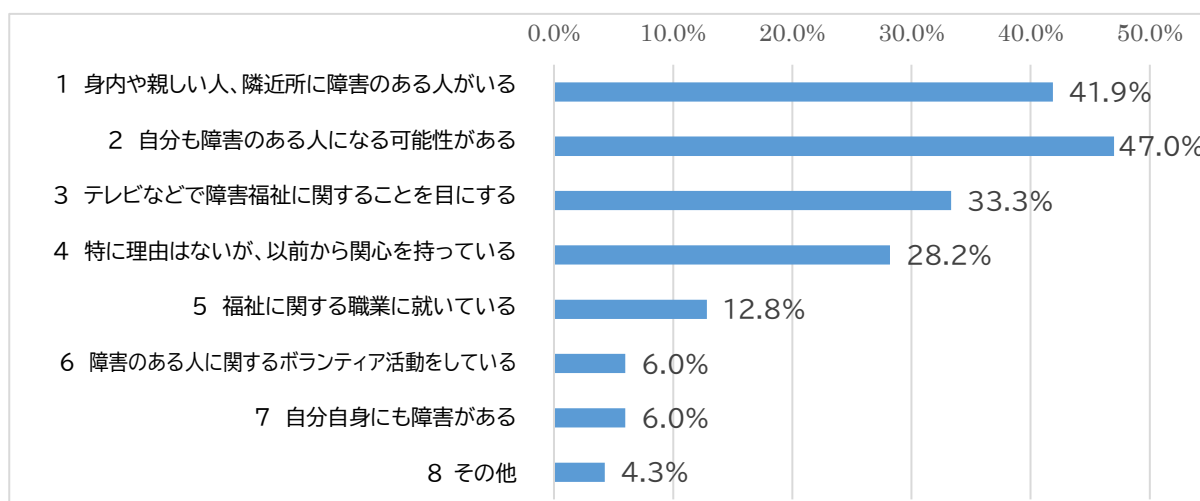
問5 あなたは、障害福祉に関心をお持ちですか(○は1つだけ)



		回答者数	1 大変関心がある	2 ある程度関心がある	3 あまり関心がない	4 ほとんど関心がない	無回答
全体		142人	21.8%	60.6%	14.8%	2.1%	0.7%
性別	男性	59人	15.3%	67.8%	13.6%	1.7%	1.7%
	女性	83人	26.5%	55.4%	15.7%	2.4%	0.0%
年齢別	20歳代以下	15人	20.0%	66.7%	6.7%	6.7%	0.0%
	30歳代	22人	22.7%	40.9%	36.4%	0.0%	0.0%
	40歳代	25人	44.0%	48.0%	4.0%	4.0%	0.0%
	50歳代	23人	17.4%	65.2%	13.0%	4.3%	0.0%
	60歳代	24人	8.3%	70.8%	20.8%	0.0%	0.0%
	70歳以上	33人	18.2%	69.7%	9.1%	0.0%	3.0%
区別	門司区	18人	16.7%	72.2%	11.1%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26人	15.4%	73.1%	7.7%	3.8%	0.0%
	小倉南区	28人	28.6%	50.0%	21.4%	0.0%	0.0%
	若松区	11人	45.5%	36.4%	9.1%	0.0%	9.1%
	八幡東区	11人	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%	0.0%
	八幡西区	37人	18.9%	56.8%	21.6%	2.7%	0.0%
	戸畑区	11人	27.3%	54.5%	9.1%	9.1%	0.0%

「1 大変関心がある」(21.8%)、「2 ある程度関心がある」(60.6%)を合わせ 82.4%が障害福祉に関心を持っているとの回答でした。
 年代別でみると、「1 大変関心がある」、「2 ある程度関心がある」を合わせた割合は40歳代が92.0%と最も高くなっています。

問6 <問5で「1 大変関心がある」または、「2 ある程度関心がある」と答えた方におたずねします>
 どのような理由から関心をお持ちですか(○はいくつでも)

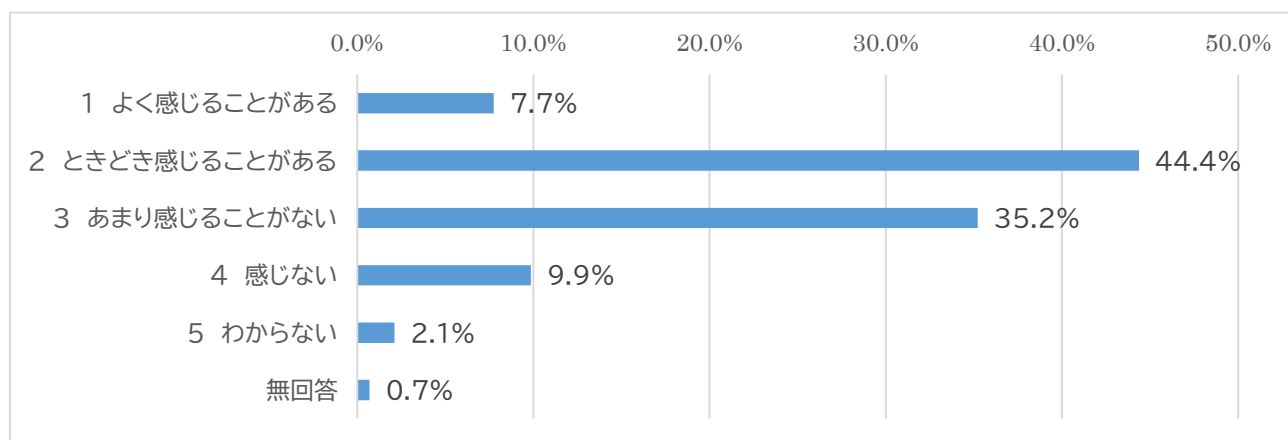


		回答者数	1 身内や親しい人、隣近所に障害のある人がいる	2 自分も障害のある人になる可能性がある	3 テレビなどで福祉に関することを目にする	4 特に理由はないが、以前から関心を持っている	5 福祉に関する職業に就いている	6 障害のある人に関するボランティア活動をしている	7 自分自身にも障害がある	8 その他
全体		117人	41.9%	47.0%	33.3%	28.2%	12.8%	6.0%	6.0%	4.3%
性別	男性	49人	36.7%	44.9%	38.8%	32.7%	4.1%	4.1%	6.1%	2.0%
	女性	68人	45.6%	48.5%	29.4%	25.0%	19.1%	7.4%	5.9%	5.9%
年齢別	20歳代以下	13人	38.5%	23.1%	23.1%	30.8%	15.4%	0.0%	15.4%	7.7%
	30歳代	14人	42.9%	50.0%	28.6%	21.4%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%
	40歳代	23人	39.1%	56.5%	21.7%	17.4%	34.8%	13.0%	13.0%	4.3%
	50歳代	19人	47.4%	31.6%	26.3%	26.3%	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%
	60歳代	19人	47.4%	57.9%	47.4%	31.6%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	29人	37.9%	51.7%	44.8%	37.9%	0.0%	3.4%	6.9%	3.4%
区別	門司区	16人	43.8%	68.8%	18.8%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%
	小倉北区	23人	39.1%	47.8%	39.1%	43.5%	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%
	小倉南区	22人	31.8%	45.5%	22.7%	18.2%	31.8%	13.6%	0.6%	9.1%
	若松区	9人	55.6%	44.4%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	10人	50.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	28人	42.9%	42.9%	42.9%	28.6%	14.3%	7.1%	0.3%	0.0%
	戸畑区	9人	44.4%	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	22.2%	2.5%	0.0%

どのような理由から障害福祉に関心を持ったかについては、「2 自分も障害のある人になる可能性がある」(47.0%)が最も高く、次いで「1 身内や親しい人、隣近所に障害のある人がいる」(41.9%)の順となっています。

問7 あなたは、日常生活や地域で障害のある人に対する差別・偏見などを感じることはありませんか
 (○は各々1つだけ)

(1)身体障害のある人に対して



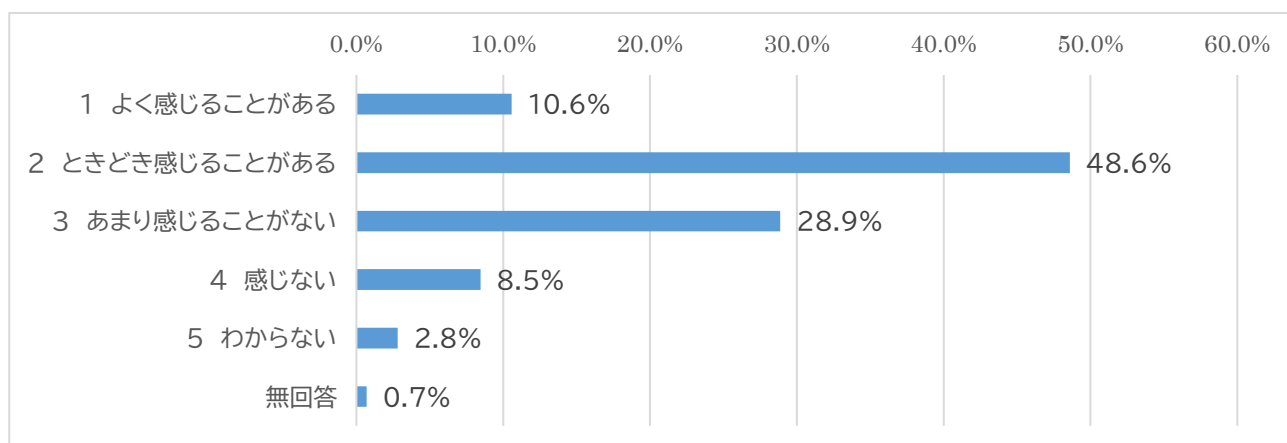
		回答者数	1 よく感じることもある	2 ときどき感じることもある	3 あまり感じることはない	4 感じない	5 わからない	無回答
全体		142人	7.7%	44.4%	35.2%	9.9%	2.1%	0.7%
性別	男性	59人	8.5%	44.1%	30.5%	11.9%	3.4%	1.7%
	女性	83人	7.2%	44.6%	38.6%	8.4%	1.2%	0.0%
年齢別	20歳代以下	15人	6.7%	73.3%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%
	30歳代	22人	4.5%	31.8%	45.5%	13.6%	4.5%	0.0%
	40歳代	25人	16.0%	52.0%	24.0%	8.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	23人	4.3%	43.5%	39.1%	8.7%	4.3%	0.0%
	60歳代	24人	8.3%	41.7%	41.7%	8.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	33人	6.1%	36.4%	42.4%	12.1%	0.0%	3.0%
区別	門司区	18人	11.1%	44.4%	38.9%	5.6%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26人	3.8%	42.3%	34.6%	19.2%	0.0%	0.0%
	小倉南区	28人	10.7%	57.1%	21.4%	7.1%	3.6%	0.0%
	若松区	11人	9.1%	36.4%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%
	八幡東区	11人	0.0%	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	37人	8.1%	40.5%	37.8%	10.8%	2.7%	0.0%
	戸畑区	11人	9.1%	45.5%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%

日常生活や地域で(1)身体障害のある人に対する差別・偏見などを「1 よく感じることもある」(7.7%)と「2 ときどき感じることもある」(44.4%)を合わせて、52.1%と半数以上となっています。

年代別にみると20歳代以下が「1 よく感じることもある」(6.7%)と「2 ときどき感じることもある」(73.3%)を合わせて80.0%と最も高くなっています。

問7

(2)知的障害のある人に対して



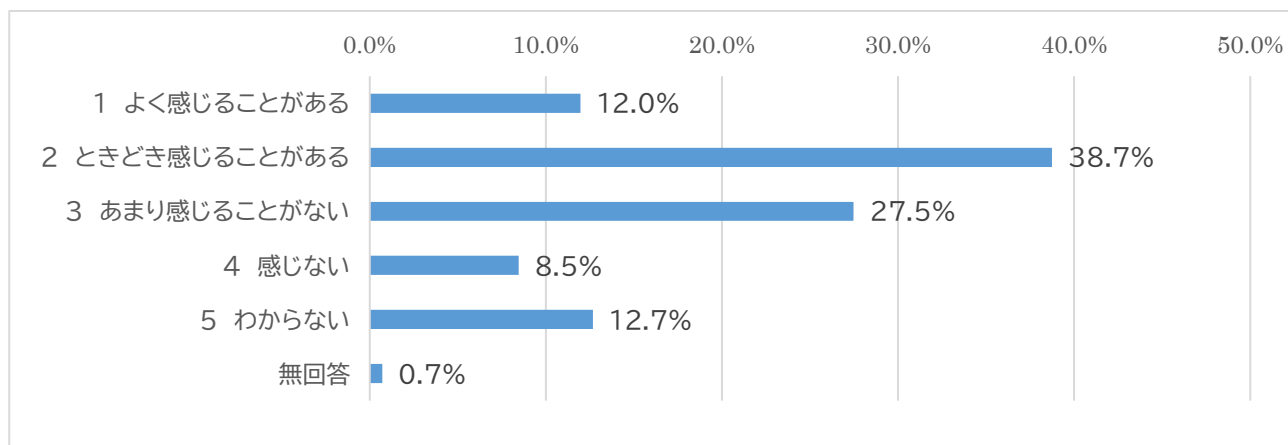
		回答者数	1 よく感じることもある	2 ときどき感じることもある	3 あまり感じることはない	4 感じない	5 わからない	無回答
全体		142人	10.6%	48.6%	28.9%	8.5%	2.8%	0.7%
性別	男性	59人	11.9%	44.1%	25.4%	13.6%	3.4%	1.7%
	女性	83人	9.6%	51.8%	31.3%	4.8%	2.4%	0.0%
年齢別	20歳代以下	15人	13.3%	66.7%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%
	30歳代	22人	4.5%	40.9%	40.9%	9.1%	4.5%	0.0%
	40歳代	25人	28.0%	48.0%	16.0%	8.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	23人	0.0%	65.2%	26.1%	8.7%	0.0%	0.0%
	60歳代	24人	12.5%	41.7%	41.7%	4.2%	0.0%	0.0%
	70歳以上	33人	6.1%	39.4%	33.3%	12.1%	6.1%	3.0%
区別	門司区	18人	16.7%	61.1%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%
	小倉北区	26人	7.7%	42.3%	30.8%	19.2%	0.0%	0.0%
	小倉南区	28人	17.9%	57.1%	14.3%	7.1%	3.6%	0.0%
	若松区	11人	9.1%	36.4%	27.3%	18.2%	0.0%	9.1%
	八幡東区	11人	9.1%	18.2%	63.6%	0.0%	9.1%	0.0%
	八幡西区	37人	5.4%	54.1%	32.4%	5.4%	2.7%	0.0%
	戸畑区	11人	9.1%	45.5%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%

(2)知的障害のある人に対する差別・偏見では、「1 よく感じることもある」(10.6%)と「2 ときどき感じることもある」(48.6%)を合わせて、59.2%と半数以上となっています。

年代別にみると20歳代以下が「1 よく感じることもある」(13.3%)と「2 ときどき感じることもある」(66.7%)を合わせて80.0%と最も高くなっています。

問7

(3)精神障害のある人に対して



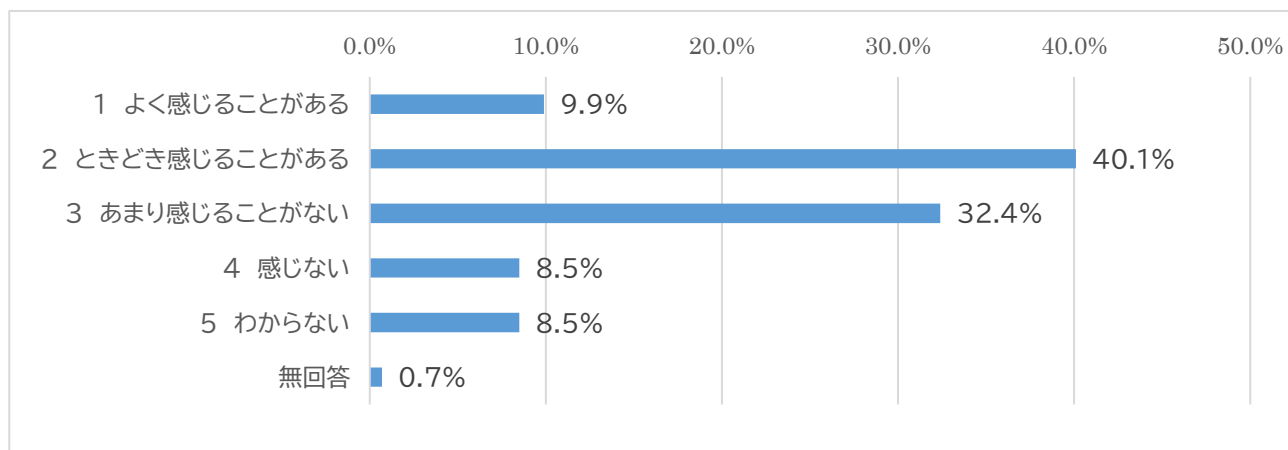
		回答者数	1 よく感じることもある	2 ときどき感じることもある	3 あまり感じることはない	4 感じない	5 わからない	無回答
全体		142人	12.0%	38.7%	27.5%	8.5%	12.7%	0.7%
性別	男性	59人	11.9%	33.9%	22.0%	13.6%	16.9%	1.7%
	女性	83人	12.0%	42.2%	31.3%	4.8%	9.6%	0.0%
年齢別	20歳代以下	15人	20.0%	53.3%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%
	30歳代	22人	9.1%	36.4%	31.8%	9.1%	13.6%	0.0%
	40歳代	25人	20.0%	44.0%	20.0%	8.0%	8.0%	0.0%
	50歳代	23人	4.3%	52.2%	26.1%	8.7%	8.7%	0.0%
	60歳代	24人	16.7%	29.2%	37.5%	4.2%	12.5%	0.0%
	70歳以上	33人	6.1%	27.3%	30.3%	12.1%	21.2%	3.0%
区別	門司区	18人	22.2%	44.4%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	小倉北区	26人	3.8%	26.9%	38.5%	19.2%	11.5%	0.0%
	小倉南区	28人	21.4%	53.6%	14.3%	7.1%	3.6%	0.0%
	若松区	11人	9.1%	45.5%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%
	八幡東区	11人	0.0%	36.4%	36.4%	9.1%	18.2%	0.0%
	八幡西区	37人	5.4%	35.1%	32.4%	5.4%	21.6%	0.0%
	戸畑区	11人	27.3%	27.3%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%

(3)精神障害のある人に対する差別・偏見では、「1 よく感じることもある」(12.0%)と「2 ときどき感じることもある」(38.7%)を合わせて、50.7%と半数以上となっています。

年代別にみると20歳代以下が「1 よく感じることもある」(20.0%)と「2 ときどき感じることもある」(53.3%)を合わせて73.3%と最も高くなっています。

問7

(4)発達障害のある人に対して



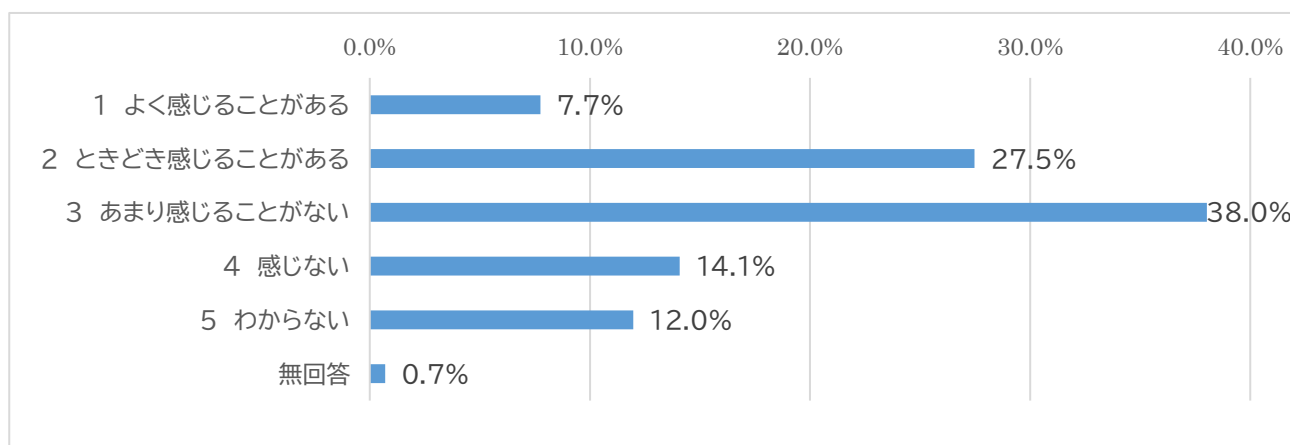
		回答者数	1 よく感じることもある	2 ときどき感じることもある	3 あまり感じることはない	4 感じない	5 わからない	無回答
全体		142	9.9%	40.1%	32.4%	8.5%	8.5%	0.7%
性別	男性	59	6.8%	39.0%	32.2%	11.9%	8.5%	1.7%
	女性	83	12.0%	41.0%	32.5%	6.0%	8.4%	0.0%
年齢別	20歳代以下	15	20.0%	60.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%
	30歳代	22	9.1%	40.9%	27.3%	13.6%	9.1%	0.0%
	40歳代	25	24.0%	40.0%	24.0%	4.0%	8.0%	0.0%
	50歳代	23	4.3%	43.5%	43.5%	0.0%	8.7%	0.0%
	60歳代	24	4.2%	37.5%	37.5%	12.5%	8.3%	0.0%
	70歳以上	33	3.0%	30.3%	42.4%	12.1%	9.1%	3.0%
区別	門司区	18	11.1%	55.6%	22.2%	5.6%	5.6%	0.0%
	小倉北区	26	7.7%	30.8%	30.8%	15.4%	15.4%	0.0%
	小倉南区	28	14.3%	53.6%	21.4%	3.6%	7.1%	0.0%
	若松区	11	9.1%	36.4%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%
	八幡東区	11	0.0%	27.3%	45.5%	18.2%	9.1%	0.0%
	八幡西区	37	10.8%	32.4%	43.2%	5.4%	8.1%	0.0%
	戸畑区	11	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%

(4)発達障害のある人に対する差別・偏見では、「1 よく感じることもある」(9.9%)と「2 ときどき感じることもある」(40.1%)を合わせて、50.0%とちょうど半数となっています。

年代別にみると20歳代以下が「1 よく感じることもある」(20.0%)と「2 ときどき感じることもある」(60.0%)を合わせて80.0%と最も高くなっています。

問7

(5)難病患者の人に対して



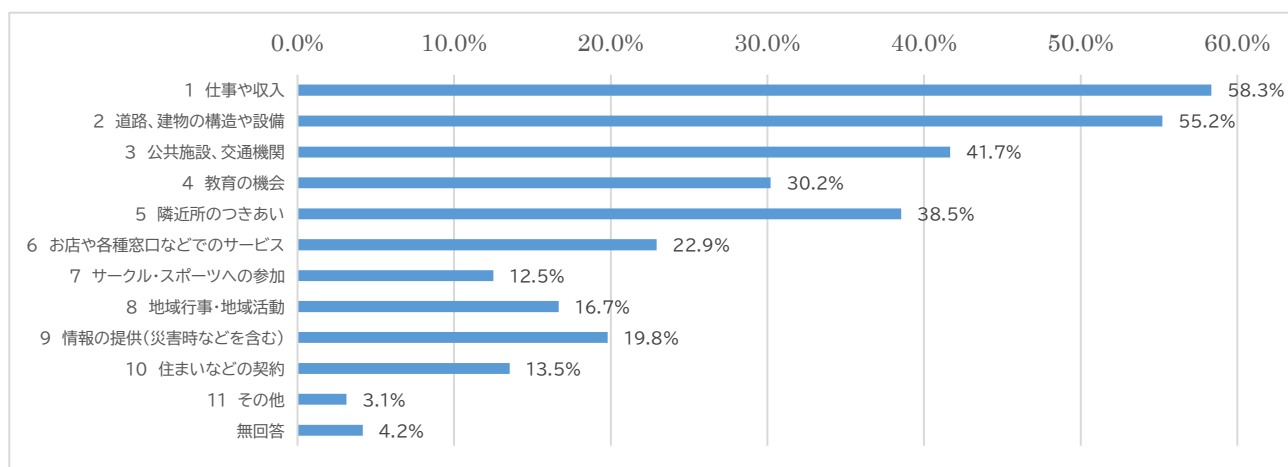
		回答者数	1 よく感じることもある	2 ときどき感じることもある	3 あまり感じることはない	4 感じない	5 わからない	無回答
全体		142人	7.7%	27.5%	38.0%	14.1%	12.0%	0.7%
性別	男性	59人	8.5%	32.2%	27.1%	18.6%	11.9%	1.7%
	女性	83人	7.2%	24.1%	45.8%	10.8%	12.0%	0.0%
年齢別	20歳代以下	15人	6.7%	33.3%	33.3%	13.3%	13.3%	0.0%
	30歳代	22人	4.5%	22.7%	40.9%	13.6%	18.2%	0.0%
	40歳代	25人	20.0%	32.0%	28.0%	12.0%	8.0%	0.0%
	50歳代	23人	0.0%	30.4%	43.5%	13.0%	13.0%	0.0%
	60歳代	24人	4.2%	25.0%	50.0%	8.3%	12.5%	0.0%
	70歳以上	33人	9.1%	24.2%	33.3%	21.2%	9.1%	3.0%
区別	門司区	18人	11.1%	44.4%	27.8%	5.6%	11.1%	0.0%
	小倉北区	26人	3.8%	23.1%	42.3%	15.4%	15.4%	0.0%
	小倉南区	28人	14.3%	32.1%	32.1%	10.7%	10.7%	0.0%
	若松区	11人	9.1%	27.3%	27.3%	18.2%	9.1%	9.1%
	八幡東区	11人	0.0%	18.2%	36.4%	27.3%	18.2%	0.0%
	八幡西区	37人	5.4%	21.6%	48.6%	13.5%	10.8%	0.0%
	戸畑区	11人	9.1%	27.3%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%

(5)難病患者の人に対する差別・偏見では、「3 あまり感じることはない」(38.0%)と「4 感じない」(14.1%)を合わせて、52.1%と半数以上となっています。

「3 あまり感じることはない」と「4 感じない」との回答うち、年代別では60歳代が58.3%と最も高くなっています。

問8 <問7で一つでも「1 よく感じることもある」又は「2 ときどき感じることもある」と答えた方におたずねします>

どのようなところに最も強く障害のある人に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じますか(〇はいくつでも)



※設問の回答には補足説明あり
 1 仕事や収入(職場環境や就労条件、賃金など)
 9 情報の提供(災害時などを含む)
 10 住まいなどの契約(アパートやマンションなどの賃貸契約など)

		回答者数	1 仕事や収入	2 道路、建物の構造や設備	3 公共施設、交通機関	4 教育の機会	5 隣近所のつきあい	6 お店や各種窓口などでのサービス	7 サークル・スポーツへの参加	8 地域行事・地域活動	9 情報の提供	10 住まいなどの契約	11 その他	無回答
全体		96人	58.3%	55.2%	41.7%	30.2%	38.5%	22.9%	12.5%	16.7%	19.8%	13.5%	3.1%	4.2%
性別	男性	39人	61.5%	56.4%	41.0%	25.6%	41.0%	25.6%	15.4%	23.1%	23.1%	15.4%	0.0%	2.6%
	女性	57人	56.1%	54.4%	42.1%	33.3%	36.8%	21.1%	10.5%	12.3%	17.5%	12.3%	5.3%	5.3%
年齢別	20歳以下	12人	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	75.0%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	30歳代	12人	58.3%	66.7%	41.7%	50.0%	16.7%	25.0%	8.3%	8.3%	25.0%	8.3%	16.7%	0.0%
	40歳代	20人	60.0%	65.0%	55.0%	20.0%	35.0%	35.0%	15.0%	30.0%	30.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	17人	52.9%	41.2%	29.4%	29.4%	41.2%	5.9%	23.5%	11.8%	5.9%	11.8%	5.9%	11.8%
	60歳代	17人	47.1%	52.9%	35.3%	41.2%	41.2%	29.4%	11.8%	23.5%	11.8%	11.8%	0.0%	11.8%
	70歳以上	18人	66.7%	66.7%	50.0%	16.7%	27.8%	27.8%	11.1%	16.7%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%
区別	門司区	14人	78.6%	57.1%	50.0%	14.3%	35.7%	21.4%	7.1%	7.1%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%
	小倉北区	17人	52.9%	52.9%	47.1%	23.5%	41.2%	11.8%	5.9%	11.8%	17.6%	5.9%	5.9%	0.0%
	小倉南区	22人	63.6%	59.1%	36.4%	45.5%	50.0%	13.6%	13.6%	18.2%	22.7%	18.2%	0.0%	0.0%
	若松区	7人	57.1%	42.9%	42.9%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%
	八幡東区	5人	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	八幡西区	25人	56.0%	64.0%	40.0%	28.0%	32.0%	40.0%	20.0%	20.0%	28.0%	12.0%	4.0%	12.0%
	戸畑区	6人	50.0%	33.3%	33.3%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%

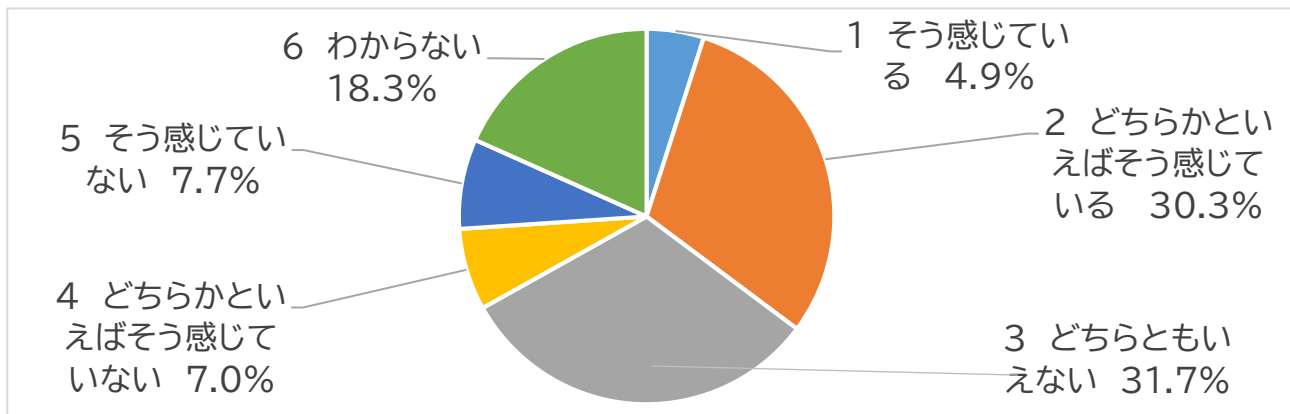
最も強く障害のある人に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じている具体的な内容については、「1 仕事や収入」(58.3%)が最も高く、次いで「2 道路、建物の構造や設備」(55.2%)の順となっています。

2. 北九州市の障害福祉施策の取り組み状況について

【障害のある人の雇用・就業機会の確保と拡大】

問9 北九州市では、働く意欲のある障害のある人の雇用を促進するため、障害者しごとサポートセンターを設置し、障害のある人への就労支援に取り組んでいます。

また、企業での障害のある人の雇用を促進するための取り組み、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供し、必要な支援を行う就労継続支援事業所等の充実などにも取り組んでいます。そこで、おたずねします。あなたは、北九州市では、障害のある人の意欲や能力に応じた多様な就業機会が確保されてきたと感じますか。(○は1つだけ)



		回答者数	1 そう感じている	2 どちらかといえばそう感じている	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう感じていない	5 そう感じていない	6 わからない
全体		142人	4.9%	30.3%	31.7%	7.0%	7.7%	18.3%
性別	男性	59人	5.1%	28.8%	32.2%	8.5%	6.8%	18.6%
	女性	83人	4.8%	31.3%	31.3%	6.0%	8.4%	18.1%
年齢別	20歳代以下	15人	0.0%	26.7%	13.3%	0.0%	13.3%	46.7%
	30歳代	22人	9.1%	31.8%	22.7%	9.1%	4.5%	22.7%
	40歳代	25人	4.0%	24.0%	28.0%	12.0%	16.0%	16.0%
	50歳代	23人	4.3%	39.1%	34.8%	4.3%	8.7%	8.7%
	60歳代	24人	0.0%	37.5%	41.7%	4.2%	4.2%	12.5%
	70歳以上	33人	9.1%	24.2%	39.4%	9.1%	3.0%	15.2%
区別	門司区	18人	0.0%	33.3%	38.9%	5.6%	0.0%	22.2%
	小倉北区	26人	7.7%	19.2%	34.6%	11.5%	7.7%	19.2%
	小倉南区	28人	7.1%	32.1%	28.6%	0.0%	10.7%	21.4%
	若松区	11人	0.0%	27.3%	36.4%	9.1%	9.1%	18.2%
	八幡東区	11人	0.0%	36.4%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%
	八幡西区	37人	5.4%	27.0%	29.7%	10.8%	8.1%	18.9%
	戸畑区	11人	9.1%	54.5%	18.2%	0.0%	9.1%	9.1%

障害のある人の意欲や能力に応じた多様な就業機会が確保されてきたと感じるかについて、「1 そう感じている」(4.9%)、「2 どちらかといえばそう感じている」(30.3%)を合わせて 35.2%となり、「4 どちらかといえばそう感じていない」(7.0%)、「5 そう感じていない」(7.7%)を合わせた 14.7%を上回っています。

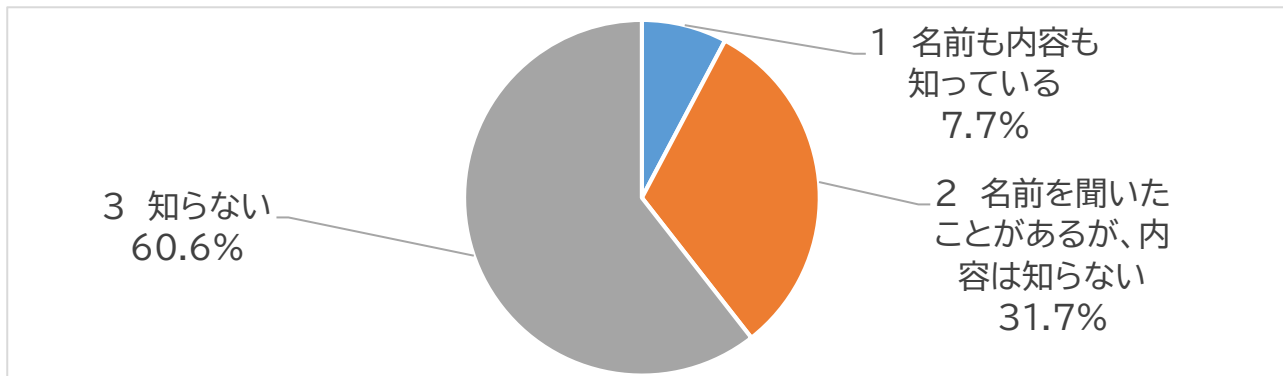
【障害者差別解消法や北九州市障害者差別解消条例の周知】

問10 平成28年4月1日、障害を理由とする差別を禁止して、障害のない人との平等な機会や待遇を保障するために「障害者差別解消法」が施行されました。

この法律は、差別を解消するための措置として、国・地方公共団体等及び民間事業者に対して「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が義務付けられています。

また、本市では、「障害者差別解消法」を補完し、市、事業者および市民が協力して、「障害を理由とする差別」の解消に向け主体的に取り組み、共生社会の実現を目指すための「北九州市障害者差別解消条例」を制定しています。

あなたは、「障害者差別解消法」や「北九州市障害者差別解消条例」をご存知ですか(○は1つだけ)



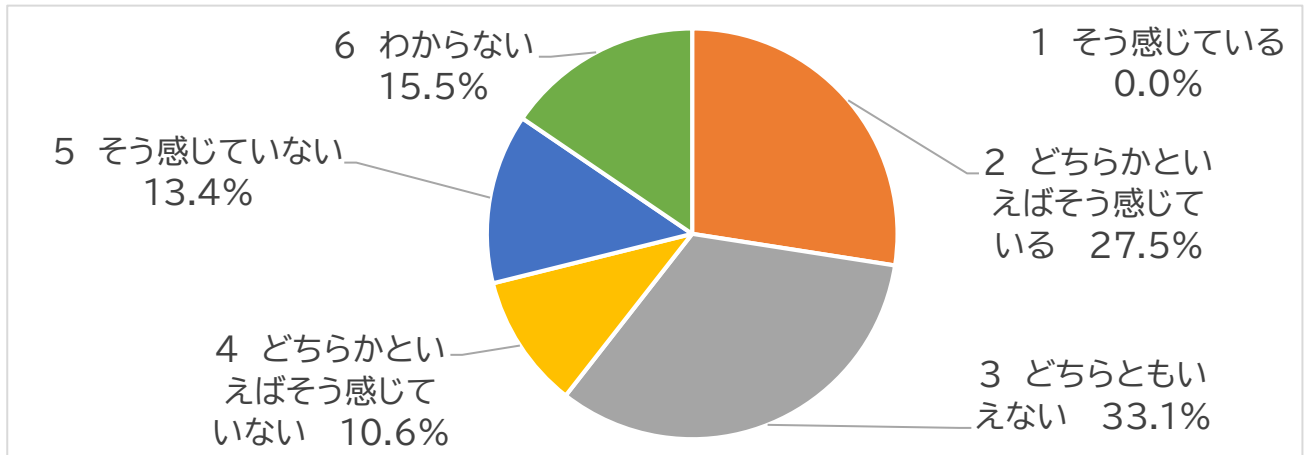
		回答者数	1 名前も内容も知っている	2 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	3 知らない
全体		142人	7.7%	31.7%	60.6%
性別	男性	59人	5.1%	39.0%	55.9%
	女性	83人	9.6%	26.5%	63.9%
年齢別	20歳代以下	15人	6.7%	6.7%	86.7%
	30歳代	22人	4.5%	13.6%	81.8%
	40歳代	25人	16.0%	32.0%	52.0%
	50歳代	23人	8.7%	26.1%	65.2%
	60歳代	24人	4.2%	25.0%	70.8%
	70歳以上	33人	6.1%	63.6%	30.3%
区別	門司区	18人	5.6%	38.9%	55.6%
	小倉北区	26人	3.8%	46.2%	50.0%
	小倉南区	28人	10.7%	32.1%	57.1%
	若松区	11人	9.1%	54.5%	36.4%
	八幡東区	11人	0.0%	9.1%	90.9%
	八幡西区	37人	10.8%	18.9%	70.3%
	戸畑区	11人	9.1%	27.3%	63.6%

「障害者差別解消法」や「北九州市障害者差別解消条例」について知っているかについては、「1 名前も内容も知っている」(7.7%)、「2 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」(31.7%)を合わせて 39.4%に留まっており、「3 知らない」(60.6%)の方が、約 21 ポイント上回っています。

【障害のある人の人権の尊重】

問11 北九州市では、障害や障害のある人に対する正しい理解を深め、障害の有無にかかわらず、お互いの人権を尊重できる社会を実現するため、行政だけでなく地域・学校・企業など様々な機会をとらえた市民啓発を推進しています。そこで、おたずねします。

北九州市では、障害や障害のある人に対する正しい理解が浸透し、不当な差別的取扱いの無い、合理的な配慮が提供される社会になったと感じますか(○は1つだけ)

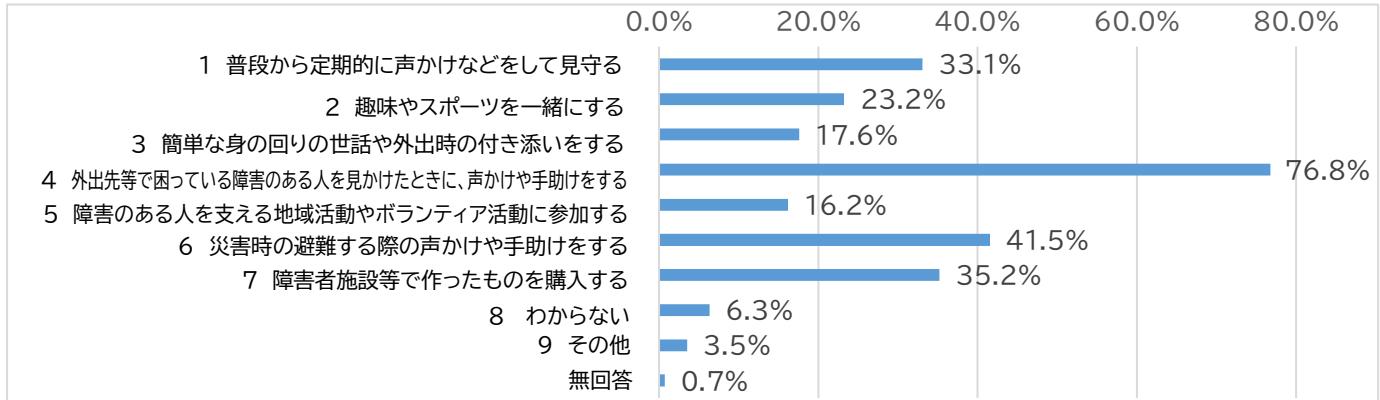


		回答者数	1 そう感じている	2 どちらかといえばそう感じている	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう感じている	5 そう感じている	6 わからない
全体		142人	0.0%	27.5%	33.1%	10.6%	13.4%	15.5%
性別	男性	59人	0.0%	32.2%	30.5%	8.5%	10.2%	18.6%
	女性	83人	0.0%	24.1%	34.9%	12.0%	15.7%	13.3%
年齢別	20歳代以下	15人	0.0%	33.3%	26.7%	0.0%	20.0%	20.0%
	30歳代	22人	0.0%	27.3%	40.9%	9.1%	9.1%	13.6%
	40歳代	25人	0.0%	20.0%	32.0%	8.0%	24.0%	16.0%
	50歳代	23人	0.0%	26.1%	21.7%	30.4%	17.4%	4.3%
	60歳代	24人	0.0%	25.0%	37.5%	8.3%	8.3%	20.8%
	70歳以上	33人	0.0%	33.3%	36.4%	6.1%	6.1%	18.2%
区別	門司区	18人	0.0%	33.3%	27.8%	11.1%	11.1%	16.7%
	小倉北区	26人	0.0%	30.8%	19.2%	19.2%	15.4%	15.4%
	小倉南区	28人	0.0%	35.7%	28.6%	3.6%	10.7%	21.4%
	若松区	11人	0.0%	18.2%	36.4%	9.1%	18.2%	18.2%
	八幡東区	11人	0.0%	9.1%	63.6%	18.2%	0.0%	9.1%
	八幡西区	37人	0.0%	18.9%	40.5%	8.1%	18.9%	13.5%
	戸畑区	11人	0.0%	45.5%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%

障害や障害のある人に対する正しい理解が浸透してきたと感じるかについては、「1 そう感じている」は 0.0%でしたが、「2 どちらかといえばそう感じている」(27.5%)との肯定的な回答と、「4 どちらかといえばそう感じている」(10.6%)、「5 そう感じている」(13.4%)との否定的な回答の合計 24.0%を比べると、肯定的な回答が 3.5 ポイント上回っています。

3. 共生社会を実現するための取り組みについて

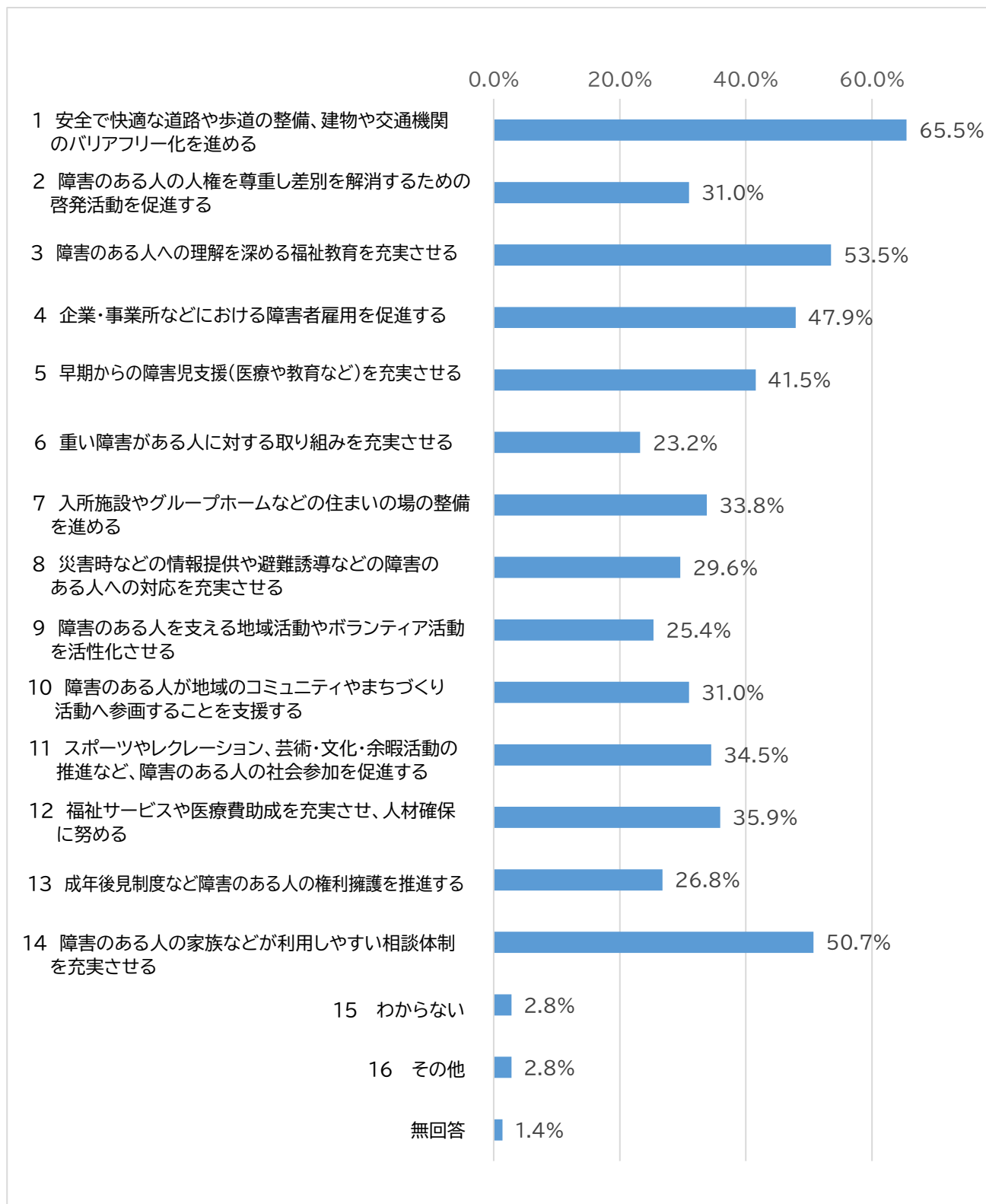
問12 北九州市では、障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重し合いながら、安心していきいきと暮らすことのできる共生のまちづくりを目指しています。今後、地域で生活する障害のある人とかかわっていく中で、あなた自身が地域の一員としてできると思うことは何ですか。次の中から、あてはまるものを選んでください(○はいくつでも)。



	回答者数	1 普段から定期的に声かけなどをして見守る	2 趣味やスポーツを一緒にする	3 簡単な身の回りの世話や外出時の付き添いをする	4 外出先等で困っている障害のある人を見かけたときに、声かけや手助けをする	5 障害のある人を支える地域活動やボランティア活動に参加する	6 災害時の避難する際の声かけや手助けをする	7 障害者施設等で作ったものを購入する	8 わからない	9 その他	無回答	
全体	142人	33.1%	23.2%	17.6%	76.8%	16.2%	41.5%	35.2%	6.3%	3.5%	0.7%	
性別	男性	59人	33.9%	25.4%	16.9%	71.2%	16.9%	44.1%	32.2%	6.8%	1.7%	0.0%
	女性	83人	32.5%	21.7%	18.1%	80.7%	15.7%	39.8%	37.3%	6.0%	4.8%	1.2%
年齢別	20歳以下	15人	20.0%	20.0%	0.0%	60.0%	26.7%	33.3%	13.3%	13.3%	13.3%	0.0%
	30歳代	22人	31.8%	13.6%	18.2%	77.3%	22.7%	27.3%	22.7%	4.5%	0.0%	0.0%
	40歳代	25人	52.0%	36.0%	24.0%	84.0%	28.0%	40.0%	28.0%	8.0%	4.0%	0.0%
	50歳代	23人	34.8%	26.1%	30.4%	73.9%	17.4%	30.4%	26.1%	8.7%	0.0%	0.0%
	60歳代	24人	20.8%	20.8%	8.3%	91.7%	8.3%	54.2%	58.3%	4.2%	0.0%	0.0%
	70歳以上	33人	33.3%	21.2%	18.2%	69.7%	3.0%	54.5%	48.5%	3.0%	6.1%	3.0%
区別	門司区	18人	22.2%	5.6%	27.8%	77.8%	11.1%	38.9%	44.4%	11.1%	5.6%	0.0%
	小倉北区	26人	30.8%	30.8%	11.5%	73.1%	7.7%	42.3%	38.5%	7.7%	7.7%	0.0%
	小倉南区	28人	35.7%	28.6%	17.9%	75.0%	25.0%	46.4%	32.1%	10.7%	0.0%	0.0%
	若松区	11人	45.5%	9.1%	18.2%	72.7%	9.1%	36.4%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11人	18.2%	18.2%	9.1%	72.7%	9.1%	36.4%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%
	八幡西区	37人	40.5%	29.7%	21.6%	81.1%	18.9%	48.6%	35.1%	5.4%	2.7%	0.0%
	戸畑区	11人	27.3%	18.2%	9.1%	81.8%	27.3%	18.2%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%

共生社会を実現するにあたって、あなた自身が地域の一員としてできると思うことは何かについては、「4 外出先等で困っている障害のある人を見かけたときに、声かけや手助けをする」(76.8%)の割合が最も高く、次いで「6 災害時の避難する際の声かけや手助けをする」(41.5%)、「7 障害者施設等で作ったものを購入する」(35.2%)の順となっています。

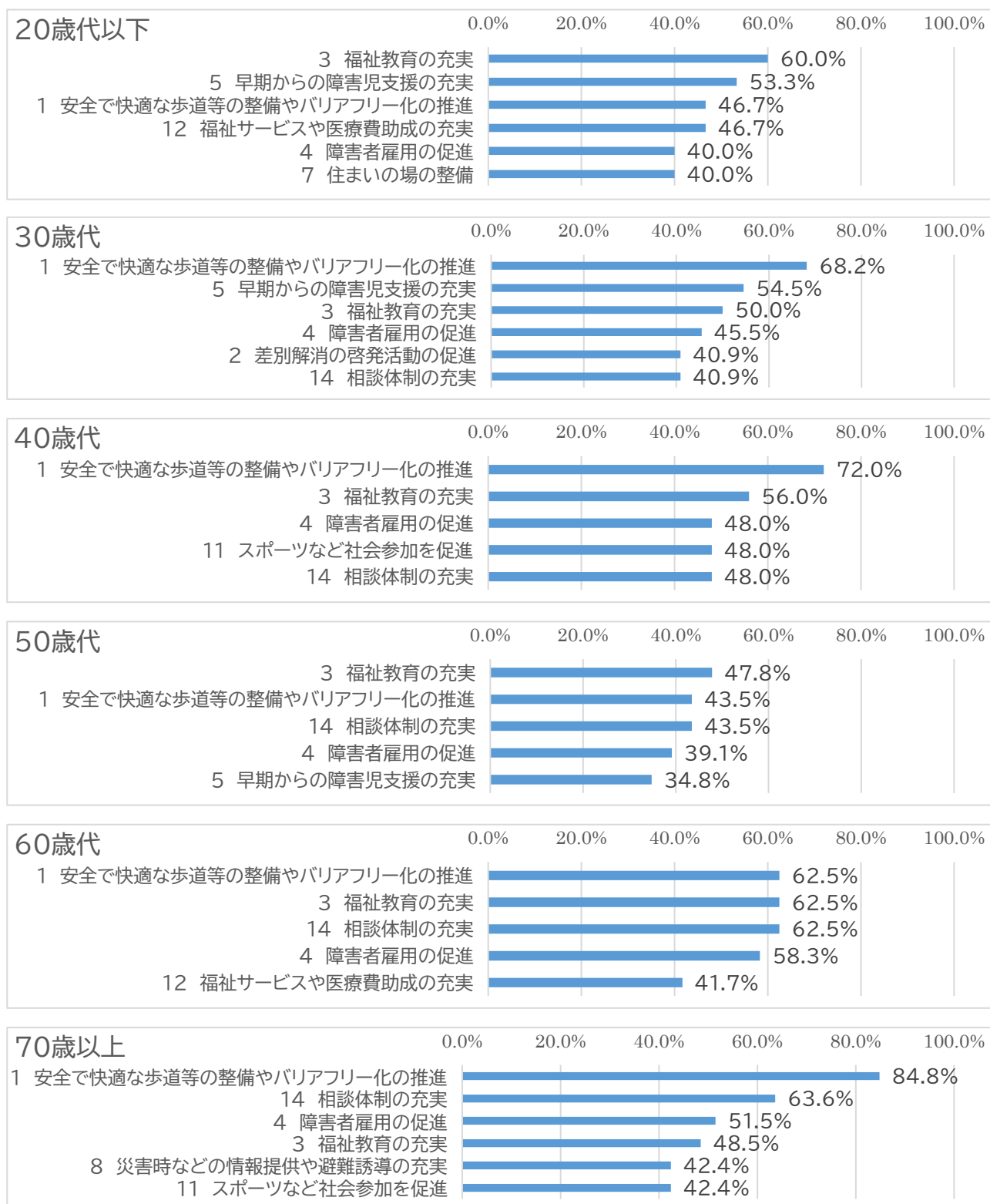
問13 あなたは、障害福祉施策を充実させるために北九州市が取り組むもののうち、今後、特に力を入れるべき取り組みは何だと思いますか。次の中から、あてはまるものを選んでください(○はいくつでも)。



		回答者数	1 安全で快適な歩道等の整備やバリアフリー化の推進	2 差別解消の啓発活動の促進	3 福祉教育の充実	4 障害者雇用の促進	5 早期からの障害児支援の充実	6 重い障害がある人に対する取り組みの充実	7 住まいの場の整備	8 災害時などの情報提供や避難誘導の充実	9 地域活動やボランティア活動の活性化
全体		142人	65.5%	31.0%	53.5%	47.9%	41.5%	23.2%	33.8%	29.6%	25.4%
性別	男性	59人	64.4%	33.9%	54.2%	54.2%	35.6%	28.8%	33.9%	32.2%	32.2%
	女性	83人	66.3%	28.9%	53.0%	43.4%	45.8%	19.3%	33.7%	27.7%	20.5%
年齢別	20歳代以下	15人	46.7%	33.3%	60.0%	40.0%	53.3%	20.0%	40.0%	26.7%	20.0%
	30歳代	22人	68.2%	40.9%	50.0%	45.5%	54.5%	13.6%	27.3%	13.6%	18.2%
	40歳代	25人	72.0%	24.0%	56.0%	48.0%	40.0%	32.0%	44.0%	36.0%	32.0%
	50歳代	23人	43.5%	21.7%	47.8%	39.1%	34.8%	13.0%	26.1%	17.4%	13.0%
	60歳代	24人	62.5%	33.3%	62.5%	58.3%	33.3%	20.8%	37.5%	33.3%	33.3%
	70歳以上	33人	84.8%	33.3%	48.5%	51.5%	39.4%	33.3%	30.3%	42.4%	30.3%
区別	門司区	18人	55.6%	27.8%	66.7%	50.0%	38.9%	33.3%	33.3%	38.9%	22.2%
	小倉北区	26人	65.4%	19.2%	53.8%	38.5%	19.2%	11.5%	23.1%	19.2%	15.4%
	小倉南区	28人	57.1%	17.9%	50.0%	35.7%	53.6%	21.4%	39.3%	25.0%	21.4%
	若松区	11人	72.7%	54.5%	36.4%	54.5%	36.4%	18.2%	18.2%	27.3%	27.3%
	八幡東区	11人	72.7%	18.2%	63.6%	54.5%	45.5%	0.0%	18.2%	27.3%	27.3%
	八幡西区	37人	73.0%	43.2%	54.1%	59.5%	45.9%	32.4%	43.2%	35.1%	29.7%
	戸畑区	11人	63.6%	45.5%	45.5%	45.5%	54.5%	36.4%	45.5%	36.4%	45.5%

		回答者数	10 まちづくり活動参画への支援	11 スポーツなど社会参加を促進	12 福祉サービスや医療費助成の充実	13 障害のある人の権利擁護の推進	14 相談体制の充実	15 わからない	16 その他	無回答
全体		142人	31.0%	34.5%	35.9%	26.8%	50.7%	2.8%	2.8%	1.4%
性別	男性	59人	33.9%	39.0%	39.0%	28.8%	47.5%	1.7%	3.4%	1.7%
	女性	83人	28.9%	31.3%	33.7%	25.3%	53.0%	3.6%	2.4%	1.2%
年齢別	20歳代以下	15人	20.0%	26.7%	46.7%	33.3%	33.3%	6.7%	0.0%	6.7%
	30歳代	22人	31.8%	27.3%	31.8%	13.6%	40.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	25人	44.0%	48.0%	44.0%	36.0%	48.0%	4.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	23人	13.0%	21.7%	21.7%	21.7%	43.5%	4.3%	8.7%	4.3%
	60歳代	24人	37.5%	33.3%	41.7%	29.2%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	33人	33.3%	42.4%	33.3%	27.3%	63.6%	3.0%	6.1%	0.0%
区別	門司区	18人	33.3%	22.2%	44.4%	33.3%	61.1%	0.0%	5.6%	0.0%
	小倉北区	26人	38.5%	30.8%	15.4%	19.2%	57.7%	11.5%	3.8%	0.0%
	小倉南区	28人	39.3%	42.9%	42.9%	25.0%	39.3%	0.0%	3.6%	7.1%
	若松区	11人	9.1%	27.3%	36.4%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11人	18.2%	27.3%	9.1%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%
	八幡西区	37人	27.0%	35.1%	45.9%	35.1%	64.9%	2.7%	0.0%	0.0%
	戸畑区	11人	36.4%	54.5%	45.5%	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%

年齢別の上位の回答



北九州市が特に力を入れるべき取り組みは何かについて、「1 安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める」(65.5%)、の割合が最も高く、次いで「3 障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる」(53.5%)、「14 障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる」(50.7%)の順となっています。

問14 北九州市の障害福祉施策について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

46件の意見をいただきました。主なものは次のとおりです。

〔行政の取り組みに関する事〕

- 自分自身が杖を使わないと長い距離を歩くことができなくなってきた。道路が平ということは大切だと思う。歩道はできるだけフラットにしてほしい。
- 仕事で精神疾患や発達障害のある方にかかわるが、相談先や進学、就労についての情報を知らなかったり、自分で情報収集する能力が十分でない方がいるので、相談先をわかりやすく一本化したり、積極的に支援者側から啓発していく必要がある。
- 成年後見人制度や各種手続きなどもっと市のサポートがあればよいと思う。
- 就労前、就学前の福祉政策は存在するが、就労後、就学後の福祉政策は少ない。
- 障害がある子どもの親が困っていることに対し、どこに相談すればよいか分からない、どの病院に行けば良いのか分からないなどの声を多く聞く。また、発達障害を診ることができる医療機関が市内には少なく、受診までの待ちの期間も長いようなので、医療についても、充実できると良いと思う。
- 障害のある人本人だけでなく、その家族のサポートも含めた施策が暮らしやすい街づくりに繋がると思う。誰もが住みやすい環境整備が今後も進んでいくことを期待している。

〔就労に関する事〕

- もう少し難病の方でも仕事がしやすい町になって欲しいと願う。

〔共生社会を実現するための取り組みに関する事〕

- 障害はそれぞれ違うのでどの程度までかかわっていくかはとてもむずかしいと思う。気持ちよく手助けを喜んでもらえるといいのですが、周りにいないのでわからないというのが本音。
- 私達の子育ての時代からくらべて、差別・偏見はなくなっている様に感じる。障害等のいる家庭も少し前向きになっているのではないかと思う。相談しやすい、行ける場所が充実してきている。
- 共生社会を実現するためには役所だけでなく市民の力ややさしさが必要。そのためには啓発活動を促進しなければと思う。
- 障害の範囲で出来る事を積極的に紹介して、障害者の方が社会にでていけるようになり、健常者と障害者両方が WinWin の関係が出来れば良いと思う。
- NPO 法人など、活動されている方々もおり素晴らしいと思う。また、市民として活動出来ることがあれば、ラインや市政便りで知らせて欲しい。人と人の繋がりこそが、大事と思う。
- 高齢者施設で日ごろから関わっているが、本当に生活を支援続ける事の難しさを感じている。両方の気持ちの支えが大切だと考える。
- 自分の身の回りでは、障害者に対する理解や支援の輪が広がっていると感じる。今後とも、健常者との障壁のない交流や付き合い方が継続進化することを望んでいる。
- 今は身近に障害者の方がいないので具体的に思いつかないが、地域で支えられる体制は大切だと思うので、少しでも役に立てればと思う。一般市民が気軽に協力できる支援策などがあれば、市政だより等で教えてほしい。

IV 全体考察

本市では、平成29年度に障害者基本法に基づく障害福祉分野の基本計画として、「北九州市障害者支援計画(平成30年度～令和4年度)」を策定しました。これは、「障害者基本法(第11条)」に規定された本市の障害者施策に関する基本的な計画である「市町村障害者計画」と、「障害者総合支援法(第88条)」に規定された、障害福祉サービス等の見込み量やその確保のための方策などを定めた「市町村障害福祉計画(第5期)」、「児童福祉法(第33条)」に規定された「市町村障害児福祉計画(第1期)」を包含した計画です。

また、令和2年度には「北九州市障害福祉計画(第5期)」、「北九州市障害児福祉計画(第1期)」が終了することから、「北九州市障害福祉計画(第6期)」、「北九州市障害児福祉計画(第2期)」を策定するとともに、「北九州市障害者計画」と一体的に推進するため、「北九州市障害者計画」の計画期間を令和5年度まで延長しました。

今回、「北九州市障害福祉計画(第6期)」、「北九州市障害児福祉計画(第2期)」及び「北九州市障害者計画」を包含する現行の「北九州市障害者支援計画」が令和5年度で計画期間が終了することから、令和6年度を初年度とする「(次期)北九州市障害者支援計画」を、令和5年度中に策定する予定です。

本案アンケートは障害福祉施策に関する市民の意見やご要望を伺い、その結果を次期計画の基礎資料とするとともに、今後の本市の障害福祉施策の推進の参考とするため実施したものです。

【障害のある方への理解や関心について】

障害のある人に接したり、交流したりした経験がある人は、全体の79.6%で、そのうち身体障害がある人に接したり、交流した割合が84.1%と最も高くなっています。具体的な内容としては、平成28年度に実施した前回アンケートで最も答えが多かった「仕事で障害のある人と接している。または、過去、接したことがある」(44.2%)に代わり、「身内や親しい人に障害のある人がいる」(47.8%)の回答が最も多くなりました。

一方で、障害のある人に接したり、交流したりした経験がない人の多くが、その理由として、「接する機会やきっかけがなかった」(89.7%)と回答しています。

また、障害福祉への関心度は、「大変関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると82.4%となり、その理由として、前回の「テレビなどで障害福祉に関することを目にする」(33.3%)に代わり、「自分も障害のある人になる可能性がある」(47.0%)、「身内や親しい人、隣近所に障害のある人がいる」(41.9%)の回答が多くなっており、障害のある方に接したり目にしたりする機会が増え、身近なテーマになっているとうかがえます。

日常生活や地域で障害のある方に対する差別・偏見などを感じることもある人は、「よく感じることもある」、「ときどき感じることもある」を合わせた場合、「身体障害のある人」では52.1%、「知的障害のある人」では59.2%、「精神障害のある人」では50.7%、「発達障害のある人」では50.0%と高い割合となっていますが、「難病患者の人」では35.2%と低くなっています。

具体的に、どのようなところに最も強く障害のある人に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じるか尋ねたところ、「仕事や収入(職場環境や就労条件、賃金など)」(58.3%)の回答が最も多く、次いで「道路、建物の構造や設備」(55.2%)、「公共施設、交通機関」(41.7%)の順となっています。

【北九州市の障害福祉施策の取り組み状況について】

北九州市がこれまで取り組んできた障害福祉施策の中から3つの施策をあげて、施策の取り組みに対する評価等についてたずねました。

障害者の意欲や能力に応じた多様な就業機会が確保されてきたと「感じている」人の割合(「どちら

かといえばそう感じている」を含む。)は 35.2%、「感じていない」人の割合(「どちらかといえばそう感じていない」を含む。)は 14.7%となり、肯定的に感じている人の割合がそう感じていない人の割合を上回っています。

一方で、「どちらともいえない」の回答が 31.7%と一定数あるため、今後一層の取り組みが必要であると考えられます。

障害者差別解消法や本市の障害者差別解消条例については、「知っている」人の割合(「聞いたことがあるが内容は知らない」を含む。)は、39.4%であり、「知らない」人の割合は 60.6%となっているため、今後一層の周知啓発が必要であると考えられます。

障害や障害のある人に対する正しい理解が浸透してきたと「そう感じている」人はいなかったものの、「どちらかといえばそう感じている」(27.5%)との肯定的な回答と、「感じていない」人の割合(どちらかといえばそう感じていない)を含む。)は 24.0%となり、肯定的に感じている人の割合がそう感じていない人の割合を上回っています。

一方で、「どちらともいえない」の回答が 33.1%と最も高くなっているため、今後一層の取り組みが必要であると考えられます。

【共生社会を実現するために必要な取り組みについて】

障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重し合いながら、安心していきいきと暮らすことのできる共生のまちづくりを目指している本市において、地域で生活する障害のある人とかかわっていく中で、自分自身が地域の一員としてできると思うことを尋ねたところ、「外出先等で困っている障害のある人を見かけたときに、声をかけや手助けをする」人の割合が 76.8%と最も多く、次いで「災害時の避難する際の声かけや手助けをする」が 41.5%であり、多くの方が外出先や災害時などに障害のある人が困っているときにかかわることができると考えていることが分かりました。

一方で、「簡単な身の回りの世話や外出時の付き添いをする」(17.6%)、「障害のある人を支える地域活動やボランティア活動に参加する」(16.2%)など、障害のある人の生活を直接手助けするようなかわりには、消極的な回答でした。

障害福祉施策を充実させるために北九州市が取り組むもののうち、今後さらに力を入れるべき取り組みを尋ねたところ、「安全で快適な道路や歩道の整備、建物や交通機関のバリアフリー化を進める」の割合が 65.5%と最も高く、次いで「障害のある人への理解を深める福祉教育を充実させる」(53.5%)、「障害のある人の家族などが利用しやすい相談体制を充実させる」(50.7%)、と続いています。これらについては、これまで取り組んできた施策でしたが、今後も引き続き充実を図っていく必要があることが分かりました。

【まとめ】

今回のアンケートでは、障害のある人への理解や関心、障害福祉施策の取組や共生社会を実現するための取組について、現時点で市民の実感を確認することができました。アンケート結果を「(次期)北九州市障害者支援計画」の策定にあたって参考とするとともに、障害の有無にかかわらず、すべての市民が、互いの人格や個性を尊重し合いながら、安心していきいきと暮らすことのできる共生のまちづくりを進めるため、今後の障害福祉施策の推進に活かしていきます。

【市政モニターに関すること】

北九州市広報室広聴課 (TEL : 582-2527)

【アンケートに関すること】

北九州市保健福祉局障害福祉企画課 (TEL : 582-2453)

